

令和8年度
SYLLABUS
講義要項

子ども学科

山村学園短期大学

子ども学科 SYLLABUS もくじ

頁	科目名	担当教員名	頁	科目名	担当教員名	頁	科目名	担当教員名
【教養科目】			27	保育内容健康	伊藤/杉山	【教職に関する科目】		
1	日本国憲法	中川翔	28	保育内容人間関係	室井	53	教育方法・技術論	高後/橋本
2	体育講義	佐藤	29	保育内容環境	高後	54	保育・教職実践演習(幼稚園) *	橋本/高後/酒井
3	体育実技	佐藤	30	保育内容言葉	相沢	55	ICT教育の理論と方法	巢立/新井
4	保育英会話	Koike	31	保育内容表現	福泉/伊藤/酒井	【保育者の資質を高める科目】		
5	生命倫理	中村	32	音楽Ⅰ	福泉/数野/福士	56	子ども学演習Ⅰ *	酒井/福泉
6	コンピュータ演習	新井	33	音楽Ⅱ	数野/大導寺/中川悠 福士/町田	57	子ども学演習Ⅱ *	酒井/福泉
7	キャリアアップセミナーⅠ *	酒井/福泉	34	図画工作	酒井	58	子ども学ゼミナールⅠ *	相沢/宇田川/高後/橋本
8	キャリアアップセミナーⅡ *	酒井/福泉	35	幼児体育	伊藤	59	子ども学ゼミナールⅡ *	山村/伊藤/酒井/福泉
9	キャリアアップセミナーⅢ *	橋本/伊藤	36	乳児保育Ⅰ	半田	60	乳児小児救命法	酒井/マスターワークス
10	キャリアアップセミナーⅣ *	橋本/伊藤	37	乳児保育Ⅱ	山田	61	アウトドア演習A	去田
11	保育入門	山村/専任教員	38	子どもの健康と安全	田中	62	アウトドア演習B	堀口/山村
【保育の本質・目的に関する科目】			39	インクルーシブ教育・保育Ⅱ	宇田川	63	ソーイング演習	成田
12	保育原理 *	室井	40	社会的養護Ⅱ	巢立	64	ナチュラルアート	酒井
13	教育原理 *	宇田川/高後	41	保育・教育相談の理論と方法	室井/原田	65	ダンスムーブメント	伊藤
14	子ども家庭福祉	橋本	42	保育内容健康の指導法	伊藤/杉山	【実習科目】		
15	社会福祉	橋本	43	保育内容人間関係の指導法	室井	66	実習指導Ⅰ *	室井/相沢/宇田川/橋本
16	子ども家庭支援論	室井	44	保育内容環境の指導法	高後	67	実習指導Ⅱ *	室井/相沢/宇田川/橋本
17	社会的養護Ⅰ	宇田川	45	保育内容言葉の指導法	相沢	68	実習指導Ⅲ *	室井/相沢/宇田川/橋本
18	保育・教職論	高後	46	保育内容表現の指導法	福泉/伊藤/酒井	69	保育実習Ⅰ *	室井
19	インクルーシブ教育・保育Ⅰ	宇田川	47	子ども文化演習A	大島	70	施設実習Ⅰ *	宇田川
【保育の対象の理解に関する科目】			48	子ども文化演習B	福泉/伊藤/酒井	71	教育実習Ⅰ *	相沢/室井
20	保育の心理学 *	山村	49	ピアノⅠ	福泉/数野/大導寺/中川悠 福士/町田/宮尾	72	保育実習Ⅱ *	橋本
21	子ども家庭支援の心理学	原田	50	ピアノⅡ	福泉/数野/大導寺/中川悠 福士/町田/宮尾	73	施設実習Ⅱ *	宇田川
22	子どもの理解と援助	半田/原田	51	SDGsと教育・保育	高後	74	教育実習Ⅱ *	相沢/橋本
23	子どもの保健	田中	52	ダイバーシティと教育・保育	宇田川/橋本/室井	【その他】		
24	子どもの食と栄養	田中				75	カリキュラムツリー	
【保育の内容・方法に関する科目】						76	実務教員科目一覧・略歴	* 実務教員科目
25	保育・教育課程論	高後						
26	保育内容総論 *	相沢						

教 養 科 目

授業科目名	日本国憲法			教員名	中川 翔伍		
配当年次	2	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○幼稚園教諭2種免許状必修〔66条の6〕				ナンバリング	2D101	
授業内容を示すキーワード	憲法、自由、人権、民主主義、公共の福祉、三権分立、地方自治						
授業の概要	私たちは数多くの法が張り巡らされた社会に生きています。目に見えないので意識しにくいとは思いますが、皆さんの誰しもが法律と共に生活しています。そして、全ての法律の基本となっているのが憲法です。憲法はとっつきにくいというのが正直なところだと思います。しかし、本講義を受講した後、きっと皆さんはニュースや新聞に書いてあることの意味がわかるようになるでしょう。それは皆さんが見ている世界を広げたということです。皆さんが豊かな教養を持った素敵な先生になることを祈念して、できる限りわかりやすく憲法をお伝えします。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 憲法理念や国家の成り立ち等の基礎的な教養を習得し、人権感覚を芽生えさせる。 【到達目標】 確かな教養に基づいて芽生えた人権感覚等を咀嚼し、幼児教育に応用・実践できる。						
授業の方法等	ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業及び自主学習支援を行います。 授業と小テスト(第2講より開始)を軸にします。その日学んだことをその日に小テストで確認し、次回講義開始時に解説します。 授業は講義形式を基本としますが、適宜ソクラテスマソッドを用いて双方向的に行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕58% ■提出物9% ■その他〔小テスト〕33%						
D Pに掲げる学力の割合	DP1:40% DP2:10% DP3:10% DP4:10% DP5:20% DP6:10% 〔合計100%〕						
教科書	「保育者のための法学・憲法入門」[ISBN:978-4792306571] 高乗 正臣 成文堂						
参考書	適宜、資料を配付します。						
関連科目	社会福祉、子ども家庭福祉						
質問受付の方法	授業後直接又はメール(shogonakagawa2000@gmail.com、nakagawa@maru-soleil.jpいずれも可)で受け付けます。						
履修上の注意	授業に関心が持てないこともあると思いますが、周りに迷惑をかける行為一切を禁じます。最低でも自己責任の範疇にとどめてください。						

授業計画 と 時間外学習	自己紹介、ガイダンス、憲法総論
	1 〈予習〉テキストの目次や気になるところを読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
	立憲民主政と改憲論(問題状況の把握にとどめる)、天皇制
	2 〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
	子どもの人権、外国人の人権、公共の福祉(制約)、労働基本権
	3 〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
	平等権、幸福追求権等各権利
	4 〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
	精神的自由権① 思想・良心の自由、宗教の自由、政教分離、学問の自由
	5 〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
	【オンデマンド型(遠隔)授業】精神的自由権② 表現の自由(1)(表現内容規制と内容中立規制、知る権利、検閲)
	6 〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
	【オンデマンド型(遠隔)授業】精神的自由権③ 表現の自由(2)(結社、集会、通信)
	7 〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
	【オンデマンド型(遠隔)授業】経済的自由権① 職業選択の自由、営業の自由
8 〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分	
経済的自由権② 財産権、正当補償	
9 〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分	
人身・居住移転の自由、刑事手続上の権利	
10 〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分	
【オンデマンド型(遠隔)授業】社会権① 生存権、教育を受ける権利	
11 〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分	
【オンデマンド型(遠隔)授業】社会権② 勤労権、参政権、その他社会権	
12 〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分	
三権分立、国会、内閣	
13 〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分	
裁判所と司法審査制	
14 〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分	
地方自治	
15 〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分	
定期試験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分

授 業 科 目 名	体育講義			教 員 名	佐藤 志穂		
配 当 年 次	2	開 講 時 期	後 期	単 位 数	1	授 業 形 態	講 義
卒 業 ・ 免 許 ・ 資 格 と の 関 係	○保育士資格必修〔 体育 〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔 66条の6 〕				ナンバリング	2D102	
授 業 内 容 を 示 す キ ー ワ ー ド	体育、スポーツ、健康						
授 業 の 概 要	人の身体活動に関する基礎的理論を踏まえ、スポーツ・運動・健康づくりの実践および指導に必要な基礎的知識の習得を目指す。あわせて、運動技能を身につける(学習する)プロセスへの理解を深めるとともに、スポーツが社会の中で文化としてどのように位置づけられているのかを考察する。さらに、生や性に関する視点も含め、スポーツおよび健康をめぐる事象を多角的に捉えるための幅広い知識を習得する。						
授 業 の ね ら い と 到 達 目 標	【ねらい】 近年、生活の質(QOL)の向上を目指す社会的機運や健康志向の高まりを背景に、スポーツや多様な身体活動は重要な社会的関心事となっている。本講義では、人間の身体の基本的な構造および機能を踏まえ、スポーツや身体活動を健康・教育・文化といった多様な視点から概観し、これらを理解するための基礎的知識の習得をねらいとする。 【到達目標】 (1) 体育・スポーツ・運動・健康に関する基礎的な理論を理解し、その内容を適切に説明することができる。 (2) 日常生活において、体育・スポーツ・運動・健康に関する実践および指導に必要な基礎的知識を身につけ、活用することができる。 (3) (1)および(2)で修得した理論や知識を、現代社会における諸課題と関連づけて捉え、問題意識をもって主体的に実践へとつなげることができる。						
授 業 の 方 法 等	前半は、プレゼンテーション資料を用いた講義形式の授業を、90分×12回(計48時間)で実施する。各回の講義後には、当該回で扱った内容をキーワードに基づいて記述するリフレクションを行い、学習内容を言語化・内省する機会を設ける。これを連続型リフレクションとして継続し、最終回には第1回から第11回までの記述を振り返り、全体を統合するまとめを行う。この一連のプロセスを通して、体育講義を単なる知識習得にとどめず、自身の身体理解や生活行動に結びつけた自己調整能力の育成へと接続することを目的とする。なお、定期試験は授業内で取り扱った内容を基に出題し、講義理解およびリフレクションで培った思考の定着度を評価する。						
成 績 評 価 の 基 準 と 方 法	■定期試験〔 筆記 〕 60% ■その他〔 レポートの提出・プレゼンテーション 〕 30% ■授業への取り組み・態度 10%						
D P に 掲 げ る 学 力 の 割 合	DP1:10% DP2:30% DP3:10% DP4:10% DP5:10% DP6:30% 〔合計100%〕						
教 科 書	使用しません。必要に応じてプリントを配付します。						
参 考 書	適宜、資料を配付します。						
関 連 科 目	体育実技、幼児体育、保育内容健康						
質 問 受 付 の 方 法	授業の前後に、教室内または講師控室にて、いつでも受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	毎回、授業内容は、配布資料に書き込みます。資料は、2穴ファイルなどに整理し、学んだことをまとめるようにしましょう。やむを得ず授業を欠席する場合は、資料・課題の把握、授業内容を確認するようにしてください。欠席、遅刻の場合は、どのような場合でも理由を報告してください。質問は、いつでも受け付けますので、主体的に知識を得ることができるように、積極的な態度を身に付けてください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	オリエンテーション(授業内容、評価の方法の説明)、 体育とスポーツ-スポーツとは何か- <予習>シラバスを読む、体育とスポーツについて調べる 45分 <復習>配付資料等をまとめる 45分
	2	体について知る1:生と性 <予習>配付資料を読み、生と性について調べる 45分 <復習>配付資料等をまとめる 45分
	3	体について知る2:現代の健康問題 <予習>配付資料を読み、現代の健康問題について調べる 45分 <復習>配付資料等をまとめる 45分
	4	コンディショニング <予習>配付資料を読み、栄養、休養、運動の関わりについて調べる 45分 <復習>配付資料等をまとめる 45分
	5	飲酒・喫煙・薬物 <予習>配付資料を読み、飲酒、喫煙、薬物について調べる 45分 <復習>配付資料等をまとめる 45分
	6	病気と怪我 <予習>配付資料を読み、運動に関する病気や怪我について調べる 45分 <復習>配付資料等をまとめる 45分
	7	スポーツの歴史:古代ギリシャ・古代ローマ / 中世・近代 <予習>配付資料を読み、古代ギリシャ・古代ローマ/中世・近代について調べる 45分 <復習>配付資料等をまとめる 45分
	8	現代社会とスポーツ <予習>配付資料を読み、現代社会とスポーツについて調べる 45分 <復習>配付資料等をまとめる 45分
	9	文化としてのスポーツ1:文化とは何か、現代社会とスポーツ <予習>配付資料を読み、現代社会とスポーツについて調べる 45分 <復習>配付資料等をまとめる 45分
	10	文化としてのスポーツ2:スポーツとジェンダー <予習>配付資料を読み、スポーツとジェンダー関心がある事柄を調べる 45分 <復習>配付資料等をまとめる 45分
	11	オリンピックと国際理解 <予習>配付資料を読み、オリンピックと国際理解について調べる 45分 <復習>配付資料等をまとめる 45分
	12	連続型リフレクションのまとめ <予習>これまでの配付資料等、11回を通しのリフレクションをまとめる 45分 <復習>配布資料等をまとめる 45分
定 期 試 験	◆定期試験〔 筆記 〕 60分 ◆振り返り・フィードバック〔 定期試験の解説を行う 〕 30分	

授業科目名	体育実技			教員名	佐藤 志穂		
配当年次	2	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	実技
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔体育〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔66条の6〕			ナンバリング	2D103		
授業内容を示すキーワード	スポーツ、体育、運動						
授業の概要	健全な発育および心身の健康の維持・増進において、身体を動かすことは重要な役割を果たす。本授業では、スポーツを教材として位置づけ、身体活動の実践を通して心身の健康について理解を深めるとともに、日常生活における健康的な行動選択や継続的な身体活動の在り方について考察することを目指す。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 健全な発育および心身の健康の維持・増進において、身体を動かすことは重要な役割を果たす。本授業では、スポーツを教材として位置づけ、身体活動の実践を通して心身の健康についての理解を深めることを目指す。あわせて、運動が身体や心理に及ぼす影響を基礎的に学び、日常生活における健康的な行動選択や継続的な身体活動の在り方について主体的に考察できる力を養う。 【到達目標】 (1)スポーツ種目や運動の実践を通して、身体の構造および機能への理解を深め、心身の健康を適切に維持・増進するための行動を選択し、実践することができる。 (2)授業内での活動や他者との関わりを通して、自身の考えや気づきを適切に表現し、円滑なコミュニケーションを図るための基礎的な能力を身につけることができる。						
授業の方法等	体育館において実技形式の授業は90分12回(合計48時間)、オンデマンド型(遠隔)を3回実施する。基礎的な技術やルール、競技特性を理解するための時間を確保し、その上でゲームを行う。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔実技〕70% ■その他〔提出物〕10% ■授業への取り組み・態度 20%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:10% DP2:20% DP3:10% DP4:20% DP5:10% DP6:30% [合計100%]						
教科書	なし(適宜資料を配付)						
参考書	なし(適宜資料を配付)						
関連科目	体育講義、幼児体育、ダンスムーブメント						
質問受付の方法	授業の前後に、体育館または講師控室にて、いつでも受け付けます。						
履修上の注意	・欠席または遅刻をする場合は、理由のいかんを問わず、所定の方法により必ず事前または事後に報告すること。 ・授業中は安全確保を最優先とし、指示や注意事項を十分に理解した上で行動すること。 ・運動に適した服装(ジャージ等)および運動靴を必ず着用し、水分補給など、スポーツを安全かつ快適に行うために必要な物品を各自準備すること。 ・授業の目的を理解し、積極的かつ協力的な態度で授業に参加することを期待する。						

授業計画 と 時間外学習	1	オリエンテーション、からだほぐしの運動 〈予習〉シラバスを読む 呼吸法・体のほぐし方について調べる 45分 〈復習〉これから行うスポーツ種目について調べる 45分
	2	卓球1: ラケットに慣れる 〈予習〉卓球について調べる 45分 〈復習〉卓球のゲームを調べる 45分
	3	卓球2: シングルのゲーム 〈予習〉シングルのゲームについて調べる 45分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分
	4	卓球3: ダブルスのゲーム 〈予習〉ダブルスのゲームについて調べる 45分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分
	5	【オンデマンド型(遠隔)授業】からだほぐし、卓球のふりかえり 〈視聴〉動画を視聴する 45分 〈課題〉課題に取り組む 45分
	6	バレーボール1: ボールに慣れる、パス練習 〈予習〉バレーボールについて調べる 45分 〈復習〉バレーボールのゲームについて調べる 45分
	7	バレーボール2: サーブ練習、ゲームを行う 〈予習〉バレーボールのゲームについて調べる 45分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分
	8	バレーボール3: ゲームを行う 〈予習〉バレーボールのゲームについて調べる 45分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分
	9	バレーボール4: チームの連係、ゲームを行う 〈予習〉バレーボールのゲームについて調べる 45分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分
	10	【オンデマンド型(遠隔)授業】バレーボールのふりかえり 〈視聴〉動画を視聴する 45分 〈課題〉課題に取り組む 45分
	11	バスケットボール1: パス、ドリブル、シュート 〈予習〉バスケットボールについて調べる 45分 〈復習〉バスケットボールのゲームについて調べる 45分
	12	バスケットボール2: 3×3のゲーム 〈予習〉3×3でのゲームについて調べる 45分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分
	13	バスケットボール3: オールコートでのゲーム 〈予習〉バスケットボールのゲームについて調べる 45分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分
	14	バスケットボール4: 攻撃と守備の連係、ゲームを行う 〈予習〉バスケットボールのゲームについて調べる 45分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分
	15	【オンデマンド型(遠隔)授業】バスケットボールのふりかえり 〈視聴〉動画を視聴する 45分 〈課題〉課題に取り組む 45分
定期試験	◆定期試験〔実技〕80分 ◆振り返り・フィードバック〔実技試験の講評を行う〕10分	

授 業 科 目 名	保育英会話			教 員 名	Koike Hanna Lee		
配 当 年 次	2	開 講 時 期	後 期	単 位 数	2	授 業 形 態	演 習
卒 業 ・ 免 許 ・ 資 格 と の 関 係	○幼稚園教諭2種免許状必修〔66条の6〕				ナンバリング	2D104	
授 業 内 容 を 示 す キ ー ワ ー ド	保育所・幼稚園・認定こども園 英会話						
授 業 の 概 要	この授業では、ペアワークとグループワークが活用されます。実践的で魅力的なトピックに焦点を当て、アクティビティは学生がペアまたはグループワークにて実生活の状況について積極的に話し合うよう促し、意欲を高めるように設計されています。ペアまたはグループワークでの会話は、能動的な学習をします。						
授 業 の ね ら い と 到 達 目 標	【ねらい】 保育園、幼稚園、認定こども園などの日常的な場面や専門的な場面において、ネイティブスピーカーと非ネイティブスピーカーの両方と自信を持って会話できるようなることを目的とします。 【到達目標】 自分の考えや経験を効果的に表現するための必須語彙、コミュニケーションスキル、戦略とともに、積極的に耳を傾け、質問する能力も身につけます。学期末には、幼児教育・保育に関連する様々なトピックについて、英語のみで会話できることを到達目標とします。						
授 業 の 方 法 等	学生は会話戦略を学び、学期中のスピーキング課題で使用するトピックに適用します。学生はペアまたはグループで活動し、授業外でも会話を通してこれらの戦略を練習することができます。保育英語の語彙力強化のための課題が出され、評価されます。						
成 績 評 価 の 基 準 と 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ■定期試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物(宿題と課題) 30% 						
D P に 掲 げ る 学 力 の 割 合	DP1:10% DP2:10% DP3:50% DP4:10% DP5:10% DP6:10% 〔合計100%〕						
教 科 書	「保育の英会話」〔ISBN:978-4893470775〕 赤松直子、久富陽子著 萌文書林						
参 考 書	適宜紹介、資料を配付します。						
関 連 科 目	保育実習Ⅰ・Ⅱ、教育実習Ⅰ・Ⅱ						
質 問 受 付 の 方 法	hannahleekoike@gmail.comに問い合わせください。 授業の前後を問わず、直接またはメールでご質問やご不明な点について問い合わせください。						
履 修 上 の 注 意	出席と参加は必須であり、宿題の提出も必須とします。 欠席が授業回数の1/3を超えると単位修得不可となり、3回の遅刻(最初の20分以内)は1回の欠席とみなされます。早退する場合、事前に申し出てください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	テキストに沿って進めます。第1回は「お名前を教えてください」というテーマで挨拶の学習 〈予習〉Unit1を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉授業の内容を忘れる前に反復練習。100分
	2	「園ようこそ!」というテーマで挨拶の学習 〈予習〉Unit2を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉ミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	3	時間と数 〈予習〉Unit3を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉前回のミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	4	地図と道案内 〈予習〉Unit4を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	5	クラスメイトとの出会い 〈予習〉Unit5を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	6	送り迎え 〈予習〉Unit6を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	7	保育所・幼稚園での仕事 〈予習〉Unit7を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	8	食事に関する表現 〈予習〉Unit8を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	9	生活習慣の表現 〈予習〉Unit9を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	10	子ども同士の交流の表現 〈予習〉Unit10を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	11	怪我と病気 〈予習〉Unit11を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	12	電話での対応 〈予習〉Unit12を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	13	遠足 〈予習〉Unit13を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	14	赤ちゃんのケア 〈予習〉Unit14を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
	15	卒園 〈予習〉Unit15を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
定 期 試 験	<ul style="list-style-type: none"> ◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分 	

授業科目名	生命倫理			教員名	中村 修		
配当年次	1・2	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係				ナンバリング	3D105		
授業内容を示すキーワード	愛着、虐待、逆境体験、トラウマ、依存症、共依存、境界						
授業の概要	子どもは無力な状態で生まれ、援助なしでは、生きていくのも難しい。子どもは助けを求めて泣き、養育者がそれに適切に応えることによって、絆が生まれる。子どもが養育者との、相互的、肯定的なやり取りによって安全と安心を得ていく働きは、愛着と呼ばれ、人の関係の基本とされている。しかし、現実の社会は、子どもに必ずしも安全な愛着を提供せず、虐待のように子どもの成長を害することも起こる。そのような関係においては、間違った方法で、安全と安心を得ようとする誤った学習が起こりがちで、より良く生きることが害される。このような否定的な現実の検討を通して、私たちがより良く生きることの実現を目指す方を学ぶ。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】 現代社会は複雑で、多様で、かつ変化が速い。親は、生きること困難を感じ、不適切な養育も起こりがちである。そのような環境で育った子どもは、「私は親のようにならない」として、より良く生きようとするが、その願いにも関わらず、依存や共依存といった悪循環に陥ることも多い。その要因を、主に逆境体験における誤った学習との視点で検討していく。それを通して、悪循環を断ち、命を慈しむ生き方、より良く生きることを実践することができる。</p> <p>【到達目標】 (1) 愛着と安全な愛着による人との関係について理解する。 (2) 人は、否定的な関係において、自分の感情を大切にすることを見失うことがあり、そのことが依存症等の要因となり、より良く生きるとの願いに反する学習が起こることを理解する。 (3) 自分の感情を大切にすること、自分の感情を取り戻すことを理解し、実践していく。 (4) 他者の感情を大事にすること、他者を肯定することを理解し、より良い生き方を実践していく。これらを通して、生命倫理の実践を目指す。</p>						
授業の方法等	90分12回(合計48時間)の授業を行う。 講義を中心に授業を展開していく。一部、授業内で視聴覚教材の使用を検討している。 ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業および自主学習支援を行う。 「ディスカッション」「グループワーク」を授業内で行うことを計画しているが、履修者数などの事情に合わせて適宜変更する。						
成績評価の基準と方法	<p>■定期試験〔筆記〕60%</p> <p>■授業内課題〔ワークシート、確認テスト等〕40%</p>						
DPに掲げる学力の割合	DP1:0% DP2:30% DP3:40% DP4:0% DP5:10% DP6:20% [合計100%]						
教科書	なし(適宜資料を配付する)						
参考書	適宜、資料を指示・紹介する。						
関連科目	子ども家庭福祉、子ども家庭支援の心理学、子どもの理解と援助、						
質問受付の方法	講義前後の時間帯に、教室及び講師控室において。 または、メール(o.nakamura320@gmail.com)						
履修上の注意	普段から講義内容に関連する書籍・テレビ・新聞・インターネット等の情報になるべく多く接するよう心掛けることを期待する。家族や友人と話し合うことなども強く薦める。						

授業計画 と 時間外学習	導入：愛着とはなにか、安全と安心を得ていく働き
	1 <予習>世の中でどのように生きてみたいと願ってきたか、どんな困難があったかを自問自答する。45分 <復習>授業内容の整理・確認。45分
	2 家庭内の虐待 —しつけから虐待、子どもは虐待をどう理解するか <予習>虐待に関連する自分の経験について考え、虐待についての考えをまとめる。45分 <復習>授業内容の整理・確認。45分
	3 虐待からの生き残りトラウマ <予習>親に感謝できない人は人情がない人だという意見について考えをまとめる。45分 <復習>授業内容の整理・再確認。45分
	4 依存症① —依存症の理解とその変遷 <予習>依存症について、特に精神的な依存について考えをまとめる。45分 <復習>授業内容の整理・再確認。45分
	5 依存症② —依存症理解と自助グループ <予習>自助グループは有益であるが、当事者は拒否的に反応しがちである。なぜなのかを考える。45分 <復習>授業内容の整理・再確認。45分
	6 共依存という生き方 <予習>共依存という人間関係は広く見られる。周囲の共依存の関係に気づき観察する。45分 <復習>授業内容の整理・再確認。45分
	7 性犯罪の治療的教育から見えるもの <予習>性犯罪は学習された行動であるが、どのように性犯罪を学習するのかを考える。45分 <復習>授業内容の整理・再確認。45分
	8 自分に対する攻撃、過食、拒食、自殺 <予習>自分の中にも、自分を批判し、苦しめる存在がいるのではないか。その批判家と話し合う。45分 <復習>授業内容の整理・再確認。45分
	9 境界—いじめ、ハラスメント、差別と引きこもり <予習>境界を侵入し、人を傷つける関係があり、多くの人が傷ついている。境界について考える。45分 <復習>授業内容の整理・再確認。45分
	10 人との関係を紡ぐこと <予習>人は良い関係を望んでいる。どう好ましい関係を築き、どう維持するのかを考える。45分 <復習>授業内容の整理・再確認。45分
	11 自分史—自分の物語を紡ぐこと <予習>自分史を書くことに挑戦する。新しい自分の物語が紡げるだろうか。45分 <復習>授業内容の整理・再確認。45分
12 自分の感情で生き、好ましい関係を維持すること <予習>自分の感情で生きること考えたとき、どんな人と、どんな関係を実現するか—安全な愛着。45分 <復習>授業内容の整理・再確認。45分	
定期試験	<p>◆定期試験〔筆記〕60分</p> <p>◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分</p>

授業科目名	コンピュータ演習			教員名	新井 誠		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔66条の6〕			ナンバリング	1D106		
授業内容を示すキーワード	コンピュータ・インターネット・ICT・セキュリティ・SNS・AI・パワーポイント・ワード・エクセル						
授業の概要	コンピュータの使用法と情報セキュリティについて学びます。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】 現代社会ではコンピュータを用いた情報活用能力が求められています。この能力は、情報の収集、整理、分析、表現に大きく分けることができます。これらの能力を演習により習得します。あわせてコンピュータを安全に活用する能力の習得及びSNS・AI活用の危険性についても習得を目指します。</p> <p>【到達目標】 この科目においては、これらの能力の基礎的な部分を習得することを目標とします。 具体的には次の4点です。 ・インターネットの利便性および危険性を踏まえて活用できること。 ・プレゼンテーションソフトを使って、説得力のあるプレゼンができること。 ・ワープロソフトを使って、図や表を取り込んだビジネス文書を作成できること。 ・表計算ソフトを使って、簡単なデータの加工ができること。</p>						
授業の方法等	<p>コンピュータを一人一台ずつ使用し、演習(実技)を中心に実施。4つテーマについて、各演習課題を印刷して提出します。 各テーマ終了回には、応用演習課題の発表・討論を行います。 ICTを活用して2教室(208・201)に設置のパソコンで演習を展開します。 事前に指定されたページ(プリント・教科書)を良く読み授業に臨んでください。 授業終了後は、課題シートに完成した日付を記入してファイルにまとめて保存をしてください。要提出(指示します) 事前学習・演習(説明を含む)・まとめは各90分とします。</p>						
成績評価の基準と方法	<p>■定期試験〔筆記・実技〕40% ■授業への取り組み・態度 30% ■提出物〔演習課題等〕30%</p>						
DPに掲げる学力の割合	DP1:20% DP2:30% DP3:20% DP4:10% DP5:10% DP6:10%〔合計100%〕						
教科書	<p>・「ミニマニュアルシリーズこれだけ！Office2019」〔ISBN:978-4410702723〕 数研出版 数研出版編集部編 ※その他必要な資料は、適宜配付します。</p>						
参考書	適宜、資料を配付します。						
関連科目	教育方法・技術論 ICT教育の理論と方法						
質問受付の方法	主に授業の前後に受け付けます。(出勤日であればいつでも遠慮なくどうぞ、可能な限り対応します)						
履修上の注意	<p>演習データ保存用(講義中に指示)には、各自のUSBメモリーを使用します。(パソコンのハードディスク内には保存しないでください) 高等学校共通必修教科「情報」を習得済を前提として演習を進めます。 高校時代に使用した教科書(「情報 I or II」「情報の科学」or「社会と情報」)を併用します。</p>						

授業計画 と 時間外学習	オリエンテーション (コンピュータを上手に使えるようになる)
	1 〈予習〉高校時代の教科書で、習得した内容を振り返る。90分 〈復習〉配付資料の空欄をのノートに清書しファイルに綴じる。90分
	OS(オペレーティングシステム) Microsoft Windows を使ってみよう
	2 〈予習〉高校時代の教科書で、OSの内容を振り返る。90分 〈復習〉配付資料の空欄をノートに清書しファイルに綴じる。90分
	インターネットの仕組みを理解して、安全にコンピュータを使うための方法を身につけよう
	3 〈予習〉教科書p156～を読み、疑問点に下線を引き整理する。90分 〈復習〉配付資料の空欄をノートに清書しファイルに綴じる。90分
	【オンデマンド型(遠隔)授業】パワーポイントを使ってプレゼンをしてみよう
	4 〈予習〉教科書p108～を読み、疑問点に下線を引き整理する。90分 〈復習〉配付資料の空欄をノートに清書しファイルに綴じる。90分
	プレゼンテーション(発表文書)を作成してみよう(1)パワーポイントを使ってみよう
	5 〈予習〉教科書p108～を読み、演習課題に必要なデータを準備する。90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。90分
	プレゼンテーション(発表文書)を作成してみよう(2)パワーポイントの便利な機能を使おう
	6 〈予習〉教科書p108～を読み、演習課題に必要なデータを準備する。90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。90分
	プレゼンテーション(発表文書)を作成してみよう(3)パワーポイントを使いこなそう
	7 〈予習〉教科書p108～を読み、演習課題に必要なデータを準備する。90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。90分
	作成した文書を、パワーポイント使って(プレゼン討論を含む)をしてみよう
8 〈予習〉教科書p108～を読み、演習課題に必要なデータを準備する。90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。90分	
【オンデマンド型(遠隔)授業】ワードを使って文書を作成してみよう	
9 〈予習〉教科書p16～を読み、疑問点に下線を引き整理する。90分 〈復習〉配付資料の空欄をノートに清書しファイルに綴じる。90分	
ビジネス文書を作成してみよう(1)ワードの便利な機能を使おう	
10 〈予習〉教科書p16～を読み、演習課題に必要なデータを準備する。90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。90分	
ビジネス文書を作成してみよう(2)ワードの使いこなそう	
11 〈予習〉教科書p16～を読み、演習課題に必要なデータを準備する。90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。90分	
ビジネス文書を作成してみよう(3)ワードで「おたより」を作り発表しよう	
12 〈予習〉教科書p16～を読み、演習課題に必要なデータを準備する。90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。90分	
【オンデマンド型(遠隔)授業】表計算ソフトを使ってデータ処理をしてみよう	
13 〈予習〉教科書p66～を読み、疑問点に下線を引き整理する。90分 〈復習〉配付資料の空欄をノートに清書しファイルに綴じる。90分	
エクセルの基本操作を使ってデータ処理をしよう	
14 〈予習〉教科書p66～を読み、演習課題に必要なデータを準備する。90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。90分	
エクセルの便利な機能を使ってデータ処理をしよう	
15 〈予習〉教科書p66～を読み、演習課題に必要なデータを準備する。90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。90分	
定期試験	<p>◆定期試験〔実技・筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分</p>

授業科目名	キャリアアップセミナーⅠ*			教員名	酒井 誠 / 福泉 博子		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修			ナンバリング	1D107		
授業内容を示すキーワード	初年次教育、学力の3要素を基準とした入学前教育との連携、個人面談、保育に関する専門性、自己理解、体験						
授業の概要	学力の3要素を基準とした入学前教育との連携を念頭に、初年次教育として「知識・理解」「態度・習慣」「人間性・社会貢献」の観点から、保育所や学校・福祉の現場等における実務や教員経験がある者が、その経験を活かして具体的・実践的なテーマを取り上げ、それぞれのキャリアアップを目指します。また、個人面談を行うとともに、クラスでの保育の実践・行事に関する活動に参加し、保育の専門性の理解に努めます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 1人ひとりに興味関心、進路に即したキャリアアップテーマや学習を通して、保育者としての必要な専門的知識・技術を身に付け保育者としての自覚を高め、キャリアアップを図ります。 【到達目標】 保育者に必要とされる知識・技術、マナーを定着させる。共感性や協調性などを対人関係の適切な場面で発揮できる。 保育者・社会人として必要とされる態度、マナー、対人関係コミュニケーション力等の資質・能力の向上を図ることができる。						
授業の方法等	保育者としてのキャリア形成に関する指導や行事、保育体験外部講師による講演は、クラス単位又は学年全体で講義・演習形式で行います。その際、ICT (EduNavi) を活用した双方向型の授業を行います。また、アクティブラーニングの手法を取り入れ、【PBL/反転授業/ディスカッション・ディベート/グループワーク/プレゼンテーション/実習・フィールドワーク】を授業内で行います。						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度 50% ■提出物 50%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:20% DP2:20% DP3:10% DP4:20% DP5:20% DP6:10% [合計100%]						
教科書	『キャリアサポートブック』山村学園短期大学 その他、必要な資料は適宜配付します。						
参考書	Natural保育検定テキストWeb版 その他、必要な資料は適宜配付します。						
関連科目	子ども学演習Ⅰ・Ⅱ 子ども学ゼミナールⅠ・Ⅱ キャリアアップセミナーⅡ・Ⅲ・Ⅳ						
質問受付の方法	各担任、授業担当者に直接、またはEduNaviを利用して質問してください。						
履修上の注意	子ども学演習ⅠとキャリアアップセミナーⅠとは、学習内容によっては連続授業となったり、同じテーマであってもそれぞれの授業の異なる観点から展開する場合があります。なお、保育体験Ⅰ・Ⅱ等は学外の幼稚園・保育園で行う演習です。また、学内行事等の関係により、授業内容や開講曜日時限が変更される場合がありますので、授業に関する変更掲示には十分注意してください。						

授業計画 と 時間外学習	ガイダンス 初年次教育①②③初年次教育・授業の臨み方・保育者らしさ
	1 〈予習〉シラバス・学生便覧(学年歴・学生生活の案内等)を熟読 45分 〈復習〉学習計画をまとめる 45分
	2 初年次教育④⑤シラバスの見方、カリキュラムの見方・レポートの書き方、ノートの書き方、個人面談① 〈予習〉シラバスについて理解する、自分のレポート、ノートの書き方を振り返る 45分 〈復習〉今回のテーマに関する学びをまとめる 45分
	3 初年次教育⑥⑦コミュニケーションスキル、情報収集の方法と個人情報の保護、個人面談② 〈予習〉自分のこれまでのコミュニケーションの取り方について考える、個人情報の保護について考える 45分 〈復習〉今回のテーマに関する学びをまとめる 45分
	4 初年次教育のまとめ、個人面談③ 〈予習〉初年次教育全体を振り返る 45分 〈復習〉初年次教育の今回のテーマに関する学びをまとめる、自分自身の課題を整理する 45分
	5 キャリアサポ学習① キャリサポ学習の意義について学ぶ 〈予習〉自分自身の課題と卒業後の進路について考える 45分 〈復習〉自分自身の課題を整理し、理解する 45分
	6 保育体験Ⅰ(ふれあい体験) 〈予習〉園見学のイメージづくり 45分 〈復習〉振り返りシートをまとめる 45分
	7 保育体験Ⅱ(園見学)① 〈予習〉ふれあい体験のイメージづくり 45分 〈復習〉振り返りシートをまとめる 45分
	8 保育体験Ⅱ(園見学)② 〈予習〉園記録のイメージづくり 45分 〈復習〉見学記録をまとめる 45分
	9 ナチュラル保育検定事前学習 〈予習〉EduNavi等を活用した事前学習 45分 〈復習〉事前学習内容の定着 45分
	10 キャリアサポ学習② 自己分析 〈予習〉これまでの自分を省的に見つめなおす 45分 〈復習〉振り返りシートをまとめ、現在の自己を客観的に認識する 45分
	11 キャリアサポ学習③ キャリアアップと就職を考える 〈予習〉前期の自らのキャリアアップの取り組みを考える 45分 〈復習〉学習ポートフォリオに取り組む 45分
	12 キャリアサポ学習④ 人との関わり方を考える 〈予習〉ホスピタリティについて考える 45分 〈復習〉学習ポートフォリオを完成させる 45分
	13 キャリアサポ学習⑤ 履歴書の書き方を知る 〈予習〉履歴書について情報収集を行う 45分 〈復習〉内容を整理する 45分
	14 埼玉県労働局講座(アルバイトの労働条件) 〈予習〉労働条件を理解し講座の目的・内容を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分
15 あいサポーター養成講座 〈予習〉障がいや障がいがある人への関わり方を考える 45分 〈復習〉講座で得た知識・スキルの定着を図る 45分	
定期試験	◆定期試験は実施せず。

授業科目名	キャリアアップセミナーⅡ*			教員名	酒井 誠 / 福泉 博子		
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修			ナンバリング	1D602		
授業内容を示すキーワード	初年次教育、学力の3要素を基準とした入学前教育との連携、体験、自己理解、キャリア形成、保育に関する専門性、個人面談						
授業の概要	学力の3要素を基準とした入学前教育との連携を念頭に、初年次教育として「知識・理解」「態度・習慣」「人間性・社会貢献」の観点から、保育所や学校・福祉の現場等における実務や教員経験がある者が、その経験を活かして具体的・実践的なテーマを取り上げ、それぞれのキャリアアップを目指します。また、個人面談を行うとともに、クラスでの保育の実践・行事に関する活動に参加し、保育の専門性の理解に努めます。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】 1人ひとりに興味関心、進路に即したキャリアアップテーマや学習を通して、保育者としての必要な専門的知識・技術を身に付け保育者としての自覚を高め、キャリアアップを図ります。</p> <p>【到達目標】 保育者に必要とされる知識・技術、マナーを定着させる。共感性や協調性などを対人関係の適切な場面で発揮できる。 保育者・社会人として必要とされる態度、マナー、対人関係コミュニケーション力等の資質・能力の向上を図ることができる。</p>						
授業の方法等	90分13回(合計52時間)の授業を行います。 ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業及び自主学習支援を行います。 また、アクティブラーニングの手法を取り入れ、【PBL/反転授業/ディスカッション・ディベート/グループワーク/プレゼンテーション/実習・フィールドワーク】を授業内で行います。						
成績評価の基準と方法	<p>■授業への取り組み・態度 50%</p> <p>■提出物 50%</p>						
DPに掲げる学力の割合	DP1:20% DP2:20% DP3:10% DP4:20% DP5:20% DP6:10% [合計100%]						
教科書	『キャリアサポートブック』山村学園短期大学 その他、必要な資料は適宜配付します。						
参考書	Natural保育検定テキストWeb版 その他、必要な資料は適宜配付します。						
関連科目	子ども学演習Ⅰ・Ⅱ 子ども学ゼミナールⅠ・Ⅱ キャリアアップセミナーⅠ・Ⅲ・Ⅳ						
質問受付の方法	各担任、授業担当に直接、またはEduNaviを利用して質問してください。						
履修上の注意	子ども学演習ⅠとキャリアアップセミナーⅠとは、学習内容によっては連続授業となったり、同じテーマであってもそれぞれの授業の異なった観点から展開する場合があります。また、学内行事等の関係により、授業内容や開講曜日時限が変更される場合がありますので、授業に関する変更掲示には十分注意してください。						

授業計画 と 時間外学習	1	キャリアサポート学習⑥ 職業研究①保育士資格 〈予習〉免許・資格を生かした職業について調べる 45分 〈復習〉資格と職業について学んだことを定着化する 45分
	2	キャリアサポート学習⑦ 職業研究②幼稚園教諭免許 〈予習〉免許・資格を生かした職業について調べる 45分 〈復習〉免許と職業について学んだことを定着化する 45分
	3	里山保全体験学習〔鳩山町石坂の森〕 〈予習〉里山保全体験学習(実地体験)の目的・内容を理解する 45分 〈復習〉里山体験学習(実地体験)の振り返り 45分
	4	キャリアサポート学習⑧ 履歴書の書き方① 〈予習〉履歴書に記載する内容について考えてくる 45分 〈復習〉履歴書に関する知識の定着化と自身の履歴書のスタイルを決める 45分
	5	実習報告会及び懇談会 〈予習〉教育実習を振り返るとともに、今後の実習の準備、保育の実践について考える 45分 〈復習〉当日の知見をまとめる 45分
	6	グループ別学習(プレゼミナール) 〈予習〉グループの計画を点検する 45分 〈復習〉グループで立てた計画をイメージトレーニングしてみる 45分
	7	保育体験Ⅲ(施設見学)・教育実習Ⅰ振り返り 〈予習〉施設見学の準備、教育実習Ⅰを振り返る 45分 〈復習〉見学記録をまとめる、教育実習Ⅱに向けた課題を整理する 45分
	8	ナチュラル保育検定事前学習 〈予習〉EduNavi等を活用した事前学習 45分 〈復習〉事前学習内容の定着 45分
	9	ナチュラル保育検定 〈予習〉テキスト等を活用した事前学習 45分 〈復習〉検定の振り返り 45分
	10	山緑祭、Yamamura Juhla Juhla 準備 〈予習〉クラスとグループでの準備を確認する 45分 〈復習〉クラスとグループでの活動を振り返る 45分
	11	キャリアサポート学習⑨ 履歴書の書き方② 〈予習〉キャリアサポート学習内容を理解し準備をする 45分 〈復習〉振り返り 45分
	12	キャリアサポート学習⑩ 進路講演会 〈予習〉キャリアサポート学習内容を理解し準備をする 45分 〈復習〉振り返り 45分
	13	認知症サポーター講座 〈予習〉認知症サポーター講座を受講する目的・内容を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分
定期試験	◆定期試験は実施せず。	

授業科目名	キャリアアップセミナーⅢ*			教員名	橋本 淳一 / 伊藤 えつ子		
配当年次	2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修				ナンバリング	2D109	
授業内容を示すキーワード	現職施設長等による職業・業界説明、個人面談、履歴書作成 保育に関する専門性向上講座 行事準備						
授業の概要	様々な進路を念頭に、保育所や学校・福祉の現場等における実務や教員経験がある者が、その経験を活かして具体的・実践的なテーマに沿って講演や指導を行い、それぞれのキャリア形成を目指します。また、個人面談を行うとともに、クラスでの保育の実践・行事に関する活動に参加し、保育の専門性の理解に努めます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 1人ひとりに興味関心、進路に即したキャリアアップテーマや学習を通して、保育者としての必要な専門的知識・技術を身に付け保育者としての自覚を高め、キャリアアップを図ります。 【到達目標】 保育者に必要とされる知識・技術、マナーを定着させる。共感性や協調性などを対人関係の適切な場面で発揮できる。 保育者・社会人として必要とされる態度、マナー、対人関係コミュニケーション力等の資質・能力の向上を図ることができる。						
授業の方法等	90分12回(合計48時間)の授業をキャリア形成に関する指導や行事の準備活動、外部講師による講演会等など、クラス単位又は学年全体で講義・演習形式で行います。 また、ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業を行い自主学習支援を行います。また、アクティブラーニングの手法を取り入れ、[PBL/反転授業/ディスカッション・ディベート/グループワーク/プレゼンテーション/実習・フィールドワーク]を授業内で行います。						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度 50% ■提出物 50%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:20% DP2:20% DP3:10% DP4:20% DP5:20% DP6:10% [合計100%]						
教科書	『キャリアサポートブック』山村学園短期大学 その他、必要な資料は適宜配付します。						
参考書	Natural保育検定テキストWeb版 その他、必要な資料は適宜配付します。						
関連科目	子ども学演習Ⅰ・Ⅱ 子ども学ゼミナールⅠ・Ⅱ キャリアアップセミナーⅠ・Ⅱ・Ⅳ						
質問受付の方法	各担任、授業担当に直接、またはEduNaviを利用して質問してください。						
履修上の注意	子ども学ゼミナールⅠとキャリアアップセミナーⅢとは、学習内容によっては連続授業となったり、同じテーマであってもそれぞれの授業の異なった観点から展開する場合があります。また、学内行事等の関係により、授業内容や開講曜日時限が変更される場合がありますので、授業に関する変更掲示には十分注意してください。						

授業計画 と 時間外学習	就職活動のガイダンスと職業・職種の研究
	1 <予習>進路、就職活動をイメージする 45分 <復習>進路、就職活動の計画を立ててみる 45分
	2 学長による公務員講座説明、県社会福祉事業団紹介 <予習>就職活動に対し準備する 45分 <復習>新しい見聞、知見のまとめ振り返り 45分
	3 彩の国さいたま人づくり広域連合による公務員(保育士職)説明会 <予習>自分の居住する市町村の公立保育園や保育職受験について下調べする 45分 <復習>新しい見聞、知見のまとめ振り返り 45分
	4 卒業生による進路講演会 <予習>就職活動に対し準備する 45分 <復習>報告会での新しい見聞、知見のまとめ、振り返り 45分
	5 履歴書作成・個人面談① <予習>自己紹介の内容について考える 45分 <復習>個人面談の内容を踏まえ、自分の進路について整理する 45分
	6 履歴書作成・個人面談② <予習>自己紹介の内容について、特に自分の強みについて考える 45分 <復習>個人面談の内容を踏まえ、自分の進路について整理する 45分
	7 ナチュラル保育検定事前学習 <予習>Edu-Navi等を活用した事前学習 45分 <復習>事前学習内容の定着 45分
	8 ナチュラル保育検定 <予習>EduNavi等を活用した事前学習 45分 <復習>事前学習内容の定着 45分
	9 就職用作文の書き方① <予習>自分の作文の書き方を確認する 45分 <復習>作文の書き方の基本を定着化させる 45分
	10 就職用作文の書き方② <予習>自分の作文を下書きする 45分 <復習>自分の作文を推敲する 45分
	11 個人面談③ <予習>自己紹介の内容について、特に自分の強みについて伝える練習をする 45分 <復習>個人面談の内容を踏まえ、自分の進路の方向性についてまとめる 45分
12 プレコンセプションケア講習 <予習>プレコンセプションケアについて下調べする 45分 <復習>プレコンセプションケアに関する学習内容の定着 45分	
定期試験	◆定期試験は実施せず。

授業科目名	キャリアアップセミナーⅣ*			教員名	橋本 淳一 / 伊藤 えつ子		
配当年次	2	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修				ナンバリング	2D110	
授業内容を示すキーワード	学内就職説明会 2年生による就職報告会 履歴書作成 面接練習 行事準備						
授業の概要	様々な進路を念頭に、保育所や学校・福祉の現場等における実務や教員経験がある者が、その経験を活かして具体的・実践的なテーマに沿って講演や指導を行い、それぞれのキャリア形成を目指します。また、個人面談を行うとともに、クラスでの保育の実践・行事に関する活動に参加し、保育の専門性の理解に努めます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 1人ひとりに興味関心、進路に即したキャリアアップテーマや学習を通して、保育者としての必要な専門的知識・技術を身に付け保育者としての自覚を高め、キャリアアップを図ります。 【到達目標】 保育者に必要とされる知識・技術、マナーを定着させる。共感性や協調性などを対人関係の適切な場面で発揮できる。 保育者・社会人として必要とされる態度、マナー、対人関係コミュニケーション力等の資質・能力の向上を図ることができる。						
授業の方法等	キャリア形成に関する指導や行事の準備活動、外部講師による講演会など、クラス単位又は学年全体で講義・演習形式で行います。また、ICT (EduNavi) を活用した双方向型の授業を行い自主学習支援を行います。また、アクティブラーニングの手法を取り入れ、【PBL/反転授業/ディスカッション・ディベート/グループワーク/プレゼンテーション/実習・フィールドワーク】を授業内で行います。						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度 50% ■提出物 50%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:20% DP2:20% DP3:10% DP4:20% DP5:20% DP6:10% [合計100%]						
教科書	『キャリアサポートブック』山村学園短期大学 その他、必要な資料は適宜配付します。						
参考書	Natural保育検定テキストWeb版 その他、必要な資料は適宜配付します。						
関連科目	子ども学演習Ⅰ・Ⅱ 子ども学ゼミナールⅠ・Ⅱ キャリアアップセミナーⅠ・Ⅱ・Ⅲ						
質問受付の方法	各担任、授業担当に直接、またはEduNaviを利用して質問してください。						
履修上の注意	子ども学ゼミナールⅠとキャリアアップセミナーⅢとは、学習内容によっては連続授業となったり、同じテーマであってもそれぞれの授業の異なった観点から展開する場合があります。また、学内行事等の関係により、授業内容や開講曜日時限が変更される場合がありますので、授業に関する変更掲示には十分注意してください。						

授業計画 と 時間外学習	後期オリエンテーション(進路決定の手順と履歴書の書き方)
	1 <予習>進路、就職活動 45分 <復習>進路の計画を立ててみる 45分
	2 学内就職説明会① <予習>就職活動に対し準備する 45分 <復習>新しい見聞、知見のまとめ振り返り 45分
	3 学内就職説明会② <予習>就職活動に対し準備する 45分 <復習>新しい見聞、知見のまとめ振り返り 45分
	4 免許・資格申請手続き説明会 <予習>就職活動に対し準備する 45分 <復習>新しい見聞、知見のまとめ振り返り 45分
	5 履歴書作成、面接練習、個人面談①(担任等による個別指導) <予習>就職活動に対し準備する 45分 <復習>新しい見聞、知見のまとめ振り返り 45分
	6 実習報告会及び懇談会 <予習>教育実習を振り返るとともに、今後の保育の実践について考える 45分 <復習>当日の知見をまとめる 45分
	7 履歴書作成、面接練習、個人面談②(担任等による個別指導) <予習>就職活動に対し準備する 45分 <復習>新しい見聞、知見のまとめ振り返り 45分
	8 履歴書作成、面接練習、個人面談③(担任等による個別指導) <予習>就職活動に対し準備する 45分 <復習>新しい見聞、知見のまとめ振り返り 45分
	9 ナチュラル保育検定事前学習 <予習>Edu-Navi等を活用した事前学習 45分 <復習>事前学習内容の定着 45分
	10 Yamamura Juhla Juhla / 山緑祭準備 ② <予習>グループでの準備を確認する 45分 <復習>グループでの活動を振り返る 45分
	11 ナチュラル保育検定 <予習>EduNavi等を活用した事前学習 45分 <復習>事前学習内容の定着 45分
	12 Yamamura Juhla Juhla / 山緑祭準備 ④ <予習>グループでの準備を確認する 45分 <復習>グループでの活動を振り返る 45分
	13 社会人のマナーとコミュニケーション <予習>社会人としてのマナーを考える 45分 <復習>振り返りと確認 45分
	14 就職活動報告書の作成と就業規則と離職やその手続きに関する知識 <予習>就職後の生活をイメージする 45分 <復習>新しい見聞、知見のまとめ振り返り 45分
15 後期試験に向けて、建学の精神アンケート、学習ポートフォリオ 等 <予習>2年間の学習を振り返り、職業生活に向けての抱負を考える 45分 <復習>振り返りを確認する 45分	
定期試験	◆定期試験は実施せず。

授業科目名	保育入門			教員名	専任教員		
配当年次	1	開講時期	半期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係				ナンバリング	4D111		
授業内容を示すキーワード	本短大と山村国際高校との高大連携科目。山村国際高校での授業内で実施。短大での自然観察＋ワークショップ、地元の保育所での体験学習を含む。						
授業の概要	1 短大の専任教員によるオムニバス授業。それぞれの専門領域をコンパクトにまとめて、授業を展開する。 2 夏季休業中には、保育所などでの体験学習を行う予定。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 1 保育の楽しさを感じられるような授業内容とする。 2 保育の理論、保育園での実践、図画工作等、保育に関する各領域の学習を経験し、保育に関する意欲を高める。 3 保育所での体験学習を行い、保育現場の理解を深める。 【到達目標】 1 保育を学ぶために必要な科目や専門性の全体像を説明できる。 2 保育の学習に対する意欲を高め、大学や短期大学に入学した後の学習に円滑に接続できるようにする。 3 保育所での体験学習を通じ、保育の現場の雰囲気を感じ、感じたことを言葉で表現することができる。						
授業の方法等	山村国際高校での授業14回(100分×14回)、短大での自然観察＋ワークショップを2回、保育所での体験学習半日を1回予定。 専任教員がオムニバス形式で授業を担当する。						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度 100%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:30% DP2:10% DP3:20% DP4:10% DP5:20% DP6:10% [合計100%]						
教科書	適宜、必要な資料を配付します。						
参考書	適宜、必要な資料を配付します。						
関連科目	保育士養成に係る科目全般。						
質問受付の方法	授業時間中または授業前後で質問を受け付けます。						
履修上の注意	本短大に入学後、本学子ども学科の必要卒業単位数に単位認定をする予定です。保育所での体験学習は本短大の近隣の園で実施する予定。山村国際高校との日程の調整により、内容の変更があるので注意すること。						

授業計画 と 時間外学習	オリエンテーション	専任教員⑧
	1 <予習>なし。 <復習>作成したプリントで復習を行う。170分	11 <予習>プリント実施。80分 <復習>プリント実施。90分
	専任教員①	専任教員⑨
	2 <予習>プリント実施。80分 <復習>プリント実施。90分	12 <予習>プリント実施。80分 <復習>プリント実施。90分
	専任教員②	専任教員⑩
	3 <予習>プリント実施。80分 <復習>プリント実施。90分	13 <予習>プリント実施。80分 <復習>プリント実施。90分
	専任教員③	専任教員⑪
	4 <予習>プリント実施。80分 <復習>プリント実施。90分	14 <予習>プリント実施。80分 <復習>プリント実施。90分
	専任教員④	15 自然観察＋ワークショップ(本学にて)
	5 <予習>プリント実施。80分 <復習>プリント実施。90分	
6 自然観察＋ワークショップ(本学にて)	専任教員①	
	16 <予習>プリント実施。80分 <復習>プリント実施。90分	
専任教員⑤	専任教員②	
7 <予習>プリント実施。80分 <復習>プリント実施。90分	17 <予習>プリント実施。80分 <復習>プリント実施。90分	
専任教員⑥		
8 <予習>プリント実施。80分 <復習>プリント実施。90分		
専任教員⑦		
9 <予習>プリント実施。80分 <復習>プリント実施。90分		
10 保育体験学習(近隣保育園にて)		
定期試験	◆授業へ取り組む態度で評価する。	◆授業へ取り組む態度で評価する。

保育の本質・目的に関する科目

授業科目名	保育原理 *			教員名	室井 佑美		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修 ○保育士資格必修〔保育原理〕			ナンバリング	1D201		
授業内容を示すキーワード	保育所保育 養護 教育 思想 保育士 保育所保育指針 子ども・子育て支援新制度						
授業の概要	保育の意義、基本、方法など、保育の原理を学びます。さらに、日本・諸外国の保育の思想や歴史を知り、保育に関する法律、制度を把握し、現状と課題を理解します。そのうえで、「保育とは何か」という保育の本質をとらえ、考えていきます。 保育士として保育現場で勤務経験を有する実務家教員であり、保育の現場における保育の視点、子どもや保護者の視点、地域の住民やその他の視点など、多角的に現状を伝え、保育の専門的知識に活かすことができます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 保育士資格を取得するための必修科目です。保育士の専門性に関する根本原理を学びます。保育の本質を探究することで、保育者としての資質向上を目指す意欲を養います。 【到達目標】 (1) 保育所保育指針における保育の基本について説明できるようになる。 (2) 保育の思想や歴史の変遷を理解し、現在の保育に関する法制度や施策の背景と現状を説明できるようになる。 (3) 保育の意義及び目的を自分なりにとらえながら、現代社会における保育の諸課題について問題意識をもって、これから求められる保育の姿を考えようとする。						
授業の方法等	講義を中心に授業を展開していきます。一部、授業内で視聴覚教材も使用します。 ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業及び自主学習支援を行います。 また、アクティブラーニングの手法を取り入れ、[PBL/反転授業]を授業内で行うこともあります。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度及び授業内成果提出物 50%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:40% DP2:20% DP3:20% DP4:10% DP5:0% DP6:10% [合計100%]						
教科書	○「保育職・教職をめざす人のための保育用語・法規」(ISBN:978-4623096589)/戸江茂博他(編集)/ミネルヴァ書房 ○「保育所保育指針解説」(ISBN:978-4577814482)/厚生労働省(編集)/フレーベル館 ○「幼稚園教育要領解説」(ISBN:978-4577814475)/文部科学省(編集)/フレーベル館 ○「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(ISBN:978-4577814499)/内閣府・文部科学省・厚生労働省/フレーベル館						
参考書	適宜資料を配付します。						
関連科目	保育・教職論 教育原理 子ども家庭福祉 保育内容総論						
質問受付の方法	毎回提出するコーネル式ノート、教員のオフィスアワーなどで受け付けます。						
履修上の注意	毎回の授業での講義内容をコーネル式ノートの書き込み、後日提出を求めます。 配布資料については、2穴ファイルなどに整理し、学んだことをまとめておきましょう。 授業については事前に受講回で学ぶ専門用語に付箋を付ける、事後は改めて見直すなど、予習復習に励みましょう。その他、法制度や施策などは所轄省庁のホームページを参照するなどして、主体的に知識を得る学習習慣を身につけてください。 やむを得ず授業を欠席する場合は、EduNaviの資料、課題の把握、授業内容の確認など、能動的に行動してください。						

授業計画 と 時間外学習	1	オリエンテーション(保育原理の学習内容と学習方法)、保育とは何か(理念と概念) 〈予習〉初回のため、なし 〈復習〉第1回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。180分
	2	「保育所」の法的・制度的位置づけ、最新の動向 〈予習〉昨年度第2回授業資料を通読する。 第2回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。60分 〈復習〉第2回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。120分
	3	「幼稚園」の法的・制度的位置づけ、最新の動向 〈予習〉昨年度第3回授業資料を通読する。 第3回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。60分 〈復習〉第3回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。120分
	4	「認定こども園」の法的・制度的位置づけ、最新の動向 〈予習〉昨年度第4回授業資料を通読する。 第4回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。60分 〈復習〉第4回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。120分
	5	地域型保育事業(小規模保育・家庭的保育・事業所内保育・居宅訪問型保育)の制度的位置づけ、最新の動向 〈予習〉昨年度第5回授業資料を通読する。 第5回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。60分 〈復習〉第5回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。120分
	6	保育者としての資格・免許(保育士/幼稚園教諭/保育教諭等) 〈予習〉昨年度第6回授業資料を通読する。 第6回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。60分 〈復習〉第6回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。120分
	7	日本の保育施策の動向(子ども・子育て支援新制度を中心に) 〈予習〉昨年度第7回授業資料を通読する。 第7回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。60分 〈復習〉第7回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。120分
	8	諸外国における保育・教育思想と歴史の変遷 〈予習〉昨年度第8回授業資料を通読する。 第8回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。60分 〈復習〉第8回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。120分
	9	日本における保育・教育思想と歴史の変遷 〈予習〉昨年度第9回授業資料を通読する。 第9回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。60分 〈復習〉第9回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。120分
	10	【オンデマンド型(遠隔)授業】 保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の変遷と構成、内容の詳細 〈予習〉昨年度第10回授業資料を通読する。 第10回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。60分 〈復習〉第10回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。120分
	11	【オンデマンド型(遠隔)授業】 子どもの理解に基づく保育の過程(計画・実践・記録・省察・評価・改善)とPDCAサイクル 〈予習〉昨年度第11回授業資料を通読する。 第11回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。60分 〈復習〉第11回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。120分
	12	保育所保育指針における保育の基本(基本原則、養護、目標、内容、環境・方法) 〈予習〉昨年度第12回授業資料を通読する。 第12回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。60分 〈復習〉第12回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。120分
	13	多様な保育内容、保育方法(日本、諸外国も含めて) 〈予習〉昨年度第13回授業資料を通読する。 第13回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。60分 〈復習〉第13回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。120分
	14	これからの保育の課題と展望(質の向上、保育の専門性、こどもの権利、ダイバーシティ) 〈予習〉昨年度第14回授業資料を通読する。 第14回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。60分 〈復習〉第14回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。120分
	15	【オンデマンド型(遠隔)授業】保育原理のまとめ 〈予習〉昨年度第15回授業資料を通読する。 第15回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。60分 〈復習〉第15回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。120分
定期試験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授業科目名	教育原理 *			教員名	宇田川 和久 / 高後 仁		
配当年次	2	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修 ○保育士資格必修〔教育原理〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔教育の基礎的理解に関する科目/教育の理念並び教育に関する歴史及び思想、教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)]			ナンバリング	2D202		
授業内容を示すキーワード	学校教育、教育思想、教育史、学習指導要領、教育制度						
授業の概要	教育の目的や歴史を踏まえながら、人間形成において最も重要な乳幼児期の保育に携わる保育士・幼稚園教諭に必要な、学校教育に関わる理念、教育制度、学習指導要領、教育課程、学習指導等に関する基礎的な知識を学習します。 また、教育者として教育現場や教育行政での勤務経験を有する実務教員であることから、教育現場での教育者の視点、子ども・保護者の視点等を多角的に現状を伝え、教育の専門的知識に活かしていく力を養います。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 教育の目的や意義・方法等について学習し、保育士・幼稚園教諭として必要な基本的な知識や考え方を習得します。 【到達目標】 (1)教育の意義・目的について理解する。 (2)学校教育の歴史と制度について理解する。 (3)教育の制度について理解する。 (4)教育実践のさまざまな取組について理解する。 (5)教育の現状と課題について理解する。						
授業の方法等	講義形式が中心ですが、アクティブラーニングの手法を取り入れ可能な限りグループワーク等を授業内で行います。必要に応じて課題を提示し、レポート作成・発表・協議など学生の主体的な取り組みのある授業展開を行います。 また、ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業及び自主学習支援を行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 20% ■その他〔小テスト〕10%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:10% DP2:30% DP3:20% DP4:10% DP5:10% DP6:20% 〔合計100%〕						
教科書	『ワークで学ぶ 教育原理』[ISBN:978-4623098668] ミネルヴァ書房						
参考書	文部科学省ホームページ						
関連科目	保育原理						
質問受付の方法	適宜研究室等に対応します。また、授業前に配布する出席カードなどでも対応します。						
履修上の注意	講義の記録、配付した印刷物等は、A4ファイルに学習ノートとして整理すること。						

授業計画 と 時間外学習	1	保育者・教師になるための「教育原理」の学び〔担当:宇田川〕 〈予習〉序章を読み教育とは何かについて自分の考えをまとめる。90分 〈復習〉授業中に配付したレジュメを整理する。90分
	2	教育とは何か〔担当:宇田川〕 〈予習〉第1章を読み教育の目的について自分の考えをまとめる。90分 〈復習〉授業中に配付したレジュメを整理する。90分
	3	学校とは何か〔担当:宇田川〕 〈予習〉第2章を読み学校の役割について自分の考えをまとめる。90分 〈復習〉授業時に配付したレジュメをまとめる。90分
	4	西洋の教育思想〔担当:高後〕 〈予習〉第5章を読み、近代教育に貢献した人物の業績を調べてくる。90分 〈復習〉授業時に配付したレジュメをまとめる。90分
	5	日本の教育思想〔担当:高後〕 〈予習〉第6章を読み、寺子屋、手習塾等、庶民教育の実態について調べてくる。90分 〈復習〉授業時に配付したレジュメをまとめる。90分
	6	【オンデマンド型(遠隔)】近代公教育制度の成立と展開〔担当:高後〕 〈予習〉第7章を読み、日本の近代教育成立について整理する。90分 〈復習〉授業中に配付したレジュメをまとめる。90分
	7	戦後における学校教育の展開〔担当:高後〕 〈予習〉第8章を読み、戦後の教育の在り方について整理する。90分 〈復習〉授業時に配付したレジュメをまとめる。90分
	8	幼児教育の展開〔担当:高後〕 〈予習〉第6～8章を振り返り、日本の幼児教育の展開について調べてくる。90分 〈復習〉授業時に配付したレジュメをまとめる。90分
	9	遊びと学び～幼児期から児童期へ～〔担当:高後〕 〈予習〉第9章を読み、幼児教育の基本、保育内容について調べてくる。90分 〈復習〉授業時に配付したレジュメをまとめる。90分
	10	【オンデマンド型(遠隔)】子どもの権利と保育・教育〔担当:高後〕 〈予習〉第10章を読み、子どもの権利条約の内容について整理する。90分 〈復習〉授業中に配付したレジュメをまとめる。90分
	11	子どもの権利と保育・教育〔担当:高後〕 〈予習〉第10章を振り返り、子どもの権利を守る取組について調べてくる。90分 〈復習〉授業中に配付したレジュメをまとめる。90分
	12	【オンデマンド型(遠隔)】世界の保育・教育〔担当:高後〕 〈予習〉第12章を読み、世界各国の保育・教育について調べてくる。90分 〈復習〉授業中に配付したレジュメをまとめる。90分
	13	社会教育と生涯学習〔担当:宇田川〕 〈予習〉第11章を読み、生涯学習論について調べてくる。90分 〈復習〉授業中に配付したレジュメをまとめる。90分
	14	新しい保育・教育の課題と保育者・教師①〔担当:宇田川〕 〈予習〉第13章を読み、教育の新たな取組について調べる。90分 〈復習〉授業中に配付したレジュメをまとめる。90分
	15	新しい保育・教育の課題と保育者・教師②、まとめ〔担当:宇田川〕 〈予習〉全体を振り返り、この教育原理での自身の学びについて整理する。90分 〈復習〉授業中に配付したレジュメ、試験対策についてまとめる。90分
定期試験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授業科目名	子ども家庭福祉			教員名	橋本 淳一		
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔子ども家庭福祉〕				ナンバリング	1D203	
授業内容を示すキーワード	保育士 保育所 子どもの最善の利益 児童福祉 子ども・子育て支援新制度 社会的養育 切れ目のない支援						
授業の概要	現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷、子どもの人権、子ども家庭福祉の制度や実施体系、地域子育て支援、子ども虐待・DV、社会的養護、次世代育成支援等子ども家庭福祉の現状と課題、動向と展望について学びます。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】 保育が福祉の一分野であることを理解し、保育、子ども・子育て支援を中心に、子どもや家庭に関する実情や制度について、福祉の観点から捉え直すことをめざす。</p> <p>【到達目標】 保育者に必要な子ども家庭福祉の意義や歴史の変遷、制度と法律、実施体系などを理解している。子育て支援、子ども虐待、障害のある子ども、社会的養護の他子どもと家庭をめぐるさまざまな問題を理解し、その対応を主体的に考えることができる。</p>						
授業の方法等	パワーポイントのスライドとプリントを使い講義形式で進めます。 ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業を行います。また、アクティブラーニングの手法を取り入れ、【ディスカッションやグループワーク等】を授業内で行います。 一部、オンデマンド型(遠隔)授業を行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕80% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 10%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:40% DP2:20% DP3:10% DP4:10% DP5:10% DP6:10% 〔合計100%〕						
教科書	『図解で学ぶ保育 子ども家庭福祉』[ISBN:978-893474445] 直島正樹・河野清志編著 萌文書林						
参考書	『ひと目でわかる保育者のための児童家庭福祉データブック2026』中央法規出版						
関連科目	社会福祉 子ども家庭支援論 社会的養護Ⅰ・Ⅱ インクルーシブ教育・保育Ⅰ・Ⅱ						
質問受付の方法	担当教員に直接、またはEduNaviを利用して質問してください。						
履修上の注意	各回配布するプリントの管理と整理は自己責任で行ってください。						

授業計画 と 時間外学習	オリエンテーション～子ども家庭福祉の意義と保育～
	1 〈予習〉テキスト第1章1を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	2 子ども家庭福祉の現代的背景 〈予習〉テキスト第1章2を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	3 子どもの権利とそれを守る取り組み 〈予習〉テキスト第1章3、第7章2を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	4 子ども家庭福祉の歴史の変遷 〈予習〉テキスト第2章を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	5 【オンデマンド型(遠隔)授業】子ども家庭福祉の主要な法律 〈予習〉テキスト第3章を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	6 世界における子どもの権利の実情① 〈予習〉テキスト第2章1・2・3を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	7 世界における子どもの権利の実情② 〈予習〉前回プリントの読み返し 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	8 【オンデマンド型(遠隔)授業】子ども家庭福祉の行政と実施機関 〈予習〉テキスト第4章1を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	9 子ども家庭福祉の施設と専門職 〈予習〉テキスト第4章2・3・4を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	10 社会的養護の意味と施設 〈予習〉テキスト第6章3を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	11 子ども家庭支援の展開 ～母子保健、ひとり親家庭、子ども虐待・DV、貧困家庭・外国籍の子どもへの対応～ 〈予習〉テキスト第5章1・2・4、第6章の1・2・5・6・7を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	12 地域子育て支援と子ども・子育て支援新制度 〈予習〉テキスト第2章5第6章8第7章4を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	13 【オンデマンド型(遠隔)授業】障害のある子どもの福祉 〈予習〉テキスト第6章4を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	14 【オンデマンド型(遠隔)授業】授業のまとめ 〈予習〉これまでのプリントを読み返す 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
15 【オンデマンド型(遠隔)授業】試験対策 問題演習 〈予習〉これまでのプリントを読み返す 90分 〈復習〉問題演習を振り返り、試験対策資料を作成する 90分	
定期試験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分

授業科目名	社会福祉			教員名	橋本 淳一		
配当年次	2	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔社会福祉〕				ナンバリング	2D204	
授業内容を示すキーワード	ノーマライゼーション ソーシャル・インクルージョン 地域共生社会 自己決定 社会福祉基礎構造改革						
授業の概要	現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷及び社会福祉の中の子ども家庭福祉に加えて、社会福祉の法律・制度や実施体系、社会福祉における利用者保護の仕組み、公的社会保障制度、高齢者福祉、障害者福祉、地域福祉、ボランティア、社会福祉の援助技術など社会福祉の実情や動向、課題等について幅広く学びます。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】 社会福祉と現実の子ども家庭支援や保育がどう繋がっているのかを知るとともに、現代の社会福祉の考え方や体系を理解し、その法律や制度、専門的方法・技術など、子ども家庭支援や保育の現場に生かせる知識の獲得をめざす。</p> <p>【到達目標】 保育者に必要な社会福祉の理念や概念、歴史、制度と法律、相談援助の理論や方法・技術、及び社会福祉における子ども家庭支援の方策について理解し、適用することができる。</p>						
授業の方法等	パワーポイントのスライドとプリントを使い講義形式で進めます。 ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業を行います。また、アクティブラーニングの手法を取り入れ、【ディスカッションやグループワーク等】を授業内で行います。 一部、オンデマンド型(遠隔)授業を行います。						
成績評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ■定期試験〔筆記〕80% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 10% 						
DPに掲げる学力の割合	DP1:40% DP2:20% DP3:10% DP4:10% DP5:10% DP6:10% 〔合計100%〕						
教科書	『最新 社会福祉のすすめ』(ISBN:978-4762028731) 和田光一・筒井澄栄・西川ハンナ 学文社						
参考書	『国民福祉の動向』厚生統計協会						
関連科目	子ども家庭福祉 子ども家庭支援論 社会的養護Ⅰ・Ⅱ インクルーシブ教育・保育Ⅰ・Ⅱ						
質問受付の方法	担当教員に直接、またはEduNaviを利用して質問してください。						
履修上の注意	各回配付するプリントの管理と整理は自己責任で行ってください。						

授業計画 と 時間外学習	1	社会福祉の理念と対象、社会福祉における利用者保護に関わる仕組み 〈予習〉テキスト第2章を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	2	日本の社会福祉のあゆみ① 前近代から昭和初期まで 〈予習〉テキスト第4章1を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	3	日本の社会福祉のあゆみ② 戦後の社会福祉の展開 〈予習〉テキスト第4章1を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	4	イギリスを中心とする欧米の社会福祉のあゆみ 〈予習〉テキスト第4章2を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	5	社会福祉の法体系と実施機関 〈予習〉テキスト第3章2、3、4を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	6	社会福祉と障害に関する海外事例研究① ～重度身体障害～ 〈予習〉テキスト第8章1を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	7	社会福祉と社会保障に関する海外事例研究② ～社会保障～ 〈予習〉テキスト第8章2を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	8	日本の社会保障・保険制度① 年金・健康保険 〈予習〉テキスト第3章1.2を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	9	日本の社会保障・保険制度② 公的扶助・生活保護 〈予習〉テキスト第6章1を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	10	高齢者の福祉 〈予習〉テキスト第6章4を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	11	【オンデマンド型(遠隔授業①)】障害者の福祉 〈予習〉テキスト第6章3を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	12	【オンデマンド型(遠隔授業②)】子どもと家族の福祉 〈予習〉テキスト第6章2を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	13	【オンデマンド型(遠隔授業③)】地域福祉とボランティア、社会福祉の援助技術 〈予習〉テキスト第6章5、第5章、第7章を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを完成させ、理解を定着させる 90分
	14	【オンデマンド型(遠隔授業④)】試験対策問題演習と解説 〈予習〉これまでのプリントを読み返す 90分 〈復習〉授業プリントを完成させ、理解を定着させる 90分
	15	【オンデマンド型(遠隔授業⑤)】授業のまとめと試験解題 〈予習〉これまでのプリントを読み返す 90分 〈復習〉問題演習を振り返り授業プリントを完成させ、理解を定着させる 90分
定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分 	

授 業 科 目 名	子ども家庭支援論			教 員 名	室井 佑美		
配 当 年 次	1	開 講 時 期	前期	単 位 数	2	授 業 形 態	講義
卒 業 ・ 免 許 ・ 資 格 と の 関 係	○保育士資格必修〔子ども家庭支援論〕				ナンバリング	1D205	
授 業 内 容 を 示 す キ ー ワ ー ド	子ども家庭 支援 施策 社会資源 保育士 保護者支援 機関 連携 協働 地域						
授 業 の 概 要	子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解した上で、保育の専門性を活かした子ども家庭支援の基本と支援の体制を学びます。その上で、子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について理解を深め、保育者として子育て家庭への支援において求められるものを考えていきます。保育士として保育現場で勤務経験を有する実務家教員であり、保育の現場における保育の視点、子どもや保護者の視点、地域の住民やその他の視点など、多角的に現状を伝え、保育の専門的知識を活かすことができます。						
授 業 の ね ら い と 到 達 目 標	【ねらい】 保育士資格を取得するための必修科目です。保育士が担う、保育所に通う子どもの保育に加え、子育て家庭への支援、地域の子育て家庭に対する支援を行えるよう専門的知識を学びます。子どもだけでなく、保護者も含めた「子育て家庭」に対して、ともに生き、ともに育つことを探求することで、保育者としての資質を養います。 【到達目標】 (1)保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本を概説できる。 (2)子育て家庭に対する支援の体制と具体的な支援方法を身に付け、実践できる。 (3)特別なニーズに応じた多様な支援の展開について、学んだ知識を活用して具体的な支援内容を考え、示すことができる。						
授 業 の 方 法 等	講義を中心に授業を展開していきます。一部、授業内で視聴覚教材も使用します。ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業及び自主学習支援を行います。また、アクティブラーニングの手法を取り入れ、【PBL/グループワーク/ロールプレイ等】を授業内で行うこともあります。						
成 績 評 価 の 基 準 と 方 法	■定期試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 30% ■提出物 20%						
D P に 掲 げ る 学 力 の 割 合	DP1:40% DP2:10% DP3:20% DP4:10% DP5:10% DP6:10% 〔合計100%〕						
教 科 書	『子育て支援「子どもが育つ」をともに支える【新版】』(ISBN:978-4779307775) 原信夫 松倉佳子 佐藤ちひろ編著 北樹出						
参 考 書	『子ども家庭支援論』(ISBN:978-4779307461)原信夫 松倉佳子 佐藤ちひろ編著 北樹出版 適宜、資料を配付します。						
関 連 科 目	子ども家庭福祉 社会福祉 保育・教育相談の理論と方法						
質 問 受 付 の 方 法	適宜、担当教員の研究室等で受け付けます。 また、EduNaviを通して適宜質問などを受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	遅刻・欠席はしないこと。配付されたプリントは各自で管理し、忘れず持参する。 EduNaviを活用するため、スマートフォン等を持参してください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	オリエンテーション(授業の流れ及び目標説明) 子ども家庭支援の必要性と機能
	1 <予習>初回のため、なし <復習>配付資料を読み、本省の内容やデータから、現代の家族の特徴をあげる。180分
	子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進
	2 <予習>子ども家庭庁のホームページで「こども向け」のコンテンツを実際に見よう。90分 <復習>配付資料を読み、子どもの意見を聴く時、あなたが大切にしたいことをまとめよう。90分
	子育て家庭の福祉を図るための社会資源
	3 <予習>子どもや子育て家庭にかかわる地域の資源のうち、自身の経験のある資源とエピソードをまとめよう。90分 <復習>配付資料を読み、あなたの住む自治体の子どもや子育て家庭にかかわる地域の資源を調べよう。90分
	保育士による地域の資源の活用と自治体・関係機関等との連携・協力
	4 <予習>保育所保育指針における保育所と地域の資源との連携に関する記述箇所を確認しよう。90分 <復習>6章を読み、モバイルサイトやアプリを活用して子育て支援情報を見つけよう。90分
	保育の専門性を活かした子ども家庭支援とその意義
	5 <予習>全国保育士会倫理綱領を読もう。90分 <復習>1章を読み、あなたが考える保育者の専門性とはどのようなことか、考えてみよう。90分
	子どもの育ちの喜びの共有の意義 保育におけるソーシャルワークの展開
	6 <予習>①「子育て」や「子育て中の生活」で大変だと思うこと、②子育てをすすめる中で感じる「喜び」は何か思いつく限りあげてみよう。90分 <復習>①「子育て」や「子育て中の生活」で大変だと思うこと、②子育てをすすめる中で感じる「喜び」について、保護者や子育て経験者にインタビューをしてまとめよう。90分
	保育士に求められる基本的態度とコミュニケーション技術①(自己理解と他者理解)
	7 <予習>状況に伴う感情表出について、実際に表情や態度に出して理解を深めよう。90分 <復習>3章と4章を読み、演習内容をまとめよう。90分
	保育士にも求められる基本的態度とコミュニケーション技術②(表情と態度を読み解く、面接技法)
8 <予習>信頼できる人、安心できる人、相談しようと思う人を思い出し、その人たちの姿の特徴を書き出そう。90分 <復習>配付プリントを読み、演習内容をまとめよう。90分	
保育士にも求められる基本的態度とコミュニケーション技術③(おたよりや連絡帳)	
9 <予習>事前配付された連絡帳の内容について、返信内容を考えよう。90分 <復習>配付プリントを読み、演習内容をまとめよう。90分	
保育所等を利用する子どもの家庭への支援	
10 <予習>7章を読み、「ワーク7-1.2.3.4」を行い、自分の考えをまとめておこう。90分 <復習>8章を読み、「ワーク8-1.2.3.4」を行い、自分の考えをまとめておこう。90分	
地域の子育て家庭への支援	
11 <予習>あなたが住む自治体の子育て支援事業について、名称、場所、内容について調べよう。90分 <復習>9章を読み、「ワーク9-1.2.3」を行い、自分の考えをまとめておこう。90分	
【オンデマンド型(遠隔)授業】 特別なニーズを持つ子どもや家庭への支援①(育てにくい子ども・障害のある子どもとその家庭)	
12 <予習>配付プリントを読み、障害のある子どもと家庭への支援に対する概要を掴もう。90分 <復習>10章を読み、「ワーク10-1.2」を行い、自分の考えをまとめておこう。90分	
【オンデマンド型(遠隔)授業】 特別なニーズを持つ子どもや家庭への支援②(要保護児童及びその家庭)	
13 <予習>11章、12章、13章を読み、要保護児童とその家庭の実態と支援に対する概要を掴もう。90分 <復習>12章を再読し、「ワーク12.1.2.3」「ワーク13-1.2.3」を行い、自分の考えをまとめておこう。90分	
【オンデマンド型(遠隔)授業】 特別なニーズを持つ子どもや家庭への支援③(外国にルーツのある子どもとその家庭)	
14 <予習>外国にルーツのある子どもが「園生活」で大変だと思うこと、その家庭が「日本で子育てをすすめる中」で大変だと思うことを想像してあげてみよう。90分 <復習>14章を読み、「ワーク14-1.2.3」を行い、自分の考えをまとめておこう。90分	
子ども家庭支援に関する課題と展望 子ども家庭支援論のまとめ	
15 <予習>配付プリントを読み、今の日本の子育て家庭のライフ・ライフインテグレーションをとらえよう。90分 <復習>1～14回までの資料をまとめ、内容を振り返ろう。90分	
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分

授 業 科 目 名	社会的養護 I			教 員 名	宇田川 和久		
配 当 年 次	1	開 講 時 期	後 期	単 位 数	2	授 業 形 態	講 義
卒 業 ・ 免 許 ・ 資 格 と の 関 係	○保育士資格必修〔社会的養護 I〕				ナンバリング	1D206	
授 業 内 容 を 示 す キ ー ワ ー ド	社会的養護、児童虐待、家庭養護、里親、権利擁護						
授 業 の 概 要	虐待、育児放棄など様々な理由で社会的支援を受けながら生活している子どもたちとその家族を適切に支援するために必要となる援助者としての姿勢、援助計画の立て方、援助の進め方、援助において活用できる社会的資源などについて学習します。						
授 業 の ね ら い と 到 達 目 標	<p>【ねらい】 社会的養護を担う専門職の一員である保育士に必要なと考え方や姿勢、制度とその活用の在り方を習得します。</p> <p>【到達目標】 1. 現代社会における社会的養護の意義と歴史的変遷について理解する。 2. 社会的養護と児童福祉の関連性及び児童の権利擁護について理解する。 3. 社会的養護の制度や実施体系等について理解する。 4. 社会的養護における児童の人権擁護及び自立支援等について理解する。 5. 社会的養護の現状と課題について理解する。</p>						
授 業 の 方 法 等	ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業及び自主学習支援を行います。 また、アクティブラーニングの手法を取り入れ、【PBL/反転授業/ディスカッション・ディベート/グループワーク/プレゼンテーション/実習・フィールドワーク】を授業内で行います。						
成 績 評 価 の 基 準 と 方 法	<p>■定期試験〔筆記〕60%</p> <p>■授業への取り組み・態度 10%</p> <p>■提出物 20%</p> <p>■その他〔小テスト〕10%</p>						
D P に 掲 げ る 学 力 の 割 合	DP1:40% DP2:20% DP3:20% DP4:10% DP5:0% DP6:10% 〔合計100%〕						
教 科 書	「新基本保育シリーズ⑥社会的養護 I」第2版 (ISBN:978-4805887899) 相澤仁、林浩康 編、中央法規						
参 考 書	適宜、資料を配付します。						
関 連 科 目	社会的養護 II、子ども家庭福祉、施設実習 I・II						
質 問 受 付 の 方 法	適宜研究室等で対応します。 また、EduNaviを通して適宜質問などを受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	里親制度、児童虐待などに関し、日ごろからニュースや新聞記事などから情報収集し専門用語や記事に対する自身の考えをまとめ、社会的養護に対する理解を図るようにしてください。 EduNaviを利用しながら授業を進めるため、スマートフォン等ICT機器を持参してください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	社会的養護の理念と概念 〈予習〉社会的養護に関する法令等を含め情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	2	社会的養護の歴史的変遷 〈予習〉社会的養護の歴史について情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	3	子どもの人権擁護と社会的養護 〈予習〉子どもの人権に関する新聞記事等を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	4	社会的養護の基本原則 〈予習〉児童福祉法の改正に関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	5	【オンデマンド型(遠隔)授業】社会的養護における保育士等の倫理と責務 〈予習〉保育士の倫理綱領について整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	6	社会的養護の制度と法体系 〈予習〉社会的養護の制度に関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	7	【オンデマンド型(遠隔)授業】社会的養護のしくみと実施体系 〈予習〉社会的養護の制度について整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	8	【オンデマンド型(遠隔)授業】社会的養護とファミリーソーシャルワーク 〈予習〉ソーシャルワークに関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	9	社会的養護の対象と支援のあり方 〈予習〉児童虐待に関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	10	【オンデマンド型(遠隔)授業】家庭養護と施設養護 〈予習〉里親と施設養護の現状について情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	11	社会的養護にかかわる専門職 〈予習〉施設保育士に関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	12	社会的養護に関する社会的状況 〈予習〉「新しい社会的養育ビジョン」に関する情報を整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	13	施設等の運営管理の現状と課題 〈予習〉社会的養護の施設等に関する情報を整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	14	【オンデマンド型(遠隔)授業】被措置児童等の虐待防止の現状と課題 〈予習〉児童心理治療施設等の情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	15	社会的養護と地域福祉の現状と課題 〈予習〉地域福祉に関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
定 期 試 験	<p>◆定期試験〔筆記〕60分</p> <p>◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分</p>	

授業科目名	保育・教職論			教員名	高後 仁		
配当年次	2	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育者論〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔教育の基礎的理解に関する科目 / 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校への対応含む)〕			ナンバリング	2D207		
授業内容を示すキーワード	保育者(保育士・幼稚園教諭・保育教諭) 求められる資質・能力 こども家庭庁 幼保連携型認定こども園						
授業の概要	保育者としての専門性と豊かな人間性を兼ね備え、地域社会に貢献できる骨太な保育士・幼稚園教諭・保育教諭の養成とその基礎となる役割や資格、そして資質・能力のあり方、組織とリーダーシップを習得します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 保育士や幼稚園教諭を目指すために、保育者とは何か、今保育者に求められている資質や能力は何か、そしてその職務の内容等について、関連法規等を踏まえて検証することができる。 【到達目標】 保育者(保育士・幼稚園教諭・保育教諭)に対する意識を高め、その違いや共通点を明らかにし、さらに保育者としての専門性の高揚を図り、連携・協働の重要性を理解することができる。						
授業の方法等	スクリーンを使用して提示し、講義を中心に調べ学習・発表等のアクティブ・ラーニングを取り入れ、保育所・幼稚園・施設等を取り巻く国や県の動向や公務員試験の現状等をリアルタイムに提供します。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 30%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:40% DP2:10% DP3:20% DP4:10% DP5:10% DP6:10% 〔合計100%〕						
教科書	なし(毎回資料を配付)						
参考書	「保育者論」民秋言 編著 建帛社 「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館						
関連科目	保育原理 教育原理						
質問受付の方	担当教員 随時						
履修上の注意	レポートは毎回提出します。レポート等の資料を整理・保存する「A4版ファイル」を用意してください。						

授業計画 と 時間外学習	1	「保育」のもつ意味～先人に見る「子ども観」こども家庭庁 幼児期の終わりまでに育ってほしい 姿10 親の心得 〈予習〉先人の「子ども観」について調査 90分 〈復習〉幼児期の終わりまでに育ってほしい姿10の理解 90分
	2	保育士・幼稚園教諭・保育教諭の違い～本県の幼稚園・保育所・認定こども園の実態 〈予習〉保育士と幼稚園教諭の違い調べ 90分 〈復習〉本県の幼稚園・保育所・認定こども園の実態 90分
	3	保育者の要件・地位～T(時)P(場所)O(場合) 江戸しぐさ 〈予習〉T(時)P(場所)O(場合)調べ 90分 〈復習〉「江戸しぐさ」に学ぶ 90分
	4	保育者としての免許・資格～職業病 〈予習〉保育士と幼稚園教諭の違い調べ 90分 〈復習〉本県の幼稚園・保育所・認定こども園の実態 90分
	5	保育士の専門性と役割～保育の基本と役割 省察とは 施設保育士 〈予習〉保育士と幼稚園教諭の違い調べ 90分 〈復習〉本県の幼稚園・保育所・認定こども園の実態 90分
	6	幼稚園教諭の専門性と役割～地方公務員法(服務 欠格事由等) 幼稚園・保育園の一日 〈予習〉地方公務員法を調査 90分 〈復習〉実習に際し、幼稚園、保育園の一日を学ぶ 90分
	7	保育士・幼稚園教諭の職務の具体的な内容～5領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現) SIDS 〈予習〉5領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の調査 90分 〈復習〉勤務体制を学ぶ 90分
	8	最近の乳幼児・児童の傾向～LD、ADHD、アスペルガー症候群等発達障害 〈予習〉LD、ADHD、アスペルガー症候群等の調査 90分 〈復習〉症状と対処の仕方を学ぶ 90分
	9	【オンデマンド授業】様々な保育課題と対応の在り方1～夜尿症、じょうずなほめ方・しかり方等 〈予習〉症状の理解 90分 〈復習〉対応の仕方を学ぶ 90分
	10	【オンデマンド授業】様々な保育課題と対応の在り方2～しつけ、虐待、放任、過保護等 〈予習〉症状の理解 90分 〈復習〉対応の仕方を学ぶ 90分
	11	【オンデマンド授業】今求められる理想の保育者像～都市化、少子化、核家族化等 〈予習〉それぞれの実情調べ 90分 〈復習〉その対応 90分
	12	今、保育者に求められる資質・能力～組織に馴染む 園長・主任等のリーダーシップ 〈予習〉〈予習〉組織の調査 90分 〈復習〉組織に馴染む 園長・主任等のリーダーシップの考察 90分
	13	保育所・幼稚園と家庭の役割～ドロシー・ロー・ノルト 〈予習〉ドロシー・ロー・ノルト調査 90分 〈復習〉保育所・幼稚園と家庭の役割の理解 90分
	14	適性の理解と進路選択～認可と無認可 保育のやりがい 保育士を辞める理由 〈予習〉公務員試験に見る傾向 90分 〈復習〉国や県の社会福祉事業団への理解 90分
	15	振り返り アンケート 〈予習〉全学習の振り返り 90分 〈復習〉論文の書き方の理解 90分
定期試験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授業科目名	インクルーシブ教育・保育Ⅰ			教員名	宇田川 和久		
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔教育の基礎的理解に関する科目/特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に関する理解〕			ナンバリング	1D208		
授業内容を示すキーワード	共生社会、インクルーシブ教育システム、特別支援教育、障害特性、就学支援、特別支援学校、特別支援学級、通級による指導、特別支援教育コーディネーター						
授業の概要	インクルーシブ教育システムの理念である障害のあるなしにかかわらず共に学ぶことの重要性について学びます。 また、このシステムを構築するため、特別支援教育を推進する必要があることを学びます。 さらに、特別支援教育は、特殊教育の対象であった障害に加えLD、ADHD、高機能自閉症等も対象とし、子どもたち一人一人の教育的ニーズを踏まえ、その持てる力を最大限に高めるための教育として今後極めて重要になることを障害に関する基礎的な知識や教育の現状や課題などを通して学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 障害者を取り巻く社会環境の変化を理解し、インクルーシブ教育システムの必要性とその在り方について考えます。その上で、特別支援教育の意義や制度等について理解し、特別な教育的ニーズのある子どもたちを支援するために必要な基礎的・基本的な知識や考え方を習得します。 【到達目標】 (1)障害者を取り巻く社会環境の変化とインクルーシブ教育システムの必要性について理解する。 (2)特別支援教育の理念や基礎的な体系を理解する。 (3)特別支援教育の指導・支援内容と実践方法を理解する。 (4)個に応じた指導・支援の方法について理解する。 (5)特別支援教育の現状と課題について理解する。						
授業の方法等	基本は講義形式としますが、主体的な学びを進めるため、チームディスカッションやグループワーク等アクティブラーニングの視点を取り入れ授業を進めます。また、障害のある子どもたちの支援の実際について理解を深めるため、ビデオ視聴やレポート発表などを通して、学生との双方向性のある授業展開を目指します。 さらに、ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業及び自主学習支援を行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 30% ■提出物 10% ■その他〔小テスト〕10%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:40% DP2:10% DP3:20% DP4:10% DP5:10% DP6:10% 〔合計100%〕						
教科書	書名「アクティベート教育学07 特別支援教育」(ISBN:978-4623085378) 著者:廣瀬由美子・石塚謙二/出版社:ミネルヴァ書房						
参考書	適宜、資料を配付します。						
関連科目	インクルーシブ教育・保育Ⅱ						
質問受付の方法	適宜研究室等で対応します。また、授業前に配布する出席カード等でも対応します。						
履修上の注意	講義等の記録、配付した印刷物等は、A4ファイルに学習ノートとして整理して下さい。						

授業計画 と 時間外学習	1	特別支援教育の理念と制度①(特殊教育から特別支援教育へ) 〈予習〉障害者について自分の関心のあることを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	2	特別支援教育の理念と制度②(インクルーシブ教育システムと特別支援教育) 〈予習〉障害のある子どもたちに関する新聞記事等を読み自分の考えを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	3	通常の学級担任の気づきとアセスメント 〈予習〉不登校の子どもたちの状況について調べ、自分の考えを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	4	発達障害の心理特性①(自閉スペクトラム症を中心に) 〈予習〉発達障害について関心あることを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	5	発達障害の心理特性②(LD,ADHDを中心に) 〈予習〉(1)で学んだ内容等について関心あることを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	6	知的障害のある子どもの理解と指導の実際 〈予習〉知的障害について関心あることを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	7	【オンデマンド型(遠隔)授業】視覚障害のある子どもの理解と指導の実際 〈予習〉視覚障害について関心あることを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	8	【オンデマンド型(遠隔)授業】聴覚障害のある子どもの理解と指導の実際 〈予習〉聴覚障害について関心あることを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	9	【オンデマンド型(遠隔)授業】肢体不自由及び病弱の子ども理解と指導の実際 〈予習〉肢体不自由及び病弱について関心あることを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	10	【オンデマンド型(遠隔)授業】特別の指導「自立活動」 〈予習〉「自立活動」の指導について調べて整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	11	【オンデマンド型(遠隔)授業】関係機関や保護者との連携 〈予習〉保護者との連携の必要性について自分の考えを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	12	特別支援学校における教育の実際 〈予習〉特別支援学校に関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	13	特別支援学級における教育の実際 〈予習〉特別支援学級に関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	14	通級による指導の実際 〈予習〉通級による指導に関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	15	今後の特別支援教育の方向性 〈予習〉特別支援教育の意義等について自分の考えを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
定期試験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

保育の対象の理解に関する科目

授業科目名	保育の心理学 *			教員名	山村 穂高		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修 ○保育士資格必修〔保育の心理学〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔教育の基礎的理解に関する科目 / 教育に関する社会的、制度的又は経営的 事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む)〕			ナンバリング	1D301		
授業内容を示すキーワード	子どもの発達理解、発達と保育実践、子ども観・保育観						
授業の概要	子どもの発達の基礎を学び、保育実践と関連付けながら理解します。子どもが自ら発達しようとする心理について理解し、それを捉えて支援する環境づくりや保育実践を考察します。現場経験のある教員が発達段階に応じた映像や事例を示しながら授業を行います。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 子どもの発達に関わる心理学の基礎を知り、子ども理解を深め、初期経験の重要性を理解する。発達に応じた支援について考察する。 【到達目標】 子どもの発達過程、現代の子どもの発達支援の実践と課題について基礎的なことを理解し説明できる。						
授業の方法等	ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業及び自主学習支援を行います。また、アクティブラーニングの手法を取り入れ、【PBL/反転授業/ディスカッション・ディベート/グループワーク/プレゼンテーション/実習・フィールドワーク】を授業内で行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 20% ■その他〔小テスト〕10%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:40% DP2:20% DP3:20% DP4:10% DP5:0% DP6:10% 〔合計100%〕						
教科書	「子どもとかわる人のための心理学」〔ISBN:978-4893473691〕 沼山博、三浦主博 萌文書林						
参考書	適宜、資料を配付します。						
関連科目	乳児保育Ⅰ、乳児保育Ⅱ、子ども家庭支援の心理学、子どもの理解と援助						
質問受付の方法	適宜、担当教員やリアクションペーパーなどを通して受け付けます。また、EduNaviを通して適宜質問などを受け付けます。						
履修上の注意	EduNavi利用するため、スマートフォン等ICT機器を持参してください。						

授業計画 と 時間外学習	1	【オンデマンド型(遠隔)授業】 発達を踏まえた主体的学習及びそれを支える指導の基礎について 〈予習〉教科書を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成する。90分
	2	幼児、児童及び生徒の学習に関する理論について 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成する。90分
	3	子どもの発達理解①(言葉のはじまり) 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成する。90分
	4	子どもの発達理解②(愛着、自己と他者) 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成する。90分
	5	子どもの発達理解③(自己抑制と自己主張) 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成する。90分
	6	【オンデマンド型(遠隔)授業】子どもの発達理解④(心の理論) 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成する。90分
	7	子どもの発達理解⑤(遊びの変化) 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成する。90分
	8	子どもの発達に応じた保育援助①(乳児) 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成する。90分
	9	子どもの発達に応じた保育援助②(幼児) 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成する。90分
	10	【オンデマンド型(遠隔)授業】異年齢集団による保育実践 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成する。90分
	11	子どものアニミズム 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成する。90分
	12	子どもの想像力とは 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成する。90分
	13	発達に支援を必要とする子ども 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成する。90分
	14	生涯発達と生きる力の生成 〈予習〉指定のプリントを読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成する。90分
	15	現代社会に育つ子どもの発達と支援 〈予習〉指定のプリントを読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成する。90分
定期試験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授 業 科 目 名	子ども家庭支援の心理学			教 員 名	原田 友毛子		
配 当 年 次	2	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔子ども家庭支援の心理学〕					ナンバリング	2D302
授業内容を示すキーワード	生涯発達 家庭・家庭の理解 子育て家庭に関する現状と課題 子どもの精神保健とその課題						
授業の概要	生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性や発達課題などについて学びます。家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係について発達の観点から捉える視点を習得します。また、子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解しその知見を保育現場で活かせる力を身に付けます。子どもの精神保健とその課題について理解します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 子どもやその家庭の支援に関する包括的な内容を理解し、子どもとその家庭支援について基本的な知識・技能を身に付ける。 【到達目標】 (1) 乳幼児期から高齢期までの生涯発達について理解し、概説できる。 (2) 親子関係・家族関係を家庭ライフサイクル論や家庭システム論かの視点から学び、どのように支援したらよいかについて理解できる。 (3) 子育て家庭に関する現状と課題について個々の事例を通して学び、対応の基本的事項について説明できるようにする。 (4) 子どもの精神保健とその課題について学び、子どもの心の健康について、自然災害などの防災の観点からも考える事ができる。						
授業の方法等	講義を中心として行いますが、各々の理論を保育者視点に立ってグループで討議する場面も設けます。毎回のレスポンスカードへの振り返りを各自が発表したりして授業内容の理解を深めることを目指します。前時の重要な内容については「プチ復習」という形で振り返りを行い学習の定着を図ることとします。視聴覚教材を活用し、事例検討も交えたアクティブラーニングの手法を取り入れ、グループワークやロールプレイ等を実施していきます。						
成績評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ■定期試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 30% 						
D P に 掲 げ る 学 力 の 割 合	DP1:30% DP2:20% DP3:20% DP4:20% DP5:0% DP6:10% 〔合計100%〕						
教 科 書	「子ども家庭支援の心理学 第3版」〔ISBN: 978-4779307683〕原信夫、井上美鈴編著 北樹出版						
参 考 書	「こども家庭支援の心理学」白川佳子・福丸由佳編 中央法規 「こども家庭支援の心理学」本郷一夫・神谷哲司編著 建帛社						
関 連 科 目	保育の心理学 子どもの理解と援助 子ども家庭支援論 子どもの保健 保育・教育相談の理論と方法						
質 問 受 付 の 方 法	授業終了直後、または講師控室にて対応します。						
履 修 上 の 注 意	配付した資料は丁寧に整理・保管してください。また、学ぶ事項は保育現場ですぐに役立つものばかりなので真摯に主体性を持って取り組むことを期待します。教科書を基に論を展開しますので毎回忘れずに持参します。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	生涯発達とライフサイクル
	1 〈予習〉シラバスの熟読 90分 〈復習〉子ども家庭支援の心理学の全体構造について整理する 90分
	2 乳幼児期から学童期前期にかけての発達 〈予習〉教科書を熟読し基礎的な事項を理解しておく 90分 〈復習〉乳幼児期から児童期前期までの発達について教育相談でも扱った内容を整理しまとめる 90分
	3 学童期後期から青年期にかけての発達 〈予習〉教科書を熟読し基礎的な事項を理解しておく 90分 〈復習〉学童期後期から青年期までの発達について教育相談でも扱った内容を整理しまとめる 90分
	4 成人期から老年期にかけての発達 〈予習〉教科書を熟読し基礎的な事項を理解しておく 90分 〈復習〉自分の家族などの体験談も交えてどのように生きるかについて思索する 90分
	5 【オンデマンド型(遠隔)授業】家族・家庭の意義と機能 〈予習〉自身の家族などと関連付けて教科書を熟読し基礎的な事項を理解しておく 90分 〈復習〉本時のねらいに即したニュースなどを自身の感想を交えて整理する 90分
	6 親子関係・家族関係の理解 〈予習〉自身の家族などと関連付けて教科書を熟読し基礎的な事項を理解しておく 90分 〈復習〉本時のねらいに即したニュースなどを自身の感想を交えて整理する 90分
	7 子育ての経験と親としての育ち 〈予習〉親になることについて思索し教科書を熟読し理解しておく 90分 〈復習〉親になること、あるいは親として、自分自身の考えをまとめる 90分
	8 子どもと家庭の状況 〈予習〉少子高齢化、世帯構造の変化などについて教科書に加えて検索しておく 90分 〈復習〉保育者の立場として自分自身がどう対応していくか考えをまとめる 90分
	9 ライフコースと仕事・子育て 〈予習〉教科書を熟読しライフコースと仕事・子育てについて思索する 90分 〈復習〉ライフコースと仕事・子育てについて自身の感想をまとめる 90分
	10 【オンデマンド型(遠隔)授業】多様な家庭とその理解 〈予習〉ひとり親家庭の実態などを教科書やニュースなどから理解しておく 90分 〈復習〉多様な家庭への支援はどのようにすることが適切なのかをまとめる 90分
	11 特別な配慮を要する子どもと家庭 〈予習〉特別な配慮を要する子どもとはどのような事か教科書を熟読する 90分 〈復習〉保育所としてどのような配慮が必要なのか整理する 90分
	12 なぜ子どもの精神保健を学ぶのか 〈予習〉環境の力が及ぼす影響について教科書を熟読する 90分 〈復習〉外国にルーツを持つ子ども達等に関してどのような心構えが必要か等の自分なりの考えをまとめる
	13 子どもの生活・生育環境とその影響 〈予習〉様々な障害や疾患などについて教科書を熟読する 90分 〈復習〉配付資料やルーマニアの事例などから発達の可逆性について考えを整理する 90分
	14 【オンデマンド型(遠隔)授業】子どもの心健康にかかわる問題 〈予習〉配付された資料を熟読する 90分 〈復習〉様々な発達上の課題が考えられる子どもに対して保育者としてどう関わるかまとめる 90分
15 こども家庭支援の心理学のまとめをする 〈予習〉配付された資料や教科書を再度読み込む 90分 〈復習〉子ども家庭支援の心理学についての知見をどの程度理解できたかノート整理をする 90分	
定 期 試 験	<ul style="list-style-type: none"> ◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分

授業科目名	子どもの理解と援助			教員名	半田 佳織 / 原田 友毛子		
配当年次	2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔子どもの理解と援助〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目/幼児理解の理論及び方法〕				ナンバリング	2D303	
授業内容を示すキーワード	子ども理解、発達過程への理解と支援、記録方法と活用、子育て支援、保育者の援助と共感的理解						
授業の概要	保育実践の場における乳幼児理解の意義と重要性を理解し、乳幼児期の子どもの発達や学びの過程で生じるつまずきの要因を把握するために必要な原理や観察・記録の在り方について、個々の乳幼児の発達段階や集団との関わり、家庭との連携を含めて考察する力を事例やグループ討議を通して学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 子ども理解のための知識・考え方・基礎的態度を理解すると共に、子どもを理解する方法を具体的に学び、保育実践で活用できるようにする。 【到達目標】 (1)乳幼児期の子どもの遊び及び生活の実態に即した幼児理解の意義を理解する。 (2)子どもの理解を深めるための基礎的な態度を理解する。 (3)観察・記録の意義と目的、目的に応じた観察法等の基礎的な事柄を例示することができる。 (4)保護者の心情と基礎的な対応の方法を理解する。 (5)特別な配慮、就学への配慮等の実践的な配慮を具体的に学ぶ。						
授業の方法等	子ども理解と援助、評価の基本について必要な事項を教科書等を中心に90分授業を12回(合計48時間)行います。 この学習をもとに、アクティブラーニングの手法を用いてグループワークを授業を展開します。自分の考えを述べられるように、日常から表現力を磨き、主体的に課題等に取り組む予習・復習がなされていることを前提とした授業展開になります。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔レポート〕60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 30%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:30% DP2:10% DP3:20% DP4:20% DP5:10% DP6:10% 〔合計100%〕						
教科書	「子どもの理解と援助(新・基本保育シリーズ ⑩)」[ISBN:978-4805857908] 監修:公益財団法人 編集:清水益治・森俊之 中央法規						
参考書	適宜、資料を配付します。						
関連科目	「幼稚園教育要領」文部科学省、「保育所保育指針」厚生労働省、「幼保連携型教育保育要領」内閣府						
質問受付の方	適宜、授業中及び必要に応じて講師控室等で対応します。						
履修上の注意	授業中に配布するパワーポイントの講義資料や、その他参考文献、講義の記録、作成した課題レポート等は、A4ファイルに学習ノートとして整理すること。						

授業計画 と 時間外学習	1	幼児理解の意義と必要性(現代的な課題と乳幼児の心身の発達)〔担当:半田〕 〈予習〉シラバスの熟読と自己の学びへの展望を考える 45分 〈復習〉幼児理解に関わる現代的課題を調べて整理する 45分
	2	幼児の発達や学びのとりえ方(遊びや生活を通しての経験的・対話的な深い学び)〔担当:半田〕 〈予習〉幼児期の遊びの特徴や生活の様子を調べる 45分 〈復習〉幼児期の学びで展開される経験的・対話的な学びについて事例をまとめる 45分
	3	幼児の発達に関わる多様な課題(特別な支援を要する子ども、要保護家庭などの現代的な課題と支援方法)〔担当:半田〕 〈予習〉特別な支援を要する子どもの特徴や要保護家庭について調べ学習をする 45分 〈復習〉特別な支援について学んだ内容を整理して課題を理解する 45分
	4	幼児理解を深める保育者の姿勢(保育者の子ども観・保育観の重要性)〔担当:半田〕 〈予習〉保育者の専門性について調べ、自分の保育に対する考えをまとめる 45分 〈復習〉子どもとはどのような存在か、保育とは何をすることかといった授業で学んだことを復習する 45分
	5	集団と個の関係の在り方・見方(集団による学び合いや規範意識の育ちについて)〔担当:半田〕 〈予習〉規範意識の発達について調べる 45分 〈復習〉集団生活における規範の重要性を整理する 45分
	6	観察・記録の方法と分析・考察の視点(観察法の利点とその活用法)〔担当:半田〕 〈予習〉観察の視点や様々な観察法について事前に教科書を熟読する 45分 〈復習〉事例への回答を記入し観察の視点を理解する 45分
	7	観察・記録のまとめについての発表と協議(記録に基づく省察と評価とアセスメント)〔担当:半田〕 〈予習〉観察・記録をまとめて発表の準備を行う 45分 〈復習〉観察・記録のまとめについての発表の省察を行う 45分
	8	子ども理解のための保護者との情報共有〔担当:半田〕 〈予習〉保護者支援の主な内容や保護者の困り感を教科書等で事前に学習 45分 〈復習〉ロールプレイで気づいたことをまとめる 45分
	9	特別な支援を必要とする子どもの理解と援助①(発達の視点と子どもへの支援検討)〔担当:原田〕 〈予習〉発達障害の特徴を整理して事前に理解する 45分 〈復習〉事例で扱われた障害特性を整理して障害への理解を深める 45分
	10	特別な支援を必要とする子どもの理解と援助②(保護者への支援とその連携を検討)〔担当:原田〕 〈予習〉保護者の困り感を事前に調べる 45分 〈復習〉教科書の指定したページをまとめる(特別支援雄理解) 45分
	11	家庭や地域との連携と支援体制と子育て支援の課題検討〔担当:原田〕 〈予習〉自分を取り巻く地域資源を5つ以上あげてその特徴や利便性等ノートに整理する 45分 〈復習〉自分たちで考えた課題検討についての感想を書く45分
	12	子ども理解についてのまとめ〔担当:半田〕 〈予習〉各自の子ども理解に関する学びについてまとめる45分 〈復習〉子ども理解に関して考えた課題検討について感想を書く 45分
定期試験	◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック〔コメントを入れて成績等配付時に返却〕	

授 業 科 目 名	子どもの保健			教 員 名	田中 直代		
配 当 年 次	1	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔子どもの保健〕				ナンバリング	1D304	
授業内容を示すキーワード	健康、母子保健手帳、スクヤモン、パーセントイル成長曲線、虐待、感染症、集団生活前健診						
授業の概要	子どもの保健は子どもの身体の健康を維持増進することを目的とした実践活動です。子どもは日々発育・発達していますが、先天的条件、養育や環境の条件を受けやすいです。子どもが順調な発育・発達をし、支障のない生活を送るためには大人や社会の適切な対応が必要となります。子どもの将来の健康状態を予測し、自立して健康に過ごせるよう保健的働きかけの重要性を学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 乳幼児期の心身の健康状態はその後の人生の健康や生活の基礎になります。子どもの心身の健康と保健の意義を理解し、身体発育、生理機能、運動機能の発達について学び、子どもの健康状態を観察し不調の早期発見に努め、子どもの病気や救急疾患、事故、アレルギーについて適切な予防法や危機管理、健康管理の必要性を理解します。一人一人の発育・発達を把握し保護者、他職種と情報共有することが重要であることを理解するために学びます。 【到達目標】 (1)子どもの心身の発育・発達に対する保健活動の意義を理解する。 (2)スクヤモンの器官別発育曲線について説明できる。 (3)子どもの心身の健康状態の把握すべき項目を挙げることができる。 (4)子どもの救急疾患の特徴とその対応を挙げることができる。 (5)子どもの免疫の発達と感染症の特徴を挙げることができる。 (6)保健活動が他職種間の連携・協働下での適切な対応が重要であることに気づく。						
授業の方法等	・パワーポイントのスライドと配付プリントによる講義形式です。 ・テキスト中心に行います。子どもに関する医療や保健のニュースも取り入れます。 ・授業の最後にグループディスカッションを行います。 ・説明に物や図表を使います。図表の説明に色鉛筆があると理解が深まります。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕90% ■授業への取り組み・態度〔ファイルノート点検〕10%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:40% DP2:10% DP3:20% DP4:10% DP5:10% DP6:10% 〔合計100%〕						
教科書	「子どもの保健テキスト」〔ISBN:978-4787825315〕 小林美由紀 診断と治療社						
参考書	「子どもの発育・発達と乳幼児検診－育児サポートにも大活躍！－」診断と治療者 その他、適宜、資料を配付します。						
関連科目	子どもの健康と安全						
質問受付の方法	授業中、授業前後で随時受け付けます。						
履修上の注意	保育士資格必修科目なので遅刻・早退・欠席をしないでください。教科書とファイルノートを随時使用します。配付したプリントはA4判2穴ファイルに学習ノート、ファイルノートとして整理と保存します。後日提出と点検があります。子どもの健康と安全の学習に使用します。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	子どもの健康と保健 (1)保健活動の意義と目的
	1 〈予習〉初回のため、なし 〈復習〉第1章1「子どもの保健とは」「日本の保育所の歴史と保健活動」を読む。90分
	子どもの健康と保健 (2)子どもの出生と母子保健の意義
	2 〈予習〉1章2「母子健康手帳の歴史」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	子どもの健康と保健 (3)現代社会における子どもの健康に関する現状と課題
	3 〈予習〉第1章3図1「出生数および合計特殊出生率の年次推移」からわかることを見出す。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	子どもの発育・発達と保健 (1)子どもの身体発育
	4 〈予習〉第2章1「乳幼児の身体計測の仕方」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	子どもの発育・発達と保健 (2)子どもの運動機能の発達
	5 〈予習〉第2章1「新生児の原始反射」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	子どもの発育・発達と保健 (3)生理機能の発達と生活習慣
	6 〈予習〉第2章2「生活習慣の時代変化」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	地域における保健活動と子どもの虐待防止
	7 〈予習〉第3章「海外での子育て支援」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	子どもの健康状態の観察と体調不良時の把握
8 〈予習〉第4章「子どもの健康状態の把握」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分	
【オンデマンド型(遠隔)授業】子どもの病気 (1)子どもの免疫の発達と感染症の特徴	
9 〈予習〉第5章1「感染症の歴史」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分	
【オンデマンド型(遠隔)授業】子どもの病気 (2)感染症の予防および適切な対応	
10 〈予習〉第5章2「感染経路と対策」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分	
子どもの病気 (3)救急疾患の特徴と適切な対応	
11 〈予習〉第5章3表1「年度別・家庭用品などにおける子どもの誤飲事故述べ報告件数」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分	
子どもの病気 (4)新生児の病気、新生児期にわかる先天性的の病気の特徴と対応	
12 〈予習〉第5章4「低出生体重児の発育」、「出生前診断の課題」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分	
子どもの病気 (5)アレルギー疾患の特徴と適切な対応	
13 〈予習〉第5章5「食物アレルギーと離乳食開始の変遷」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分	
【オンデマンド型(遠隔)授業】子どもの病気 (6)慢性疾患の特徴と適切な対応	
14 〈予習〉第5章6「子どもの慢性疾患とは」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分	
保護者との情報共有と家族の支援 /まとめ	
15 〈予習〉第6章「障害児や慢性疾患児への子ども同士の理解」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分	
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分

授業科目名	子どもの食と栄養			教員名	田中 直代		
配当年次	2	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔子どもの食と栄養〕			ナンバリング	2D305		
授業内容を示すキーワード	五大栄養素、水分、乳汁栄養、食育、食物アレルギー、児童福祉施設						
授業の概要	子どもが健康に発育し、成長するためには適切な量と質の食事は大切であることを理解します。栄養学の基礎、子どもの成長による生理的変化や栄養状態を評価する方法を理解します。また、料理選択型栄養教育である「3・1・2弁当箱法」、「育児用ミルクの調乳」、「離乳食の試食」について演習を行います。これらを通して、子どもや保護者に支援となる知識や技術を修得します。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】</p> <p>子どもの各発達段階における食と栄養の重要性を理解します。子どもの食生活の現状と課題を理解します。食の伝承を受け継ぎ豊かな食生活を伝える担い手となるように食に関心を持ち、子どもや保護者とともに食を楽しみます。体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもに対する食事の対応を理解します。これらを通して、保育士として、子どもや保護者に適切な支援をする姿勢や態度を身に付けるために学びます。</p> <p>【到達目標】</p> <p>(1)健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的な知識を理解する。 (2)子どもの発育・発達と食生活の関連について理解する。 (3)食育の基本とその内容及び食育のための環境を地域社会・文化とのかかわりの中で理解する。 (4)家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題を説明することができる。 (5)特別な配慮を要する子どもの食と栄養について適切に対応することができる。</p>						
授業の方法等	・講義・演習を合わせて行います。パワーポイントのスライドと配付プリントによる講義形式です。 ・演習(①3・1・2弁当箱法の実習をカフェテリアで行います。②育児用ミルクの調乳の技術を身に付け、離乳食の試食を行います。 ・授業の最後にグループディスカッションを行います。 ・授業によっては色鉛筆を使います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕60% ■提出物(ファイルノート点検)10%(演習について3回)30%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:40% DP2:10% DP3:20% DP4:10% DP5:10% DP6:10% [合計100%]						
教科書	「子どもの食と栄養」(ISBN:978-4521749341) 児玉浩子 中山書店 「食品解説つき八訂準拠ビジュアル食品成分表」(ISBN:978-4469270167) 大修館書店						
参考書	「授乳・離乳の支援ガイド 実践の手引き」財団法人母子衛生研究会編 母子衛生事業団 「子どもの食と栄養演習ブック」松本峰雄監修 ミネルヴァ書房						
関連科目	保育内容健康 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ						
質問受付の方法	授業中、授業前後で随時受付ます。						
履修上の注意	保育士資格必修なので遅刻・欠席をしないでください。演習は髪をまとめ、爪を切る、適切な服装で受講してください。エプロン、三角巾、弁当箱を用意します。配付資料は授業中に書き込みをし、A4判2穴ファイルに整理と保存します。後日、提出と点検があります。色鉛筆を使うので用意をしてください。						

授業計画 と 時間外学習	1	子どもの健康と食生活 〈予習〉初回のため、なし 〈復習〉第1章を読む。配付したプリントを見返す。90分
	2	栄養・食に関する基本的知識 (1)消化吸収の仕組み 〈予習〉第2章1を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	3	栄養・食に関する基本的知識 (2)タンパク質の代謝と栄養学的意義 〈予習〉第2章3を読む。食品成分表よりタンパク質を多く含む食品を調べる。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	4	【オンデマンド型(遠隔)授業】栄養・食に関する基本的知識 (3)糖質、脂質の代謝と栄養学的意義 〈予習〉第2章4.5を読む。食品成分表で炭水化物、脂質、コレステロールを多く含む食品を調べる。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	5	栄養・食に関する基本的知識 (4)ビタミンの代謝、ミネラルの代謝と栄養学的意義、食物繊維と水分 〈予習〉第2章6.7を読む。食品成分表で水溶性ビタミン、脂溶性ビタミン等多く含む食品を調べる。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	6	栄養・食に関する基本的知識 (5)妊婦・授乳婦の食事摂取基準、食事バランスガイド 〈予習〉第2章9.10を読む。食品成分表で葉酸を多く含む食品を調べる。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	7	栄養・食に関する基本的知識 (6)学童・思春期の食事摂取基準 3・1・2弁当箱法(演習①) 〈予習〉第3章7を読む。配付したプリントを読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	8	子どもの発育・発達と栄養・食生活 (1)乳幼児期の咀嚼機能の発達と食事提供 〈予習〉第3章2「咀嚼機能の発達の目安について」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	9	子どもの発育・発達と栄養・食生活 (2)乳児期栄養-乳汁栄養 〈予習〉第3章5「母乳栄養の利点と留意点」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	10	子どもの発育・発達と栄養・食生活 (3)乳児期栄養-乳汁栄養 調乳(演習②) 〈予習〉第3章5「育児用ミルクの調乳方法」を熟読する。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	11	子どもの発育・発達と栄養・食生活 (4)乳児期栄養-離乳食期栄養 〈予習〉第3章6「幼児期の成長と発達」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	12	子どもの発育・発達と栄養・食生活 (5)乳児期栄養-離乳食期栄養(演習) 〈予習〉第3章6、配付したプリントを読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	13	【オンデマンド型(遠隔)授業】食育の基本と実践 〈予習〉第4章「食育基本法の概要」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	14	【オンデマンド型(遠隔)授業】児童福祉施設や家庭における食と栄養 〈予習〉第5章1.2.3「児童福祉施設での食事の提供で注意すべき点」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	15	特別な配慮を要する子どもの食と栄養 / まとめ 〈予習〉第7章1「食物アレルギー」を読む。90分 〈復習〉定期試験対策資料を作成する。180分
定期試験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

保育の内容・方法に関する科目

授 業 科 目 名	保育・教育課程論			教 員 名	高 後 仁		
配 当 年 次	2	開 講 時 期	前 期	単 位 数	2	授 業 形 態	講 義
卒 業 ・ 免 許 ・ 資 格 と の 関 係	○保育士資格必修〔保育の計画と評価〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔教育課程の意義及び編成の方法〕				ナ ン バ リ ン グ	2D401	
授 業 内 容 を 示 す キ ー ワ ー ド	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領						
授 業 の 概 要	幼稚園及び保育所におけるカリキュラムを考え、保育士養成課程の保育の計画と評価と幼稚園教諭養成課程の教育課程論について学ぶ。						
授 業 の ね ら い と 到 達 目 標	【ねらい】 幼稚園及び保育所における、カリキュラムを理解し、実際のカリキュラムに沿って指導計画が作成できる保育者としての専門的な知識・技能を養う。 【到達目標】 上記のねらいを達成するために、各カリキュラムについて理解し、保育士・幼稚園教諭として資質の向上と子どもたちのために、カリキュラムからしっかり指導計画の作成ができる。						
授 業 の 方 法 等	講義形式で進め、できるだけ具体的な内容の提示するほか、グループワーク、ディベート等アクティブラーニングの手法も取り入れ、理解を深めていく。授業時間内において、レポートの提出を行います。 ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業を行います。						
成 績 評 価 の 基 準 と 方 法	■定期試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 30%						
D P に 掲 げ る 学 力 の 割 合	DP1:40% DP2:10% DP3:30% DP4:10% DP5:0% DP6:10% 〔合計100%〕						
教 科 書	保育者養成シリーズ「教育・保育課程論」(ISBN 9784863591479) 高橋弥生・大沢裕 編著 (株)一藝社						
参 考 書	「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館						
関 連 科 目	保育・教職論、教育方法・技術論、保育内容総論						
質 問 受 付 の 方 法	適宜研究室等に対応します。						
履 修 上 の 注 意	講義の記録、配付した印刷物等はA4ファイルに学習ノートとして整理してください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	教育要領の性格、位置づけ並びにカリキュラム編成の基本 〈予習〉教科書第1章1を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	2	教育要領改訂の変遷、主な改定内容と社会的背景 〈予習〉教科書第1章3を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	3	保育課程・教育課程の必要性 〈予習〉教科書第2章1・2を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	4	保育所保育指針と保育の全体的な計画編成の基本と留意点 〈予習〉教科書第3章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	5	【オンデマンド型(遠隔)授業】幼稚園教育課程の基本と編成に向けて 〈予習〉教科書第4章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	6	【オンデマンド型(遠隔)授業】教育課程編成の留意点 〈予習〉教科書第5章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	7	【オンデマンド型(遠隔)授業】指導計画作成の手順と留意点 〈予習〉教科書第6章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	8	保育方法と指導計画及び記録による反省 〈予習〉教科書第7章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	9	指導要録の構成と記載法 〈予習〉教科書第8章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	10	保育の基本と保育指導計画 〈予習〉教科書第9章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	11	幼稚園における指導計画 〈予習〉教科書第10章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	12	【オンデマンド型(遠隔)授業】保育形態に応じた指導計画 〈予習〉教科書第11章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	13	【オンデマンド型(遠隔)授業】年間計画と行事 〈予習〉教科書第12章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	14	カリキュラム・マネジメントの意義と重要性 〈予習〉教科書第13章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	15	評価の基本的考え方や対象 〈予習〉教科書第15章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授業科目名	保育内容総論 *			教員名	相沢 和恵		
配当年次	2	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修 ○保育士資格必修〔保育内容総論〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔領域および保育内容の指導法に関する科目/保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)〕			ナンバリング	2D402		
授業内容を示すキーワード	就学前教育 発達 養護と教育 生活と遊び 個と集団 総合的な指導 指導計画 評価						
授業の概要	乳児保育、幼児教育の施設において、園生活全体を通じて総合的に指導するという考え方を理解した上で、具体的な乳幼児の姿と関連付けながら、環境構成、保育実践をするために必要な知識・技術を身に付けます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 就学前教育における見方・考えたと保育内容との関連を理解します。 指導計画の全体像を理解し、乳幼児の実態に即した具体的な保育の過程(計画・実践・記録・省察・評価・改善)につなげられる知識と技術を養います。 【到達目標】 (1) 幼児教育および乳児保育の基本を踏まえ、「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と「保育内容」について説明し、それぞれの関連性を概説できる。 (2) 乳幼児の発達、興味や関心、生活を取り巻く実情に即した指導計画を立案できる。 (3) 保育の多様な展開について、園行事や社会的イベントなども踏まえながら、求められる在り方を説明できる。						
授業の方法等	演習・講義を合わせて行います。 アクティブラーニングの手法を用いて、ディスカッションやグループワーク等を授業内で行います。 一部、オンデマンド型(遠隔)授業を行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕40% ■授業への取り組み・態度 30% ■提出物 30%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:20% DP2:10% DP3:20% DP4:20% DP5:10% DP6:20% 〔合計100%〕						
教科書	「演習 保育内容総論 あなとならどうしますか?」酒井幸子・守巧編著/[ISBN:978-4893472809]/萌文書林						
参考書	○「立ちあう保育 だから「こぐま」にいる」(ISBN:978-4991342110)/村中李衣・相沢和恵著/ミズノ兜ブックス ○「保育所保育指針解説」(ISBN:978-4577814482)/厚生労働省(編集)/フレーベル館 ○「幼稚園教育要領解説」(ISBN:978-4577814475)/文部科学省(編集)/フレーベル館 ○「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(ISBN:978-4577814499)/内閣府・文部科学省・厚生労働省/フレーベル館						
関連科目	保育内容(健康 人間関係 環境 言葉 表現) 保育内容(健康 人間関係 環境 言葉 表現)の指導法 保育・教育課程論 インクルーシブ教育・保育1						
質問受付の方法	適宜、授業内、担当教員の研究室等で受け付けます。						
履修上の注意	授業の実施場所、準備物、服装等については、事前の指示をよく聞いてください。 学習の積み重ねを重視するため、やむを得ず授業を欠席する場合は、翌日以降に担当教員へ資料、課題の把握、授業内容の確認などとして、能動的に行動してください。						

授業計画 と 時間外学習	1	オリエンテーション、幼児教育(就学前教育)の基本と保育内容の全体構造 〈予習〉初回のため、なし 〈復習〉実習で経験した保育内容に関する事例を作成する 180分
	2	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における保育内容の理解と実習での学びとの関連付け 〈予習〉実習で経験した保育内容に関する事例を作成する 90分 〈復習〉実習で経験した保育内容に関する事例を考察する 90分
	3	生活や遊びを通しての総合的な指導の実践と保育者の役割 〈予習〉第3回のテーマに沿ったエピソードを自らの実習経験から事例にまとめる 90分 〈復習〉第3回の授業内容の要点をまとめる 90分
	4	養護および教育が一体的に展開する保育の実践と保育者の役割 〈予習〉第4回のテーマに沿ったエピソードを自らの実習経験から事例にまとめる 90分 〈復習〉第4回の授業内容の要点をまとめる 90分
	5	個と集団の発達を踏まえた、環境を通して行う保育の実践と保育者の役割 〈予習〉第5回のテーマに沿ったエピソードを自らの実習経験から事例にまとめる 90分 〈復習〉第5回の授業内容の要点をまとめる 90分
	6	乳幼児の実態に沿った、物や人との関わりを深める情報機器・教材の活用と実際 〈予習〉第6回のテーマに沿ったエピソードを自らの実習経験から事例にまとめる 90分 〈復習〉第6回の授業内容の要点をまとめる 90分
	7	幼児教育、乳児保育における指導計画の考え方と作成の手順・配慮点(行事運営) 〈予習〉第7回のテーマに沿った指導案を作成する [60分] 〈復習〉模擬保育ができるよう、教材等事前準備を行う[120分]
	8	保育内容を相互的、総合的に活かした模擬保育の実践と、子ども理解に基づく評価の在り方 〈予習〉模擬保育ができるよう、環境構成等事前準備を行う [150分] 〈復習〉他グループの模擬保育を評価する [30分]
	9	保育内容の実践と振り返り(時間/環境構成/保育者の援助/臨機応変な対応) 〈予習〉保育実践を自己評価し、発表できるようにする 90分 〈復習〉実践した指導案、保育実践をグループ評価する 90分
	10	家庭や地域、社会資源等との連携を踏まえた保育の実践と保育者の役割 〈予習〉地域社会と連携を実践する保育の事例を読み、考えをまとめる 90分 〈復習〉第11回の授業内容の要点をまとめる 90分
	11	特別な支援を必要とする子どもの保育の実践と保育者の役割 〈予習〉特別な支援を必要とする子どもの保育の事例を読み、考えをまとめる 90分 〈復習〉第13回の授業内容の要点をまとめる 90分
	12	多文化共生の保育の実践と保育者の役割 〈予習〉多文化共生の保育の事例を読み、考えをまとめる 90分 〈復習〉第12回の授業内容の要点をまとめる 90分
	13	【オンデマンド型(遠隔)授業】乳幼児にとっての行事の意味と園行事の在り方と実際 〈予習〉第13回のテーマに沿ったエピソードを自らの実習経験から事例にまとめる 90分 〈復習〉第13回の授業内容の要点をまとめる 90分
	14	【オンデマンド型(遠隔)授業】小学校等との連携を踏まえた保育の実践と保育者の役割 〈予習〉小学校等の連携を踏まえた保育の事例を読み、考えをまとめる 90分 〈復習〉第14回の授業内容の要点をまとめる 90分
	15	【オンデマンド型(遠隔)授業】保育内容総論のまとめ 〈予習〉これまでの事例と考察を振り返り、自らの子どもへの見方・考え方の癖を捉える 90分 〈復習〉保育内容総論での学びと自らの保育観をまとめる 90分
定期試験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授業科目名	保育内容健康			教員名	伊藤 えつ子 / 杉山 直樹		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育内容演習〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔領域及び保育内容の指導法に関する科目 / 領域に関する専門的事項・健康〕				ナンバリング	1D403	
授業内容を示すキーワード	領域 健康						
授業の概要	領域「健康」について、乳幼児を取り巻く社会的状況や教育的課題を踏まえ、指導に必要となる基礎的知識や基礎的技能を身に付ける。具体的には、乳幼児の心身の発達、基本的生活習慣、安全な生活、運動発達等において乳幼児期には大人と違った特徴や意義があることを踏まえ、その相違が指導方法にも関連していることについて理解する。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 領域「健康」の指導の基盤となる、子どもの健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養うための専門的事項について、知識を技能を身に付ける。 【到達目標】 (1)乳幼児期の健康課題と健康の発達の意味を理解できる。 (2)乳幼児期の体の諸機能の発達と生活習慣の形成を理解できる。 (3)安全な生活と怪我や病気の予防を理解できる。 (4)乳幼児期の運動発達の特徴を意義を理解できる。						
授業の方法等	90分12回(合計48時間)の授業を2名の教員がオムニバス形式で講義と演習を併用して行う。 視聴覚教材の活用に加え、グループワークやディスカッションを取り入れ、進める。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔レポート〕40% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 40%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:40% DP2:10% DP3:20% DP4:10% DP5:10% DP6:10% 〔合計100%〕						
教科書	「演習 保育内容健康 大人から子どもへつなぐ健康の視点」[ISBN:978-4893472755] 井狩芳子 萌文書林						
参考書	「幼稚園教育要領解説」フレーベル館、 「保育所保育指針解説」フレーベル館、 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル館						
関連科目	保育内容総論、保育内容人間関係、保育内容環境、保育内容言葉、保育内容表現 保育内容健康の指導法 子どもの健康と安全						
質問受付の方法	適宜研究室等に対応する。						
履修上の注意	講義の記録、配付した印刷物等はA4ファイルに学習ノートとして整理する。						

授業計画 と 時間外学習	健康の定義と乳幼児期の健康の意義〔担当:伊藤〕
	1 <予習>シラバスを読み、教科書第1章を読む 45分 <復習>1回目の資料を復習し、健康の定義について整理する 45分
	2 乳幼児期の身体にかかわる発達と乳幼児期の運動発達の特徴〔担当:伊藤〕 <予習>教科書第2章、第7章、第8章1・2・3を読む 45分 <復習>2回目の資料を復習し、乳幼児期の発達について整理する 45分
	3 乳幼児期の健康課題(乳幼児を取り巻く生活環境と健康)〔担当:伊藤〕 <予習>教科書第3章を読む 45分 <復習>3回目の資料を復習し、乳幼児期の健康課題について整理する 45分
	4 乳幼児期の生活習慣の形成①(生活リズムの形成とその意義)〔担当:伊藤〕 <予習>教科書4章を読む 45分 <復習>4回目の資料を復習し、生活リズムの形成とその意義について整理する 45分
	5 乳幼児期の情緒・社会性・感覚器官にかかわる発達(プレゼンテーション)〔担当:伊藤〕 <予習>教科書第5章、第6章を読む 45分 <復習>5回目の資料を復習し、情緒・社会性・感覚器官にかかわる発達について整理する 45分
	6 日常生活における運動と遊びとしての運動〔担当:伊藤〕 <予習>教科書第8章4・5、第9章、第13章を読む 45分 <復習>6回目の資料を復習し、運動発達と遊びについて整理する 45分
	7 乳幼児期の生活習慣の形成②(グループワーク、ロールプレイ)〔担当:伊藤〕 <予習>教科書第10章を読む 45分 <復習>7回目の資料を復習し、生活習慣の獲得について整理する 45分
	8 子どもの健康を支える協働(幼保小の接続についてディスカッション)〔担当:伊藤〕 <予習>教科書第14章を読む 45分 <復習>8回目の資料を復習し、子どもの健康を支える協働について整理する 45分
	9 幼児の安全教育と危険①(安全教育と安全管理)〔担当:杉山〕 <予習>教科書第11章1・2を読む 45分 <復習>第11章1・2を復習し、安全教育と安全管理について整理する 45分
	10 幼児の安全教育と危険②(幼児期の怪我や事故の特徴と応急措置・病気の予防)〔担当:杉山〕 <予習>教科書第11章3・4を読む 45分 <復習>第11章3・4を復習し、怪我や事故の特徴について整理する 45分
	11 幼児の安全教育と危険③(リスクの見極めとハザードの除去)〔担当:杉山〕 <予習>教科書第12章を読む 45分 <復習>第12章を復習し、リスクの見極めとハザードの除去について整理する 45分
12 保育内容・健康のまとめ〔担当:伊藤〕(子どもの健康に関するディスカッション) <予習>教科書第15章を読む 45分 <復習>12回の授業を振り返るとともに、ディスカッションでの学びをまとめ配付プリントを整理する 45分	
定期試験	◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック〔成績等返却時にコメントを入れて返却〕

授業科目名	保育内容人間関係			教員名	室井 佑美		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育内容演習〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔領域及び保育内容の指導法に関する科目/領域に関する専門的事項・人間関係〕				ナンバリング	1D404	
授業内容を示すキーワード	保育内容 領域 人間関係 就学前教育 育みたい資質・能力 乳幼児の人と関わる力の発達						
授業の概要	領域「人間関係」について学問的な背景や基盤となる考え方を学びます。人間関係の専門的視点を、より幅広く、より深く考えることを目指します。また、養護と教育にかかわる保育内容が、それぞれ関連性を持ち、総合的に保育を展開していくための知識、技術、判断力を修得します。 乳幼児に対する就学前教育において、「何をどのように指導するか」という視点で、「何を」にあたる部分であり、主体的・対話的で深い学びから領域「人間関係」における専門的知識・技術を修得し、子どもの理解を深めます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 領域「人間関係」の指導の基礎となる、乳幼児の人と関わる力の育ちに関する専門的事項について、知識と技能を養います。 【到達目標】 (1)乳幼児を取り巻く人間関係をめぐる現代的課題について、具体例を挙げながら説明できる。 (2)乳幼児期の人と関わる力の発達について、保育所保育指針や幼稚園教育要領における領域を通して捉え、子どもに対する理解を深めながら、保育内容を具体的に説明できる。 (3)養護と教育において「人間関係」と五領域との関連性や相互性を具体例を挙げながら説明できる。						
授業の方法等	演習と講義を併用した授業を90分12回(合計48時間)行います。 自分の考えを持ち、意見をまとめることを多く行います。一部、視聴覚教材を活用します。 ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業を行います。 また、アクティブラーニングの手法を取り入れ、【グループワーク/ロールプレイ】を授業内で行うことがあります。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔レポート〕20% ■授業への取り組み・態度 50% ■提出物 30%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:30% DP2:10% DP3:30% DP4:10% DP5:10% DP6:10% 〔合計100%〕						
教科書	「〈領域〉人間関係ワークブック」(ISBN:978-4893472625)/田村美由紀・室井佑美著/萌文書林						
参考書	・「保育所保育指針解説」(ISBN:978-4577814482)/厚生労働省(編集)/フレーベル館 ・「幼稚園教育要領解説」(ISBN:978-4577814475)/文部科学省(編集)/フレーベル館 ・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(ISBN:978-4577814499) 内閣府・文部科学省・厚生労働省/フレーベル館 その他、適宜資料を配付します。						
関連科目	保育内容(健康 環境 言葉 表現) 保育内容人間関係の指導法 保育内容総論						
質問受付の方法	適宜、授業内、教員研究室などで受け付けます。						
履修上の注意	授業の実施場所、準備物、服装等については、事前の指示をよく聞いてください。 毎回、授業内容は配付プリント又はテキストに書き込み、貼付します。なお、前期「保育内容人間関係」と後期「保育内容人間関係の指導法」は、同じテキストを使用します。 学習の積み重ねを重視するため、やむを得ず授業を欠席する場合は、EduNavilにて資料、課題の把握、授業内容の確認などとして、能動的に行動してください。						

授業計画 と 時間外学習	オリエンテーション、就学前教育の基本と保育内容の全体構造
	1 〈予習〉初回のため、なし。 〈復習〉第1回の授業内容の要点をまとめる。誕生日壁面を制作しよう。90分
	2 乳幼児を取り巻く人間関係の現代的特徴と社会的背景 〈予習〉テキストのワークを行う。30分 〈復習〉第2回の授業内容の要点をまとめる。60分
	3 子どもの人と関わる力の発達～0・1・2歳児～ 〈予習〉テキストのワークを行う。30分 〈復習〉第3回の授業内容の要点をまとめる。ふれあい遊びレポートを作成しよう。60分
	4 子どもの人と関わる力の発達～3・4・5歳児～ 〈予習〉テキストのワークを行う。30分 〈復習〉第4回の授業内容の要点をまとめる。積み木遊びレポートを作成しよう。60分
	5 養護(生命の保持・情緒の安定)の実際と人間関係における保育者の役割と実際 〈予習〉テキストのワークを行う。30分 〈復習〉第5回の授業内容の要点をまとめる。養護に関する4コマ漫画レポートを作成しよう。60分
	6 保育内容人間関係のねらいと内容(乳児保育/満1歳以上満3歳未満児/満3歳以上児)と実際 〈予習〉テキストのワークを行う。30分 〈復習〉第6回の授業内容の要点をまとめる。 領域人間関係に関する4コマ漫画レポートを作成しよう。60分
	7 遊び・生活場面における人との関わりの実際(子ども・保育者、子ども-子どもとの関係性) 〈予習〉テキストのワークを行う。30分 〈復習〉第7回の授業内容の要点をまとめる。人との関わりを育む〇〇レポートを作成しよう。60分
	8 遊び・生活場面における人との関わりの実際(クラス集団と個々の関わりと求められる役割) 〈予習〉テキストのワークを行う。30分 〈復習〉第8回の授業内容の要点をまとめる。共同製作レポートを作成しよう。60分
	9 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の実際(自立心/協同性の育ち/道徳性・規範意識の芽生え/社会生活との関わり) 〈予習〉テキストのワークを行う。30分 〈復習〉第9回の授業内容の要点をまとめる。遊びの準備をしよう。60分
	10 小学校との円滑な接続におけるスタートカリキュラムと保育内容人間関係 〈予習〉テキストのワークを行う。30分 〈復習〉第10回の授業内容の要点をまとめる。遊びレポートを作成しよう。60分
	11 特別な配慮が必要な子どもの人との関わりを育むと求められる役割 〈予習〉テキストのワークを行う。30分 〈復習〉第11回の授業内容の要点をまとめる。多様性を育む〇〇レポートを作成しよう。60分
12 保育内容人間関係と他の領域との相互関連性/保育内容人間関係の指導法に向けて 〈予習〉テキストのワークを行う。30分 〈復習〉第12回の授業内容の要点をまとめる。保育内容人間関係で学んだこと、保育者になっても忘れてはいけないと思ったことを箇条書きにまとめてみよう。60分	
定期試験	◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック〔添削をして後期「人間関係の指導法」授業内で返却する〕

授業科目名	保育内容環境			教員名	高後 仁		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育内容演習〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔領域及び保育内容の指導法に関する科目/領域に関する専門的事項・環境〕			ナンバリング	1D405		
授業内容を示すキーワード	環境 幼保小の接続・連携 環境との出会い						
授業の概要	環境とは、領域「環境」とは、環境を通して行う教育・保育の基本を理解し、子どもを取り巻く環境と、子どもの発達にとっての意義をグループワークやディベートを通して理解します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 子どもを取り巻くさまざまな環境や子どもと環境の関わりについての専門的事項における感性を養い、知識・技能を身に付けることができる。 【到達目標】 環境を通して行う教育・保育の基本を理解し、身近な環境との関わりを具体的な生活事例(製作・遊ぶ活動)を通して体験的に学び、実践できるようにする。						
授業の方法等	90分12回(合計48時間)の授業を行います。 具体的な体験・経験をフィールド学習(季節との出会い・動植物・自然遊び等)を通して、環境を広い意味や保育内容「環境」としての意味を理解し身に付けます。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 30%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:10% DP2:10% DP3:20% DP4:10% DP5:40% DP6:10% 〔合計100%〕						
教科書	適宜、資料を配付						
参考書	「生活事例からはじめる保育内容「環境」」 青踏社 「環境・エコへの道標～幼稚園・保育園・学校・家庭へ～」 雄文社 「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館						
関連科目	保育内容(健康・人間関係・言葉・環境・表現)、保育内容総論、保育内容環境の指導法、保育・教職論、保育原理						
質問受付の方法	担当教員 随時						
履修上の注意	レポートは毎回提出します。レポート等の資料を整理・保存する「A4版ファイル」を用意してください。活動できる服装(スニーカー等)、色鉛筆を用意してください。						

授業計画 と 時間外学習	1	環境とは 領域「環境」 レイチェル・カーソン「センス・オブ・ワンダー」 環境を通して行う教育・保育の基本 〈予習〉レイチェル・カーソンについての調査 45分 〈復習〉領域「環境」の概要理解 45分
	2	身近な環境の構成 人的・物的・自然・社会 ナチュラル保育検定 〈予習〉身近な環境とは何かを調査 45分 〈復習〉身近な環境への理解 45分
	3	さまざまな環境との出会い ①季節との出会い 春・夏 〈予習〉春・夏の学内の動植物調査 45分 〈復習〉学びの後のフィールド学習 45分
	4	さまざまな環境との出会い ②身近な草花との出会い オオイヌフグリ、ハルジオン等 〈予習〉家の周囲の野草調べ 45分 〈復習〉ファーム周辺の野草調べ 45分
	5	さまざまな環境との出会い ③野菜の栽培 ナス・シシトウ・ピーマン・サツマイモ等 〈予習〉身近な野菜の花と実調べ 45分 〈復習〉成長の観察 45分
	6	さまざまな環境との出会い ④野菜の栽培 花・実 〈予習〉その後の成長 45分 〈復習〉わき芽・除草・追肥等の効果的なやり方 45分
	7	さまざまな環境との出会い ⑤季節との出会い 秋・冬 クヌギとコナラ等 星座 雲 〈予習〉秋・冬の学内の動植物調査 45分 〈復習〉学びの後のフィールド学習 45分
	8	さまざまな環境との出会い ⑥動物(虫・鳥等) セミ、秋の虫、鳥の声 〈予習〉学内に棲むセミ・バッタ・鳥等の調査 45分 〈復習〉それぞれの特徴調べ 45分
	9	さまざまな環境との出会い ⑦遊び(自然・おもちゃ・昔の遊び等) ササ舟 〈予習〉昔の遊び調べ 45分 〈復習〉自然・おもちゃ・昔の遊び等再実践 45分
	10	保育内容「環境」の計画・評価と課題 長期、短期の指導計画 日案 週案 日誌 〈予習〉保育内容「環境」の計画 45分 〈復習〉評価と課題 45分
	11	安全のための環境 事故・災害・不審者等 進路選択 〈予習〉安全のための環境調べ 45分 〈復習〉事故・災害・不審者等への対応 45分
	12	振り返り アンケート 〈予習〉今までの学習の振り返り 45分 〈復習〉総復習 45分
定期試験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授業科目名	保育内容言葉			教員名	相沢 和恵		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育内容演習〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔領域及び保育内容の指導法に関する科目/領域に関する専門的事項・言葉〕				ナンバリング	1D406	
授業内容を示すキーワード	5領域「言葉」 保育内容 言葉の発達と獲得 ことば遊び 児童文化財 文字と環境						
授業の概要	領域「言葉」で示されている乳幼児期の発達と言葉の獲得について学びます。その学びを支える保育者の援助の基盤となる、乳幼児が豊かな言葉や表現法を身に付け、想像する楽しさを広げるために必要な基礎的知識を学びます。「言葉」の意義と機能について理解し、乳幼児の言葉を育て、その言葉を獲得するために構成する環境や言葉に対する感覚を豊かにする保育教材を学び実践力を身に付けます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 領域「言葉」に示されている、指導の基盤となる乳幼児期の言葉の発達を理解し、保育者の役割や環境構成の重要性を理解して、保育実践力を身に付けます。 子どもの言葉を育む児童文化財や様々な言葉に関わる遊びを知り、保育実践に必要な基礎的な知識を獲得します。 【到達目標】 ・乳幼児期の言葉の発達を理解し、その発達を促す保育所や保育者の役割への理解を深める。 ・実際の保育実践に必要な保育所保育指針の理解、指導案などのカリキュラム作成について専門的な知識を身に付ける。 ・児童文化財や文字などの言葉の発達に必要な環境について知り、実践力が身に付く。						
授業の方法等	演習・講義を合わせた授業を90分12回(合計48時間)行います。演習は、必要に応じて記録レポートを課します。 児童文化財の理解については、グループワークでの実践等も取り入れます。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕40% ■授業への取り組み・態度 30% ■提出物 30%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:40% DP2:10% DP3:20% DP4:10% DP5:10% DP6:10% 〔合計100%〕						
教科書	○「新訂 事例で学ぶ保育内容 領域「言葉」」〔ISBN:9784893472595〕 無藤隆監修、宮里暁美編/萌文書林						
参考書	○「保育所保育指針解説」(ISBN:9784577814482)/厚生労働省(編集)/フレーベル館 ○「幼稚園教育要領解説」(ISBN:9784577814475)/文部科学省(編集)/フレーベル館 ○「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(ISBN:9784577814499) 内閣府・文部科学省・厚生労働省/フレーベル館 適宜、資料を配付します。						
関連科目	保育内容総論、保育内容健康、保育内容人間関係、保育内容環境、保育内容表現 保育内容言葉の指導法						
質問受付の方法	適宜、授業内、担当教員の研究室等で受け付けます。						
履修上の注意	プリント類はA4版2穴ファイルに整理、保存します						

授業計画 と 時間外学習	1	保育内容「言葉」とは何か「乳幼児期の言葉のおもしろさ」 〈予習〉初回のため、なし 〈復習〉次回授業該当ページを読んでおく 90分
	2	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における保育内容「言葉」 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	3	乳幼児期の発達と領域「言葉」 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	4	子どもは言葉をどのように獲得するのか1「多様な感情体験とことば」 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	5	子どもは言葉をどのように獲得するのか2「信頼関係から生み出されることば」 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	6	子どもは言葉をどのように獲得するのか3「自分の考えや思いを伝えることば」 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	7	ことば遊びのいろいろと保育への取り入れ方「ごっこ遊びとことば」 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	8	言葉を育て、想像する楽しさをひろげる児童文化財の意義(うた・わらべうたとことば) 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	9	言葉を育て、想像する楽しさをひろげる児童文化財の実際(紙芝居と絵本の世界) 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	10	言葉を育て、想像する楽しさをひろげる児童文化財の実践 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	11	言葉の遅れがある子どもと保育内容 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	12	保育内容「言葉」5領域との関係 まとめ 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉定期試験、レポートの該当プリントと該当ページ教科書を読む 45分
定期試験	◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック〔成績等返却時にコメントを入れて返却〕	

授業科目名	保育内容表現			教員名	福泉 博子 伊藤 えつ子 / 酒井 誠		
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育内容演習〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔領域及び保育内容の指導法に関する科目/領域に関する専門的事項・表現〕				ナンバリング	1D407	
授業内容を示すキーワード	表現 感性 創造性 遊び 音楽表現 造形表現 身体表現						
授業の概要	保育内容領域「表現」に関して、乳幼児の表現やその過程について理解するとともに、乳幼児の感性や創造性を豊かに育む遊びや環境構成について学びます。また、表現について根源的に学ぶこと、自身の体験を通して経験することによって保育者としての感性を磨きます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 乳幼児の生活や遊びの中にある表現やその意義について理解する。また表現全般について広く体験的に学びながら自身の感性を磨くことによって、乳幼児の感性や創造性を引き出す構想力、知識、技能、表現力を身につける。 【到達目標】 (1)領域「表現」の概要を理解する。 (2)乳幼児の心性を理解し表現を受容的に受け止める視点を身につける。 (3)自身の感性や表現力を磨く。 (4)他者とのコミュニケーションとして表現を楽しむことができる。 (5)基礎的な表現技術や身近な素材を生かした表現活動を構想することができる。						
授業の方法等	体験的な学びを中心に90分12回(合計48時間)の演習授業を、教員3名でグループごとに音楽表現・身体表現・造形表現で行います。 ワークシートを活用し学びの省察・自己評価を行いながら学びを進めます。 視聴覚教材や事例を活用、グループワーク、討論、発表など、アクティブラーニングの手法及びICTを積極的に用います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔表現発表(動画提出)〕30% ■授業への取り組み・態度 60% ■提出物(ポートフォリオなどを含む) 10%						
D P に掲げる学力の割合	DP1:40% DP2:10% DP3:30% DP4:10% DP5:10% DP6:0% 〔合計100%〕						
教科書	使用しません。必要に応じてプリントを配付します。						
参考書	適宜、資料を配付します。						
関連科目	保育内容(健康・人間関係・環境・言葉)、 保育内容の指導法(健康・人間関係・環境・言葉) 図画工作、音楽Ⅰ・Ⅱ、ピアノⅠ・Ⅱ、幼児体育、ナチュラルアート、ダンスムーブメント						
質問受付の方法	担当教員の研究室などで受け付けます。						
履修上の注意	授業実施場所の変更や準備物、服装等については、各担当教員の指示をよく聞いてください。						

授業計画 と 時間外学習	1	オリエンテーション 領域「表現—音楽・身体・造形」のねらい及び内容 〈予習〉シラバスを読み授業概要のイメージを持つ 30分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理 60分
	2	【新聞紙あそび①】身体を包んであそぶ『新聞ファッションショー』〔担当:酒井〕 〈予習〉シラバス等で事前に内容を確認し、制作プランを大まかにイメージする。45分 〈復習〉ワークシートを仕上げる。45分
	3	【新聞紙あそび②】新聞紙とビニールテープでものづくり『ビニール人形』〔担当:酒井〕 〈予習〉シラバス等で事前に内容を確認し、制作プランを大まかにイメージする。45分 〈復習〉ワークシートを仕上げる。45分
	4	【新聞紙あそび③】新聞紙とビニールテープでものづくり『ビニール人形』〔担当:酒井〕 〈予習〉シラバス等で事前に内容を確認し、制作プランを大まかにイメージする。45分 〈復習〉ワークシートを仕上げる。45分
	5	楽器を作ろう〔担当:福泉〕 〈予習〉楽器制作に使用する廃材などの材料を準備する 45分 〈復習〉制作した楽器を使い合奏をする 45分
	6	【合奏①】ドレミパイプ・ミュージックベルを演奏しよう〔担当:福泉〕 〈予習〉譜読み 45分 〈復習〉合奏練習 45分
	7	【合奏②】ドレミパイプ・ミュージックベルを演奏しよう〔担当:福泉〕 〈予習〉譜読み 合奏の練習 45分 〈復習〉ワークシートを仕上げる 45分
	8	身体表現① 即興で動きづくり(身近なものを動きで表現)〔担当:伊藤〕 〈予習〉シラバスを読み授業概要のイメージを持つ。45分 〈復習〉配付プリントを使って振り返りをする。課題を行う。45分
	9	身体表現② 動きのまとまりづくり(感じたことや考えたことを動きで表現)〔担当:伊藤〕 〈予習〉シラバスを読み授業概要のイメージを持つ。45分 〈復習〉配付プリントを使って振り返りをする。課題を行う。45分
	10	身体表現③ 作品づくり(イメージを動きで表現)〔担当:伊藤〕 〈予習〉シラバスを読み授業概要のイメージを持つ。45分 〈復習〉配付プリントを使って振り返りをする。課題を行う。45分
	11	グループ創作活動①【保育者としての表現を磨く】〔担当:福泉/伊藤/酒井〕 10回の授業を踏まえ、ジャンルを超えた総合的表現パフォーマンスをグループで創作、実演する。 〈予習〉グループ発表に向けての準備 60分 〈復習〉授業の振り返り 30分
	12	グループ創作活動②【保育者としての表現を磨く・まとめ】〔担当:福泉/伊藤/酒井〕 10回の授業を踏まえ、ジャンルを超えた総合的表現パフォーマンスをグループで創作、実演する。 〈予習〉グループ発表に向けての準備 60分 〈復習〉授業の振り返り 30分
定期試験	◆定期試験〔表現発表(動画提出)〕 ◆振り返り・フィードバック 後日評価コメントを出します。	

授業科目名	音楽Ⅰ			教員名	福泉 博子 数野 麻衣子 / 福士 紗希		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育内容の理解と方法〕				ナンバリング	1D408	
授業内容を示すキーワード	楽典 ソルフエージュ 弾き歌い(ピアノ) こどものうた 音遊び 合唱 合奏						
授業の概要	保育者として必要となる音楽の基礎的な知識、技能の理解と習得を目指します。 そのため、楽典や歌唱法、ソルフエージュに関する授業を行います。 また、音楽を使った遊びや、幼稚園、保育所で行う合唱や器楽演奏の授業を行います。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 1) 幼稚園や保育所などで歌う「こども・幼児のうた」の特性を学び、ピアノで弾き歌いをしてしながら幼児の指導ができる力を身につけます。 2) 音楽の基礎的な知識を習得し、読譜力を身につけます。 3) 合奏・合唱を楽しみながら歌唱法や幼児が使う各種楽器の奏法を学び、保育者に必要とされる指導技術を身につけます。 【到達目標】 ①基本的な音楽の知識を学び、一人で読譜ができるようになります。 ②生活の歌や季節の歌の弾き歌いができるようになります。 ③楽器の奏法や歌唱方法を習得します。						
授業の方法等	90分12回(合計48時間)の演習形式で、音楽の基礎知識(楽典)に関する授業を行います。 生活のうたや季節のうたなどの弾き歌いを行います。 定期試験は音楽の基礎知識(楽典)の筆記試験を行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕60% ■合唱・合奏への取り組み 10% ■授業への取り組み・態度(予習・復習を含む) 30%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:30% DP2:10% DP3:20% DP4:10% DP5:20% DP6:10% 〔合計100%〕						
教科書	・【全員購入】「やさしく弾けるピアノ伴奏 保育のうた12か月 幼稚園・保育園 現場の声から選ばれた全141曲」〔ISBN:978-4405071391〕 新星出版社 ・【授業内で購入】山村学園短期大学楽典教本(1,000円) ※購入の方法は授業時に案内します。 ・【入学前オリエンテーションで配付】令和8年度入学生 楽譜集						
参考書	・「ジュニアクラスの楽典問題集」(ドレミ楽譜出版社) ・「保育士のための こどものうた名曲集150」(シンコーミュージック 出版) ・「保育現場で使われるピアノ伴奏によるこどもの歌の楽譜集 こどものうた100」(チャイルド社)						
関連科目	音楽Ⅱ ピアノⅠ ピアノⅡ 保育内容表現 保育内容表現の指導法						
質問受付の方法	随時受け付けます。						
履修上の注意	楽譜や教材は毎回必ず持参してください。						

授業計画 と 時間外学習	1	オリエンテーション 授業内容の説明 遊び歌を体験しよう 〈予習〉シラバスの内容確認 45分 〈復習〉あそびうたの練習 45分
	2	音名 ト音・ヘ音記号の理解Ⅰ 童謡・子どものうたを歌おう 〈予習〉なし 〈復習〉季節ごとの童謡や子どものうたを歌う 毎日15分
	3	音名 ト音・ヘ音記号の理解Ⅱ 変化記号の役割 童謡・子どものうたを歌おう 〈予習〉なし 〈復習〉配布プリント問題の「音名」を解く60分 童謡・子どものうたをうたう 1週間で30分程度
	4	譜表・音符・休符の理解Ⅰ 童謡・子どものうたを歌おう 〈予習〉なし 〈復習〉配布プリントを解く 60分 授業で弾いた曲の歌唱とピアノの練習 毎日20分
	5	譜表・音符・休符の理解Ⅱ 音名・音符休符の復習 季節のうた 生活のうたを歌おう 〈予習〉なし 〈復習〉配布プリントを解く 60分 授業で弾いた曲の歌唱とピアノの練習 毎日20分
	6	季節の歌をピアノで弾こう 合奏をしよう 〈予習〉なし 〈復習〉授業で弾いた曲を練習する 毎日20分
	7	拍子とリズムの理解Ⅰ 季節の歌の歌唱とピアノ演奏 〈予習〉なし 〈復習〉楽典問題を解く60分 季節の歌の歌唱とピアノ練習 毎日20分
	8	拍子とリズムの理解Ⅱ 季節の歌の歌唱とピアノ演奏 〈予習〉なし 〈復習〉楽典問題を解く60分 季節の歌の歌唱とピアノ練習 毎日20分
	9	生活の歌をピアノで弾こう 〈予習〉なし 〈復習〉生活の歌と季節の歌の歌唱練習とピアノ練習 毎日20分
	10	反復記号・省略記号 変化記号の理解 調号と臨時記号の違い ※生活の歌ピアノ練習 〈予習〉なし 〈復習〉配布プリントの「反復記号・省略記号」を解く 60分 弾き歌い練習 毎日20分
	11	音楽用語と記号 弾き歌い練習 〈予習〉なし 〈復習〉問題「変化記号 調号と臨時記号」を解く 60分 弾き歌い練習 毎日20分
	12	授業内容の振り返りとまとめ 弾き歌い練習 〈予習〉テキストを読む 〈復習〉生活の歌3曲の弾き歌い練習 毎日30分 楽典問題集を解く 90分
定期試験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授業科目名	音楽Ⅱ			教員名	数野 麻衣子 大導寺 俊平 / 中川 悠子 福士 紗希 / 町田 百合絵		
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育内容の理解と方法〕				ナンバリング	1D409	
授業内容を示すキーワード	ピアノ 声楽 弾き歌い 個別学習 習熟度別学習						
授業の概要	保育現場で必要とされる鍵盤楽器(ピアノ)の奏法を学びます。ピアノ初級者から上級者まで、個々のレベルに合わせたレッスンを行います。初級者はバイエルなどの教則本を使い初歩的技術の習得を、中・上級者はソナチネなど様々な楽曲を用いて総合的な音楽力を身につけます。また、声楽レッスンを行う事により、正しい発声法を習得し、明るく豊かな声で歌唱できるようにします。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 1)読譜力を身につけ、正しい運指法、打鍵法で演奏できるようにします。 2)正しい発声法を学び、明るく豊かな声でこどもの歌が歌唱できるようにします。 3)幼稚園・保育所等で歌う生活の歌、季節の歌、子どもの歌を弾き歌いできるレベルを目指します。 【到達目標】 ○音名、音符、リズム、拍子を理解し、ひとりで読譜し演奏することができる。 ○初級者は「ピアノ・弾き歌い進捗表」の基礎Ⅰまでを、中級者は基礎Ⅲまでを、上級者はソナチネ・ソナタ・ブルグミュラーなどが演奏できる。 ○園で歌われる生活の歌や季節の歌、童謡などが弾き歌いができる。 ○各月の歌を各自のレベルに合わせた内容で1曲以上、合計12曲以上弾けるようにする。 ○正しい発声で、声量豊かに明るい響きのある声で歌唱することができる。						
授業の方法等	90分12回(合計48時間)の演習(実習)授業を行います。 ピアノの個人レッスン(実技)を行います。個々のレベルに合わせた指導を行います。 声楽の個人レッスン(実技)を行います。発声法や曲の内容について指導します。 定期試験はピアノ曲と弾き歌い曲の2曲を発表会形式で行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験 [実技 ピアノ演奏 弾き歌い] 80% ■授業への取り組み・態度(予習・復習を含む) 20%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:30% DP2:10% DP3:30% DP4:10% DP5:10% DP6:10% [合計100%]						
教科書	全訳(標準)バイエルピアノ教則本(全音楽譜出版社)／ブルグミュラー25の練習曲(全音楽譜出版社) ソナチネアルバム1(全音楽譜出版社)／令和8年度 楽譜集 2025年度ピアノ初級講座楽譜集 やさしく弾けるピアノ伴奏 保育のうた12か月 幼稚園・保育園 現場の声から選ばれた全141曲(新星出版社) ※その他、個人のレベルに合わせ各担当教員から曲目の指示をします。						
参考書	「保育士のための こどものうた名曲集150」(シンコーミュージック 出版) 「保育現場で使われるピアノ伴奏によるこどもの歌の楽譜集 こどものうた100」(チャイルド社)						
関連科目	音楽Ⅰ ピアノⅠ ピアノⅡ 保育内容表現 保育内容表現の指導法						
質問受付の方法	随時受け付けます。						
履修上の注意	他出版社の楽譜を使用する場合は教員に確認してください。 配付プリントは各自でファイリングして整理しておきましょう。 楽譜や教材は毎回必ず持参してください。						

授業計画 と 時間外学習	1	オリエンテーション 目標 内容 授業形式の説明 個々の進度に応じた教則本による学習と弾き歌い学習 ピアノ個人レッスン 〈予習〉見極め曲の練習 毎日20分 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日20分程度
	2	2～11回は、学生個々の進度に応じたピアノ個人レッスンと声楽レッスン(発声法・呼吸法、他) ※2回目のレッスンで教育実習Ⅰの見極めを行います。
	3	【初級者の教則本(バイエル)及び学習事項】 ○ピアノ進捗表 ・導入Ⅰ 右手・左手(ピアノ・弾き歌い進捗表参照) ・導入Ⅱ 左右の手の独立・各指の独立 ・導入Ⅲ カノン ・弾き歌い 生活の歌
	4	〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日15分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	5	【初級・中級者の教則本】 ○ピアノ進捗表 ・バイエル 基礎Ⅰ 分散和音の練習と重音の練習 ・弾き歌い 生活の歌
	6	〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日15分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	7	【中級者の教則本】 ○ピアノ進捗表 ・バイエル 基礎Ⅱ 新しい調とその練習 ・バイエル 基礎Ⅲ 複合問題 ・弾き歌い 生活の歌 行事の歌 季節の歌
	8	〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日15分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	9	【中級・上級者の教則本】 ○ピアノ進捗表 ・バイエル 応用Ⅰ 曲の構成の把握と転調を含む曲 ・バイエル 応用Ⅱ 総復習 ・弾き歌い 生活の歌 行事の歌 季節の歌
	10	〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日15分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	11	【上級者の教則本】 ○ピアノ進捗表 ・ソナチネアルバム・ブルグミュラー 導入・初級 ・弾き歌い 生活の歌 行事の歌 季節の歌
	12	〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日15分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
まとめ 実技試験リハーサル(グループ内)	まとめ 実技試験リハーサル(グループ内)	
定期試験	◆定期試験[ピアノ・弾き歌い実技] 70分 ◆振り返り・フィードバック[定期試験の解説を行う] 20分	

授業科目名	図画工作			教員名	酒井 誠		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育内容の理解と方法〕				ナンバリング	1D410	
授業内容を示すキーワード	「基礎的な技法の習得」「身近な素材を使う」「素材の特性を知る」「安全性を考える」						
授業の概要	図画工作を行っていく過程で必要になる、技法・素材等の基礎知識を学びます。ものつくりの楽しさを理解するとともに、それを伝える力や、怪我等トラブル回避のための行動を学びます。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】 図画工作の技法・素材を習得する。身近にあるものを使って作ることを体験し、様々なものが、一手間加えるだけで、新たなものに生まれ変わる楽しさの理解を深める。ゆっくりと丁寧に、かつ安全に制作することができるようになる。</p> <p>【到達目標】 多くの技法・素材の知識を身に付けることによって、表現力の幅を広げ、制作に自分なりの工夫を凝らせる。将来の指導者として制作の楽しさを子どもたちに伝えられる。</p>						
授業の方法等	演習(実技)を主体とした授業を90分12回(合計48時間)行います。毎回様々な授業展開をしますので出席が大切です。毎回の授業内容を作品とともにスケッチブックにまとめます。						
成績評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ■定期試験〔筆記〕50% ■作品提出等25% ■授業へ取り組む姿勢と制作への態度 25% 						
DPに掲げる学力の割合	DP1:30% DP2:10% DP3:30% DP4:10% DP5:10% DP6:10% [合計100%]						
教科書	講義用プリントを配付します。						
参考書	適宜、資料を配付します。						
関連科目	保育内容表現、保育内容表現の指導法、ナチュラルアート、子ども文化演習B						
質問受付の方法	オフィスパワーを含めて、随時受け付けます。						
履修上の注意	<ol style="list-style-type: none"> 1.動きやすく、汚れの気にならない服装で臨むこと。 2.積極的な姿勢で授業に関わること。 3.毎回の授業時に配付するプリントは、図画工作スケッチブックの巻末に添付すること。 4.受講に必要な道具、素材は予め指示しますので、忘れないように持って来て下さい。 						

授業計画 と 時間外学習	1	ガイダンス・授業内容の説明 様々な技法を知る①/フロッタージュとコラージュ-こすりだし技法と張り込み- 〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	2	様々な技法を知る②/デカルコマニー -偶然性を利用した色や形の表現- 〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	3	様々な技法を知る③/パテック・スクラッチ -クレヨンと絵の具の性質を知る- 〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	4	様々な技法を知る④/ステンシル・スパッタリング -多様な技法を知り、応用して制作する- 〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	5	様々な技法を知る⑤/染め紙・マーブリング -多様な技法を知り、応用して制作する- 〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	6	様々な技法を知る⑥/スタンピング・ローリング・ドリップング -多様な技法を知り、応用して制作する- 〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	7	【身近な物を使用して工作をする】なんちゃってスタンドグラス① 〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	8	【身近な物を使用して工作をする】なんちゃってスタンドグラス② 〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	9	【身近な物を使用して工作をする】なんちゃってスタンドグラス③ 〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	10	【身近な物を使用して工作をする】ダンボールとパスタ壁飾り① 〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	11	【身近な物を使用して工作をする】ダンボールとパスタ壁飾り② 〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	12	【身近な物を使用して工作をする】ダンボールとパスタ壁飾り③ 〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分 	

授 業 科 目 名	幼児体育			教 員 名	伊藤 えつ子		
配 当 年 次	1	開 講 時 期	前 期	単 位 数	1	授 業 形 態	講 義
卒 業・免 許・資 格 と の 関 係	○保育士資格必修〔保育内容の理解と方法〕				ナンバリング	1D411	
授 業 内 容 を 示 す キーワード	運動あそび、身体表現、健康、指導と援助、安全管理						
授 業 の 概 要	乳幼児の運動あそび・身体表現の意義を理解し、あそびの指導や援助について学ぶ。 自身の身体性・表現力・コミュニケーション能力を高める。						
授 業 の ね ら い と 到 達 目 標	【ねらい】 乳幼児の運動あそびや身体表現についての専門的知識・技能を身につける。また、保育者は人的環境となることを意識し、自身の身体性・表現力・コミュニケーション能力を向上させる。 【到達目標】 ①運動あそび・身体表現の意義について説明することができる。 ②対象に合わせた指導や援助に慮って考え実践できる。 ③安全管理等について適切な配慮ができる。 ④積極的に身体を動かすことで身体性を向上させる。 ⑤積極的に他者と関わることで表現力・コミュニケーション能力を向上させる。						
授 業 の 方 法 等	90分12回(合計48時間)の授業で運動あそび・身体表現の方法や環境構成について具体的な体験・経験のなかで身に付けてる。学びの省察・自己評価を行いながら学び進める。また、視聴覚教材や事例を活用、グループワーク、討論、発表など、アクティブラーニングの手法を積極的に用い子どもの体力や運動能力について考える。授業後半では、指導案を作成し、授業内でロールプレイを行う。						
成 績 評 価 の 基 準 と 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ■定期試験〔レポート〕30% ■授業への取り組み・態度 50% ■提出物 20% 						
D P に 掲 げ る 学 力 の 割 合	DP1:30% DP2:10% DP3:30% DP4:10% DP5:10% DP6:10% 〔合計100%〕						
教 科 書	「子どもの運動遊びバイブル 〔こにこ笑顔で楽しみながら運動の力もの伸びてゆく!〕 〔ISBN:978-4860154424〕 香村恵介・八藤直樹・内藤謙・田中真紀 著 みらい						
参 考 書	適宜、資料を配付する。						
関 連 科 目	保育内容健康 保育内容表現 保育内容健康の指導法 保育内容表現の指導法 ダンスムーブメント						
質 問 受 付 の 方 法	適宜、研究室等にて受け付ける。						
履 修 上 の 注 意	1.運動着に着替えて受講する。 2.内履き、外履きをロッカーに準備する。 3.授業実施場所の変更や準備物等については教員の指示や掲示板等に注意する。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	オリエンテーション 運動あそび・身体表現の意義(準備運動、レジ袋、新聞紙) 〈予習〉シラバスを読む。次回授業の該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ワークシートの記入・運動遊びの練習 45分
	2	運動あそびの指導と援助(準備運動、ボール、フープ、バルーン) 〈予習〉次回授業の該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ワークシートの記入・運動遊びの練習 45分
	3	運動あそびの指導と援助(準備運動、縄、鬼遊び、リレー) 〈予習〉次回授業の該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ワークシートの記入・運動遊びの練習 45分
	4	運動あそびの指導と援助(準備運動、跳び箱、マット、鉄棒) 〈予習〉次回授業の該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ワークシートの記入・運動遊びの練習 45分
	5	運動あそびの指導と援助(準備運動、幼児期運動指針と運動能力測定) 〈予習〉次回授業の該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ワークシートの記入・運動遊びの練習 45分
	6	運動あそびの指導と援助(準備運動、プールと野外活動) 〈予習〉次回授業の該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ワークシートの記入・運動遊びの練習 45分
	7	運動あそびの指導と援助(準備運動、親子遊び) 〈予習〉次回授業の該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ワークシートの記入・運動遊びの練習 45分
	8	運動あそびの指導と援助(準備運動、伝承遊び)、指導案の作成① 〈予習〉ロールプレイまでの手順に関するプリントを読んでくる 45分 〈復習〉ワークシートの記入・ロールプレイの練習 45分
	9	運動あそびの指導と援助のまとめ、指導案の作成② 〈予習〉指導案作成に向けて教材の運動遊びを選び、イメージをもつ 45分 〈復習〉ワークシートの記入・ロールプレイの練習 45分
	10	ロールプレイの実践① 〈予習〉指導案を覚え、指導できるようにする 45分 〈復習〉ワークシートの記入・ロールプレイの練習 45分
	11	ロールプレイの実践② 〈予習〉指導案を覚え、指導できるようにする 45分 〈復習〉ワークシートの記入・ロールプレイの練習 45分
	12	ロールプレイ実践③と振り返り、授業のまとめ 〈予習〉指導案を覚え、指導できるようにする 45分 〈復習〉ロールプレイの振り返りをワークシートに記入 45分
定 期 試 験	<ul style="list-style-type: none"> ◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック〔レポートにコメントを記入し返却する〕 	

授業科目名	乳児保育Ⅰ			教員名	半田 佳織		
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔乳児保育Ⅰ〕				ナンバリング	1D412	
授業内容を示すキーワード	子どもの発達理解、発達と保育実践、子ども観・保育観						
授業の概要	乳幼児が豊かに育つためには何が重要であるのかを考え、 1. 乳児保育の概要について知ります。 2. 乳幼児期の発達や生活に理解を深めます。 3. 乳児保育を担当する保育士としての役割や専門性について認識します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 乳幼児が豊かに育つためには何が重要であるのかを考え、 1. 乳児保育の概要について知ります。 2. 乳幼児期の発達や生活に理解を深めます。 3. 乳児保育を担当する保育士としての役割や専門性について認識します。 【到達目標】 乳児保育についての歴史、現状、課題について理解する。乳幼児の心身の発達について基礎的知識を身につける。乳児保育の内容や、園児・保護者に対するの援助の方法について知る。						
授業の方法等	教科書に沿って、視聴覚教材による事例検討なども交えながら、理解を深めていきます。 また、グループワークにてロールプレイングを行います。 ICTを活用した双方向型の授業及び自主学習支援を行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕60% ■授業への取り組みの様子(授業に対する積極性や貢献度、準備、参加状況、等)10% ■提出物 30% を基本とし、総合的に評価する。						
DPに掲げる学力の割合	DP1:30% DP2:10% DP3:20% DP4:10% DP5:20% DP6:10% 〔合計100%〕						
教科書	「はじめて学ぶ乳児保育」(ISBN:978-4-8103-15158-8) 第4版 志村聡子 著 同文書院						
参考書	適宜、資料を配付します。						
関連科目	乳児保育Ⅱ 保育の心理学						
質問受付の方法	適宜、担当教員の講師室控室等で受け付けます。						
履修上の注意	スマートフォン等ICT機器を持参してください。						

授業計画 と 時間外学習	1	乳児保育の社会的背景 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートに必要事項を記入し完成させる 90分
	2	乳児保育に関わる制度 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートに必要事項を記入し完成させる 90分
	3	【オンデマンド型(遠隔)】保育所保育指針における「乳児保育」 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートに必要事項を記入し完成させる 90分
	4	乳児保育の「ねらい及び内容」 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートに必要事項を記入し完成させる 90分
	5	【オンデマンド型(遠隔)】乳児の体の発達 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートに必要事項を記入し完成させる 90分
	6	乳児の心の発達 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートに必要事項を記入し完成させる 90分
	7	【オンデマンド型(遠隔)】保育所等における乳児保育 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートに必要事項を記入し完成させる 90分
	8	乳児院等における乳児保育 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートに必要事項を記入し完成させる 90分
	9	保育の計画 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートに必要事項を記入し完成させる 90分
	10	保護者との連携 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートに必要事項を記入し完成させる 90分
	11	【オンデマンド型(遠隔)】保育における衛生管理 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートに必要事項を記入し完成させる 90分
	12	乳児保育実践の基礎知識①(だっこ、おむつ替え等) 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートに必要事項を記入し完成させる 90分
	13	乳児保育実践の基礎知識②(授乳、離乳等) 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートに必要事項を記入し完成させる 90分
	14	乳児保育実践の基礎知識③(安全管理) 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートに必要事項を記入し完成させる 90分
	15	【オンデマンド型(遠隔)】地域や関係機関との連携 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートに必要事項を記入し完成させる 90分
定期試験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授 業 科 目 名	乳児保育Ⅱ			教員名	山田 真由美		
配 当 年 次	2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔乳児保育Ⅱ〕				ナンバリング	2D413	
授業内容を示すキーワード	学びの芽生え 受容的・応答的関わり 子どもの主体性 具体的実践						
授業の概要	「乳児保育Ⅰ」を基礎に、さらに実践的な知識と技術を身につけることを目指します。学びを通して「乳児保育に大切なことは何か」を深めていきます。保育技術の手順や実例を授業に多く取り入れ、保育の場で実践できるようにします。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 乳児保育(3歳未満児)の重要性を認識するとともに、具体的援助や関わりを習得し、専門性を高める。 【到達目標】 (1) 3歳未満児の発達・特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解する。 (2) 養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の生活や遊び、保育の方法や環境について具体的に理解する。 (3) 乳児保育における計画の作成について、基本的な考え方を理解する。						
授業の方法等	講義と演習を合わせ、90分12回(合計48時間)の授業を行います。 アクティブラーニングの手法を用いて、グループディスカッション・グループワーク等を行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕70% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 20%						
D Pに掲げる学力の割合	DP1:40% DP2:10% DP3:20% DP4:10% DP5:10% DP6:10% 〔合計100%〕						
教科書	書名「演習で学ぶ乳児保育」(ISBN:978-4907270292) 著者 善本真弓(編著) 小山明子 亀崎美佐子 / 出版社 わかば社						
参考書	適宜、資料を配付します。						
関連科目	乳児保育Ⅰ						
質問受付の方法	適宜、講師控室等で対応します。						
履修上の注意	授業内容を記録し、大切なポイントを把握できるようにしましょう。 試験問題を含め、教科書を使用します。必ず常備し授業に臨みましょう。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	乳児保育の意義・日課 〈予習〉初回のため、なし 〈復習〉意義について自ら説明できるよう考えをまとめる。 90分
	2	乳児保育を支える連携 〈予習〉乳児保育の施設ではどのような人々との連携で運営されているか、調べる。 45分 〈復習〉教科書、記録を読み返し、キーワードを確認する。 45分
	3	食事の援助と環境 〈予習〉実習等での食事場面を振り返り、疑問点や課題を考える。 45分 〈復習〉教科書、記録を読み返し、キーワードを確認する。 45分
	4	排泄の援助と環境 〈予習〉低年齢児のトイレの環境で重要な点は何か。 45分 〈復習〉教科書、記録を読み返し、キーワードを確認する。 45分
	5	睡眠・清潔に関する援助と環境 〈予習〉睡眠や清潔に関する絵本や紙芝居を調べる。 45分 〈復習〉教科書、記録を読み返し、キーワードを確認する。 45分
	6	着脱に関する援助と環境 〈予習〉子ども売り場等で、実際の衣服や靴、帽子などを見ておく。 45分 〈復習〉教科書、記録を読み返し、キーワードを確認する。 45分
	7	乳児保育における健康 〈予習〉健康観察のポイントを調べる。 45分 〈復習〉教科書、記録を読み返し、キーワードを確認する。 45分
	8	乳児保育における安全 〈予習〉社会問題化している事例について考察する。 45分 〈復習〉教科書、記録を読み返し、キーワードを確認する。 45分
	9	乳児(0歳児)の保育内容と遊び 〈予習〉「見て楽しむ」「音を楽しむ」「触って楽しむ」それぞれのおもちゃを考えてみよう。 45分 〈復習〉教科書、記録を読み返し、キーワードを確認する。 45分
	10	1歳以上3歳未満児の保育内容 〈予習〉遊びは5領域が相互に関連していることを踏まえ、一つの遊びについて考察する。 45分 〈復習〉教科書、記録を読み返し、キーワードを確認する。 45分
	11	1歳以上3歳未満児の遊び 〈予習〉具体的に遊びをイメージしてみる。 45分 〈復習〉教科書、記録を読み返し、遊びの工夫や援助についてまとめる。 45分
	12	乳児保育における計画と評価 〈予習〉エピソード記録を想定してみよう。 45分 〈復習〉教科書、記録を読み返し、指導計画作成の手順を確認する。 45分
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授 業 科 目 名	子どもの健康と安全			教 員 名	田中 直代		
配 当 年 次	1	開 講 時 期	後 期	単 位 数	1	授 業 形 態	演 習
卒 業・免 許・資 格 と の 関 係	○保育士資格必修〔子どもの健康と安全〕				ナンバリング	1D414	
授 業 内 容 を 示 す キーワード	保健計画(健康管理、健康教育、環境衛生)、乳幼児身体成長曲線、窒息、むかえそで、暑さ指数、手洗い、危機管理、予防接種						
授 業 の 概 要	「子どもの保健」で学んだ知識や理論をもとに、子どもの健康及び安全を守る保健活動を学びます。新生児の身体測定、身体成長曲線による発育・発達の評価を理解します。子どもの生活習慣、発達援助と保健活動の意義を理解し、養護と教育の一体化した技術を修得します。						
授 業 の ね ら い と 到 達 目 標	【ねらい】 乳幼児期の心身の健康状態は、その後の人生の健康や生活の基礎となります。子どもの健康及び安全を守る保健活動は、保健計画(健康管理、健康教育、環境衛生)で日々の保育が展開されています。保健活動が計画的に全職員が参画し、周知されることで、感染症、事故、災害などの危機状況に対応していくことを理解するために学びます。 【到達目標】 (1)保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解する。 (2)関連するガイドラインや近年のデータに関心を持ち、保育における衛生管理・事故防止及び、安全対策・危機管理・災害対策、について具体的に理解する。 (3)健康及び安全にかかわる保健活動の計画・実施・評価を行う。 (4)個の健康と集団の保健の視野に立った対応や予測した保育を行う。 (5)保育が養護と教育を一体化すると、一人一人の子どもと応答的な触れ合いや言葉がけを楽しめることを理解する。						
授 業 の 方 法 等	・90分12回(合計48時間)の授業を行います。 ・授業は講義と演習をセットに進め、講義はパワーポイントのスライドと配付プリントによる講義形式、演習(内容、手順、実施、評価)はグループワークにて必ず各自が体験し、技術を身につけます。 ・演習は自己評価、他己評価を行います。 ・授業の最後にグループディスカッションを行います。						
成 績 評 価 の 基 準 と 方 法	■定期試験〔筆記〕70% ■授業への取り組み・態度〔ファイルノート点検〕10% ■提出物〔レポート〕20%						
D P に 掲 げ る 学 力 の 割 合	DP1:40% DP2:10% DP3:20% DP4:10% DP5:10% DP6:10% 〔合計100%〕						
教 科 書	「子どもの健康と安全」(ISBN:978-4903355818) 中根淳子/佐藤直子編著 ななみ書房						
参 考 書	「保育所における感染症対策ガイドライン」「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」「保育所における食事の提供ガイドライン」「教育、保育施設などにおける事故防止および事故発生時の対応のためのガイドライン」						
関 連 科 目	子どもの保健 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ 乳児小児救命法 保育内容健康						
質 問 受 付 の 方 法	授業中、授業前後で随時受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	保育士資格必修科目なので遅刻・早退・欠席をしないでください。演習は動きやすい服装で受講します。「子どもの保健」を復習して授業に臨みます。配付資料は授業中に書き込みをし、A4版2穴ファイルに整理と保存します。後日、提出と点検があります。色鉛筆を使うので用意しておきます。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	オリエンテーション、保健的視点を踏まえた保育環境及び援助
	1 <予習>初回のため、なし <復習>第1章を読む。「保健計画、保健だより」に目を通す。45分
	2 保育における健康及び安全の管理(1)衛生管理 <予習>第2章1「屋内施設の衛生管理、屋外施設の衛生管理」を読む。45分 <復習>配付したプリントを見返す。45分
	3 保育における健康及び安全の管理(2)事故防止及び安全対策 <予習>第2章2「保育中の事故」を読む。45分 <復習>配付したプリントを見返す。45分
	4 保育における健康及び安全の管理(3)危機管理・災害への備え <予習>第2章3.4「危機管理の意味と目的、災害への備え」を読む。45分 <復習>配付したプリントを見返す。45分
	5 子どもの体調不良に対する適切な対応(1)子どもに起こりやすい体調不良とケア <予習>第3章1.2「発熱」を読む。45分 <復習>配付したプリントを見返す。45分
	6 子どもの体調不良に対する適切な対応(2)子どもに起きやすい事故の応急処置 <予習>第3章3「ショック、頭部打撲、熱傷、熱中症」を読む。45分 <復習>配付したプリントを見返す。45分
	7 子どもの体調不良に対する適切な対応(3)応急処置 <予習>第3章3「異物の誤飲」を読む。45分 <復習>配付したプリントを見返す。45分
	8 感染症対策(1)感染症の集団発生の予防 <予習>第4章1「感染症予防の基本」を読む。45分 <復習>配付したプリントを見返す。45分
	9 感染症対策(2)感染症発症時と罹患後の対応 <予習>第4章2.3「感染症発症時と罹患後の対応」を読む。45分 <復習>配付したプリントを見返す。45分
	10 保育における保健的対応(1)歯みがき <予習>第3章3「歯に強い保育士になろう」を読む。45分 <復習>配付したプリントを見返す。45分
	11 保育における保健的対応(2)個別的な配慮を有する子どもへの対応 てんかん、アレルギー性疾患 <予習>第5章3「てんかん、食物アレルギー」を読む。45分 <復習>配付したプリントを見返す。45分
12 健康及び安全の管理の実施体制 / まとめ <予習>第6章1.2「保育における保健活動の計画及び評価」を読む。45分 <復習>定期試験対策資料を作成する。90分	
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分

授業科目名	インクルーシブ教育・保育Ⅱ			教員名	宇田川 和久		
配当年次	2	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔障害児保育〕				ナンバリング	2D415	
授業内容を示すキーワード	障害、知的障害、発達障害、インクルージョン、特別支援教育、医療・福祉、連携、個別の教育支援計画						
授業の概要	障害とは何か、障害のある子どもにとって保育はどのような意味を持つのか、障害に応じた適切な支援の方法はどうか、障害のある子どもの保育を進めるために関係機関とどのように連携していく必要があるのかなどについて学びます。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】 障害のある子どもや特別な支援を必要とする子どもの保育を進める上で必要な基本的な知識を習得することを目的とします。</p> <p>【到達目標】 (1)障害児保育を支える理念や歴史の変遷について学び、障害児及びその保育について理解する。 (2)個々の障害特性や心身の発達に応じた援助の仕方、合理的配慮などについて理解する。 (3)障害のある子どもや特別な配慮を要する子どもの保育における計画の作成や援助の具体的な方法について理解する。 (4)障害のある子どもや特別な配慮を要する子どもの家庭に対する支援や関係機関との連携・協働について理解する。 (5)障害のある子どもや特別な配慮を要する子どもの保育に関する現状と課題について理解する。</p>						
授業の方法等	講義・演習・障害幼児に関するビデオ視聴等を織り交ぜながら、障害児の保育の現状や支援の在り方について理解を図るようにします。また、主体的な学びを進めるため、チームディスカッションやグループワーク等アクティブラーニングの視点を取り入れ授業を進めます。さらに、ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業及び自主学習支援を行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 30% ■提出物 10% ■その他〔小テスト〕10%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:40% DP2:10% DP3:20% DP4:10% DP5:10% DP6:10% 〔合計100%〕						
教科書	「障害児保育ワークブック(インクルーシブ保育・教育を目指して)」〔ISBN:978-4893474094〕 星山麻木編著 萌文書林						
参考書	文部科学省ホームページ 国立特別支援教育総合研究所ホームページ						
関連科目	インクルーシブ教育・保育Ⅰ						
質問受付の方法	適宜研究室等で対応します。						
履修上の注意	講義等の記録、配付した印刷物はA4版2穴ファイルに学習ノートとして整理、保存すること。						

授業計画 と 時間外学習	1	「障害」の概念と障害児保育 〈予習〉Lesson1を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	2	発達を理解する 〈予習〉Lesson2を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	3	発達の違いを理解する 〈予習〉Lesson3を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	4	【オンデマンド型①(遠隔)授業】改めて、障害の特性を理解する①(知的障害及び肢体不自由) 〈予習〉Lesson4を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	5	【オンデマンド型②(遠隔)授業】改めて、障害の特性を理解する②(視覚障害及び聴覚障害、病弱等) 〈予習〉Lesson4を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	6	改めて、障害の特性を理解する③(自閉症) 〈予習〉Lesson5を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	7	改めて、障害の特性を理解する④(LD、ADHD) 〈予習〉Lesson5を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	8	支援方法を理解する①(心の支援) 〈予習〉Lesson6を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。事例研究に取り組む。90分
	9	支援方法を理解する②(発達論による支援) 〈予習〉Lesson7を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。事例研究に取り組む。90分
	10	支援方法を理解する③(行動への支援) 〈予習〉Lesson8を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。事例研究に取り組む。90分
	11	支援方法を理解する④(環境調整による支援) 〈予習〉Lesson9を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。事例研究に取り組む。90分
	12	支援方法を理解する⑤(人の連携による支援) まとめ 〈予習〉Lesson10,11,13を読んでくる。90分 〈復習〉事例研究に取り組む。学習したことをまとめる。90分
	13	【オンデマンド型③(遠隔)授業】本人・家族への支援 〈予習〉支援方法を理解する⑤の内容について振り返る。90分 〈復習〉事例分析の整理 90分
	14	【オンデマンド型④(遠隔)授業】関係機関との連携 〈予習〉Lesson12を読んでくる。90分 〈復習〉事例分析の整理 90分
	15	【オンデマンド型⑤(遠隔)授業】就学支援 〈予習〉Lesson14を読んでくる。90分 〈復習〉事例分析の整理 90分
定期試験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授 業 科 目 名	社会的養護Ⅱ			教 員 名	巢立 佳宏		
配 当 年 次	2	開 講 時 期	前 期	単 位 数	1	授 業 形 態	演 習
卒 業 ・ 免 許 ・ 資 格 と の 関 係	○保育士資格必修〔社会的養護Ⅱ〕				ナンバリング	2D416	
授 業 内 容 を 示 す キ ー ワ ー ド	社会的養護、家庭養護、施設養護、子どもの人権、虐待、里親、権利擁護、個別支援計画						
授 業 の 概 要	児童福祉施設の概要等について振り返りを行うとともに、児童福祉施設を利用している子どもたちの生活の様子や心情を理解するため、援助者として必要な知識や心構えを身につけます。また、児童観や施設養護観などを養うことにより、利用者が安心して生活が送れるように、生活プログラムの作成や事例研究などを通して、望ましい援助の在り方などを学習します。						
授 業 の ね ら い と 到 達 目 標	【ねらい】 児童福祉施設等の利用者に対し、保育士として望ましい支援や援助ができるように、支援者として必要な知識や心構えを習得します。 【到達目標】 (1)社会的養護における児童の権利擁護や保育士に求められる資質について理解する。 (2)施設養護等の社会的養護の実際について理解する。 (3)個別支援計画の作成と具体的な支援内容について理解する。 (4)社会的養護に関わるソーシャルワークの方法や技術について理解する。 (5)児童家庭福祉、地域福祉等について理解する。						
授 業 の 方 法 等	90分12回(合計48時間)の授業を行います。 演習科目であることから、事例に関わるグループ討議や報告発表等を可能な限り行い、アクティブラーニングの手法を取り入れ学生が主体的に参加する授業を行います。 また、ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業及び自主学習支援を行います。						
成 績 評 価 の 基 準 と 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ■定期試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 20% ■その他〔小テスト〕10% 						
D P に 掲 げ る 学 力 の 割 合	DP1:40% DP2:10% DP3:20% DP4:10% DP5:10% DP6:10% 〔合計100%〕						
教 科 書	「社会的養護Ⅱ(新・基本保育シリーズ®)」第2版〔ISBN:978-4824303363〕 相沢仁、大竹智編 中央法規						
参 考 書	「ひと目でわかる保育者のための子ども家庭福祉データブック 2023」一般社団法人全国保育士養成協議会 宮島清・山懸文治(編) 中央法規						
関 連 科 目	子ども家庭福祉、社会的養護Ⅰ、施設実習Ⅰ、施設実習Ⅱ						
質 問 受 付 の 方 法	適宜研究室等に対応します。						
履 修 上 の 注 意	グループ討議や講義等の記録、配付した印刷物等は、A4ファイルに学習ノートとして整理すること。 ICTの活用として、EduNaviを使用するので、スマートフォンを持参してください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	子どもの権利擁護 〈予習〉子どもの権利擁護に関する報道や虐待などの情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分
	2	社会的養護における子どもの理解 〈予習〉児童福祉施設等にかかわる報道や虐待など社会的養護に関する情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分
	3	施設養護(乳児院、児童養護施設、母子生活支援施設)の特性及び実際① 〈予習〉提出課題の調査など社会的養護に関する情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分
	4	施設養護(児童心理治療施設、障害児施設など)の特性及び実際② 〈予習〉提出課題の調査など社会的養護に関する情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分
	5	家庭養護(里親制度、ファミリーホーム事業等)の特性及び実際 〈予習〉虐待など社会的養護に関する情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分
	6	社会的養護におけるケアマネジメント 〈予習〉社会的養護に関する情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分
	7	アセスメントと個別支援計画の作成 〈予習〉自立支援計画に関する情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分
	8	事例分析(日常生活支援、心理的支援) 〈予習〉提出課題の調査をする。45分 〈復習〉事例分析の整理をする。またはグループワークやロールプレイなど。45分
	9	事例分析(自立支援)と記録の意義 〈予習〉提出課題の調査をする。45分 〈復習〉事例分析の整理をする。またはグループワークやロールプレイなど。45分
	10	社会的養護における保育士の専門性 〈予習〉社会的養護における保育士の役割について情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分
	11	社会的養護におけるソーシャルワーク 〈予習〉社会的養護全般の情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分
	12	今後の社会的養護の課題と展望 〈予習〉提出課題の調査をする。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分
定 期 試 験	<ul style="list-style-type: none"> ◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分 	

授業科目名	保育・教育相談の理論と方法			教員名	室井 佑美/原田 友毛子		
配当年次	2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修[子育て支援] ○幼稚園教諭2種免許状必修[道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目/教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む)の理論及び方法の科目]			ナンバリング	2D417		
授業内容を示すキーワード	乳幼児、教育相談、カウンセリングマインド、カウンセリング、教育的課題、連携・協働 保護者、子育て家庭、コミュニケーション、援助の展開、社会資源						
授業の概要	学校における教育相談の基本となる考え方を学びます。幼児期、児童期の発達を視点に持ち、個々の心理的特質や教育的課題を、より幅広く、深く捉えることを目指します。特に、幼児期における自己理解、望ましい人間関係の構築、集団の中で適応する生活力を育めるよう支援するための、基礎的知識(意義、理論、技法)を身に付けます。 加えて、現代社会の中で求められる子育て支援の技術や技能を習得するために、子育て支援の特性や支援過程と実際を学びます。さらに、保育者を目指す上で自己理解を深め、他者理解に対する洞察力を養い、その上で具体的事例を用いながら連携・協働する力を身に付けます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 教育相談における教育活動の基盤となる、幼児期・児童期の発達に即した理論及び心理学理論に基づき、実際の教育的課題への対応に向けた基礎的知識と技能を身に付けます。 子どもの健やかな育ちを支えるため、保育者として子ども、家庭、社会等に対する実態を理解します。そして、保育者として援助可能な環境の相互作用に介入し、さまざまな支援ニーズのある子どもと保護者、地域の子育て家庭への援助が展開できるよう、知識と技術を習得します。 【到達目標】 (1)学校における教育相談の意義と理論を理解し、概説できる。 (2)教育相談を進める際に必要なカウンセリングに必要な基礎的知識を理解し、カウンセリング技法を活用できる。 (3)教育相談の展開過程を理解し、留意点や配慮点を説明でき、連携や協働の必要性を教育的課題から理解できる。 (4)保育の専門性を背景とした子育てに関する相談に対する課題を整理し、多様な支援を導き出す具体的な助言、情報提供、行動見本の提示等について、その特性と展開を具体的に理解する。 (5)専門職としての職業倫理を踏まえて他者および自己理解を深め、配慮した態度と言動を意識することができる。 (6)保育者の行う子育て支援について、実践事例を通して具体的な場や対象に即した支援の内容と方法および技術を検討することができる。						
授業の方法等	90分12回(合計48時間)の授業を2人の教員が所定の授業回について講義を行います。各々の理論を教育者/保育者の観点で演習等も行います。 視聴覚教材を活用しながら、事例検討も交えたアクティブラーニングの手法を取り入れ、【ディスカッション・ディベート/グループワーク/ロールプレイ】を授業内で行います。 一部、ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業を行う可能性があります。						
成績評価の基準と方法	■定期試験[筆記]50% ■授業への取り組み・態度20% ■提出物10% ■その他[レポート]20%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:30% DP2:20% DP3:20% DP4:20% DP5:0% DP6:10% [合計100%]						
教科書	「教育相談の理論と方法-コアカリキュラム対応-」(ISBN:978-4779307898)/会沢信彦著/北樹出版						
参考書	「子育て支援-子どもが育つをともに支える-」/原信夫・松倉佳子・佐藤ちひろ他著/北樹出版 その他、授業中に適宜紹介、資料を配付します。						
関連科目	保育の心理学、子ども家庭支援の心理学、子どもの理解と援助、子ども家庭福祉、子ども家庭支援論						
質問受付の方法	(原田)授業終了直後、または講師控室にて対応します。 (室井)適宜、研究室で受け付けます。						
履修上の注意	配付した資料は丁寧に整理、保存してください。 節度ある態度、礼節を守るなど自律した振る舞いをしてください。 授業の実施場所、準備物、服装等については、事前の指示をよく聞いてください。 学習の積み重ねを重視するため、やむを得ず授業を欠席する場合は、翌日以降に担当教員へ資料、課題の把握、授業内容の確認などして、能動的に行動してください。						

授業計画 と 時間外学習	1	学校における教育相談の意義と課題 教育相談に関わる心理学の基礎的な理論(精神分析理論・自己理論・行動理論)[担当:原田] 〈予習〉シラバスを熟読する。45分 〈復習〉教育相談の全体構造について整理、精神分析理論・自己理論・行動理論について教科書を確認、検索して調べる。45分
	2	カウンセリングの基本技法 國分康孝のコーヒーカップ方式・カウンセリングマインドについて[担当:原田] 〈予習〉教科書を確認、検索して調べる。(カウンセリングの基本技法)45分 〈復習〉本時のねらいの整理、カウンセリングの演習で得た気づきをノートにまとめる。45分
	3	幼児期・児童期の発達課題と教育相談 幼児期から児童期への関連[担当:原田] 〈予習〉エリクソンの発達課題から幼児期・児童期に身に付けるべきこと等について教科書を読み込む45分 〈復習〉授業で得た発達課題についての知見をノートにまとめる。45分
	4	不登園・虐待・いじめ・不登校・非行等の課題に対する発達段階や発達課題の背景と教育相談の進め方[担当:原田] 〈予習〉自身の体験と照らし合わせながら教科書を熟読し、基本的な対処の仕方を調べる。45分 〈復習〉問題行動に対する相談場面でのロールプレイについて感想をまとめる。45分
	5	保護者支援と教育相談[担当:原田] 〈予習〉保護者支援として現場でどのようなことが課題とされているか教育相談の実事例を資料から読み込む。45分 〈復習〉保護者支援・保護者対応について得た知見をノートに整理する。45分
	6	学級担任が行う教育相談 教育相談のまとめ[担当:原田] 〈予習〉教科書や配付された資料を再度読み込む。45分 〈復習〉教育相談についての知識をどの程度理解できたかノートを整理する。45分
	7	保育士が行う子育て支援の特性、保護者への支援ニーズと多面的な理解、信頼関係の形成[担当:室井] 〈予習〉シラバスを熟読する。30分 〈復習〉保護者から子育てに対する苦労や悩みをインタビューして調べておく。60分
	8	保育士としての自己覚知・他者理解[担当:室井] 〈予習〉事前に配付された自己理解のワークを行う45分 〈復習〉自己理解のワークを振り返り、気づいたことをまとめる。45分
	9	保育所等及び地域の子育て家庭への子育て支援の実践[担当:室井] 〈予習〉配布資料を読んで、子育て支援の実際を知る。45分 〈復習〉授業の学びから、連絡帳の保育者記録部分を書く。45分
	10	多様なニーズに対する子育て支援の実際(障がい/特別な配慮を要する/その他支援ニーズを抱える子どもやその家庭)[担当:室井] 〈予習〉配布資料を読んで、面接技法を知る。45分 〈復習〉授業の学びから、面談場面の保育者の言語的コミュニケーションを考える。45分
	11	地域における子育て支援施設への見学、地域の社会資源の探索[担当:室井] 〈予習〉見学する子育て支援施設をホームページ等で確認する。30分 〈復習〉見学した子育て支援施設、探索した社会資源について振り返り、レポートを作成する。60分
	12	保育所等における職員間の連携・協働、社会資源の活用と自治体・関係機関や専門職との連携・協働/子育て支援のまとめ[担当:室井] 〈予習〉配布資料を読んで、面接技法を知る。45分 〈復習〉授業の学びから、面談場面の保育者の非言語的コミュニケーションを考える。45分
定期試験	◆定期試験[筆記(原田)60分][レポート(室井)] ◆振り返り・フィードバック[定期試験の解説を行う(原田)30分][添削して後日返却する(室井)]	

授 業 科 目 名	保育内容健康の指導法			教員名	伊藤 えつ子 / 杉山 直樹		
配 当 年 次	1	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔領域及び保育内容の指導法に関する科目/保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む）〕				ナンバリング	1D418	
授業内容を示すキーワード	子どもと健康 子ども生活リズム 環境と関わる 遊びを通した総合的な指導						
授業の概要	乳幼児の健康に関する現状や課題を踏まえた上で、領域「健康」のねらいおよび内容について背景となる専門的知識と関連させて理解する。保育内容の各領域を総合的に捉え、保育の構想、計画、指導、実践、省察する力を習得する。また実践的な模擬保育を行ない、子どもの「生きる力」を育む意義と「健康で安全な生活をつくり出す力」について主体的に考える。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 領域「健康」における指導法の実践を学び、自らの保育実践への具体的な計画、実践、評価を専門的に構想する力を身に付ける。 【到達目標】 (1) 幼児教育および乳児保育の基本を踏まえ、領域「健康」のねらいおよび内容を理解し、概説することができる。 (2) 乳幼児期の発達や学びの過程を理解し、「健康」にかかわる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身に付けることができる。 (3) 健康に関する素材や教材についての特性を理解し、主体的に活用することができる。 (4) 模擬保育を通し、健康の指導法について実践的に理解することができる。						
授業の方法等	90分12回(合計48時間)の授業を2名の教員でオムニバス形式で行う。 演習と講義を併用して行う。アクティブラーニングの手法を取り入れ、ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーション等を取り入れながら行う。 「健康」に関する保育内容の模擬保育を実践するに当たっては、指導案を作成し、ロールプレイを行い、振り返る。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔レポート〕40% ■授業への取り組み・態度 30% ■提出物 30%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:40% DP2:10% DP3:20% DP4:10% DP5:10% DP6:10% 〔合計100%〕						
教科書	○「保育内容・領域 健康指導法（実践例から学びを深める）」(ISBN:978-4907270377)/清水将之 他/わかば社 ○「保育所保育指針解説」(ISBN:978-4577814482)/厚生労働省(編集)/フレーベル館 ○「幼稚園教育要領解説」(ISBN:978-4577814475)/文部科学省(編集)/フレーベル館 ○「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(ISBN:978-4577814499) /内閣府・文部科学省・厚生労働省/フレーベル館						
参考書	○適宜紹介、資料を配付する。						
関連科目	保育内容(健康・人間関係・環境・言葉・表現) 保育内容(人間関係・環境・言葉・表現)の指導法 保育内容総論						
質問受付の方法	授業内、教員研究室/講師控室などで受け付ける。						
履修上の注意	毎回、配付した資料は丁寧に整理、保存する。 授業の実施場所、準備物、服装等については、事前の指示をよく聞いて確認する。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	オリエンテーション、子どもと健康について(グループワーク)[担当:伊藤] 〈予習〉教科書のPart1第1章、第2章を読む 45分 〈復習〉第1回で配付した資料を読む、ワークシートの記入 45分
	2	保育内容領域:健康の理解と乳児保育の3つの視点[担当:伊藤] 〈予習〉教科書のPart1第3章を読む 45分 〈復習〉第2回で配付した資料を読む、ワークシートの記入 45分
	3	保育の課程と子ども理解について(グループディスカッション)[担当:伊藤] 〈予習〉教科書のPart1第4章1、2とPart3第1章、第2章、第3章を読む 45分 〈復習〉第3回で配付した資料を読む、ワークシートの記入 45分
	4	指導計画の作成について[担当:伊藤] 〈予習〉教科書のPart1第4章3、4、5、6、7を読む 45分 〈復習〉第4回で配付した資料を読む、ワークシートの記入 45分
	5	大人との関わりの実践について学ぶ(乳児の実践から)[担当:杉山] 〈予習〉教科書Part2第1章を読む 45分 〈復習〉第5回で配付した資料を読む、ワークシートの記入 45分
	6	身体との関わりの実践について学ぶ(五感をふまえて)[担当:杉山] 〈予習〉教科書のPart2第2章を読む 45分 〈復習〉第6回で配付した資料を読む、ワークシートの記入 45分
	7	基本的な生活習慣を身に付ける実践について学ぶ[担当:杉山] 〈予習〉教科書Part2第3章を読む 45分 〈復習〉第7回で配付した資料を読む、ワークシートの記入 45分
	8	様々な遊びの実践について学ぶ[担当:杉山] 〈予習〉教科書Part2第4章を読む 45分 〈復習〉第8回で配付した資料を読む、ワークシートの記入 45分
	9	環境と関わりながら遊ぶ実践について学ぶ(食事・安全を含む)[担当:伊藤] 〈予習〉教科書Part2第5章、第6章、第7章を読む 45分 〈復習〉模擬保育で取り上げる内容を考える、ワークシートの記入 45分
	10	子どもの健康を育む保育の実践計画①((模擬保育準備・グループ決めと打ち合わせ等)[担当:伊藤] 〈予習〉指導案作成に関する資料を読む 45分 〈復習〉第10回で配付した資料を読み、指導案作成へのイメージをもつ 45分
	11	子どもの健康を育む保育の実践計画②(グループごとのプレゼンテーション)[担当:伊藤] 〈予習〉指導案をプレゼンテーションできるように整理する 45分 〈復習〉作成した指導案を覚えてロールプレイに備えたり、役割分担を果たせるようにイメージする 45分
	12	子どもの健康を育む保育の実践計画③(模擬保育と振り返りのディスカッション)[担当:伊藤] 〈予習〉他者の作成した指導案を読み、改善点を考える 30分 〈復習〉自己や他者の模擬保育を振り返り評価する、ワークシートの記入 60分
定期試験	◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック〔成績等返却時にコメントを入れて返却〕	

授業科目名	保育内容人間関係の指導法			教員名	室井 佑美		
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔領域および保育内容の指導法に関する科目/保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)〕				ナンバリング	1D419	
授業内容を示すキーワード	保育内容 領域 人間関係 就学前教育 乳幼児の人と関わる力の発達 保育の過程 ICT						
授業の概要	保育内容人間関係で習得した専門的知識・技術を基本として、領域人間関係の「ねらい及び内容」の実践的理解を深めます。その上で、乳幼児期の発達段階や子どもの興味・関心に即した保育の構想を検討するための過程、指導するための方法を学びます。その上で、具体的な保育場面を想定した計画を立案、実施、評価、反省を通して保育展開における構想、指導法を修得します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 領域人間関係における「ねらい及び内容」について理解し、自らの保育実践への具体的な計画、実践、評価、改善(再計画)を構想する力を身に付けること、専門的知識・技術を活かした指導方法の実際を学びます。 【到達目標】 (1) 保育の基本的構造と五領域との関連を踏まえて、領域人間関係の「ねらい及び内容」を理解し、概説できる。 (2) 乳幼児期の発達段階や子どもの興味・関心に即して、保育を構想する必要性を実践を通して体感できる。 (3) 指導計画の構造を理解し、「人間関係」に関わる具体的な保育場面を想定した指導案の作成、実施、振り返り・評価を通して、保育を構想する方法を理解し、活用しようとする。						
授業の方法等	演習を中心とした授業を90分12回(合計48時間)行います。 自分の考えを持ち、意見をまとめることを多く行います。一部、視聴覚教材を活用します。また、アクティブラーニングの手法を取り入れ、【グループワーク/模擬保育/フィールドワーク】を多岐に渡り取り入れて行います。 ICT機器を活用した双方向型の授業を行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔レポート〕15% ■授業への取り組み・態度及び授業内成果 60% ■提出物 30%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:20% DP2:20% DP3:20% DP4:20% DP5:10% DP6:10% 〔合計100%〕						
教科書	○「〈領域〉人間関係ワークブック」(ISBN: 978-4893472625)/田村美由紀・室井佑美著/萌文書林 ○「保育所保育指針解説」(ISBN: 978-4577814482)/厚生労働省(編集)/フレーベル館 ○「幼稚園教育要領解説」(ISBN: 978-4577814475)/文部科学省(編集)/フレーベル館 ○「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(ISBN: 978-4577814499)/内閣府・文部科学省・厚生労働省/フレーベル館						
参考書	○適宜資料を配付します。						
関連科目	保育内容(健康・人間関係・環境・言葉・表現) 保育内容(健康・環境・言葉・表現)の指導法 保育内容総論						
質問受付の方法	適宜、授業内、教員の研究室などで受け付けます。						
履修上の注意	授業の実施場所、準備物、服装等については、事前の指示をよく聞いてください。 毎回、授業内容は配付プリント又はテキストに書き込み、貼付します。なお、前期「保育内容人間関係」のテキストをそのまま後期も使用します。 学習の積み重ねを重視するため、やむを得ず授業を欠席する場合は、EduNavilにて資料、課題の把握、授業内容の確認などして、能動的に行動してください。						

授業計画 と 時間外学習	オリエンテーション、保育内容「人間関係」のねらい及び内容に関する指導上の留意点
	1 〈予習〉初回のため、なし 〈復習〉幼稚園教育要領第2章人間関係〔内容の取扱い〕を読む。ルールのある遊び例を探す。90分
	2 指導計画の構造を作成方法～保育の構想の基本:ルールのある遊び①～ 〈予習〉テキスト第13・14・15章【指導計画作成のポイント】を読み、まとめる。45分 〈復習〉「ルールのある遊び」の遊び方/順を追った理解の工夫を考える。45分
	3 指導計画の作成と保育の展開方法～保育の構想の基本:ルールのある遊び②～ 〈予習〉配布された「ルールのある遊び」指導案を熟読する。30分 〈復習〉テキスト第13章のワークを行う。ルールのある遊びの指導案を作成する。60分
	4 模擬保育と幼児理解に基づいた評価～保育の構想の基本:ルールのある遊び③～ 〈予習〉作成した「ルールのある遊び」の指導案を実践できるよう準備する。45分 〈復習〉撮影した動画を視聴して、話し方や振る舞いの癖、子ども役の反応を確認し、グループで評価をまとめる。ルールのある遊びへの指導案を修正して完成させる。45分
	5 保育の構想と実践(1・2歳児)①～身近な生活素材を利用した活動(教材研究・模擬保育と評価)～ 〈予習〉身近な生活素材を探す。1・2歳児も取り組める身体の動きをまとめる。30分 〈復習〉子どもの実態に即した身近な自然素材を活用した活動の指導案を作成する。60分
	6 ごっこ遊びを活用した協同性を育む活動(4・5歳児)①～教材研究と保育の構想、指導計画の立案～ 〈予習〉作成したマインドマップを生かして、活動の展開を考え、活動の構想及び教材見本をプレゼンテーションできるようにする。30分 〈復習〉子どもの実態に即したごっこ遊び活動の構想を練る、取り扱う教材で見本を作る。60分
	7 ごっこ遊びを活用した協同性を育む活動(4・5歳児)②～指導計画の立案と準備～ 〈予習〉指導案の立案と模擬保育に向けた準備をする。30分 〈復習〉子どもの実態に即したごっこ遊び活動の指導案を完成させ、役になりきる練習をする。60分
	8 ごっこ遊びを活用した協同性を育む活動(4・5歳児)③～模擬保育～ 〈予習〉模擬保育に向けた事前準備を行う。30分 〈復習〉模擬保育実践後の評価と振り返りを行う。60分
	9 ごっこ遊びを活用した協同性を育む活動(4・5歳児)④～振り返り・評価/改善(計画改善と環境の再構成)～ 〈予習〉模擬保育実践後の評価をまとめ、改善点と展開方法を考える。60分 〈復習〉ごっこ遊び活動の評価・振り返りから、子どもが育つものをまとめる。30分
	10 社会生活との関わりを育む活動と保育記録①～園外保育に対して必要な計画と保育活動～ 〈予習〉保育現場での園外保育の実際を調べてまとめる。30分 〈復習〉実地踏査に向けた必要な準備及び確認事項をまとめる。60分
	11 社会生活との関わりを育む活動と保育記録②～園外保育の実地踏査～ 〈予習〉園外保育先のマップを調べ、チェック項目をまとめておく。30分 〈復習〉実地踏査での静止画・動画を編集しておく。60分
12 社会生活との関わりを育む活動と保育記録③～発表～/保育内容人間関係の指導法のまとめ 〈予習〉実地踏査での学びを発表できるよう準備する。45分 〈復習〉保育内容人間関係の指導法の授業を通して、保育者が子どもに保育内容人間関係を指導していくために、どのような方法でどのような意識で関わる必要があるか考えて述べる。45分	
定期試験	◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック〔添削をして後日返却する〕

授業科目名	保育内容環境の指導法			教員名	高後 仁		
配当年次	2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔領域及び保育内容の指導法に関する科目 保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)〕				ナンバリング	2D420	
授業内容を示すキーワード	幼保小の連携 スタートカリキュラム 野菜栽培 カルタあそび 自然とあそぶ エコグッズの制作 エコクッキング						
授業の概要	子どもの身近な環境との関わりとして、グループワークやディベートを通して野菜栽培や伝統的な遊び、自然と直接遊んだり、制作したりする体験を通して領域「環境」を理解し、小学校との円滑な接続について学ぶ。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 領域「環境」に関わる周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもって関わり、それらを生活に取り入りにていこうとする経験と、小学校以降の教科とのつながりを理解することができる。 【到達目標】 乳幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて、領域「環境」の具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付けることができる。						
授業の方法等	90分12回(合計48時間)の授業を行います。 ファームでのフィールドワーク活動(土づくり、追肥、除草、収穫、収穫祭)やあそびと制作等具体的な体験のほか、VTR・DVD視聴等を通して学びます。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 30%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:10% DP2:10% DP3:20% DP4:10% DP5:40% DP6:10% 〔合計100%〕						
教科書	○「保育所保育指針解説」(ISBN:978-4577814482)/厚生労働省(編集)/フレーベル館 ○「幼稚園教育要領解説」(ISBN:978-4577814475)/文部科学省(編集)/フレーベル館 ○「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(ISBN:978-4577814499) /内閣府・文部科学省・厚生労働省/フレーベル館						
参考書	○啓林館「生活」教科書 野ロー夫 共著 ○「保育内容 環境」 神長美津子他 編著 ○「生活科指導ビデオ」 野ロー夫他 製作 ○「環境・エコへの道標」 野ロー夫 著						
関連科目	保育内容(健康・人間関係・環境・言葉・表現) 保育内容(健康・人間関係・言葉・表現)の指導法 保育内容総論						
質問受付の方法	担当教員 随時						
履修上の注意	レポートは毎回提出します。レポート等の資料を整理・保存する「A4版ファイル」を用意してください。 ファームで活動ができる服装(ジャージ、スニーカー等) 色鉛筆を準備してください。						

授業計画 と 時間外学習	1	幼稚園教育の基本と小学校との接続・連携 ～生活科との関わり～ 遊びも学習 〈予習〉「生活科」とはなにか調べる 45分 〈復習〉接続と連携の重要性を整理する 45分
	2	アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムと領域「環境」 〈予習〉アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムを調べる 45分 〈復習〉学習内容を整理する 45分
	3	草花とあそぶ ネイチャーゲームを楽しむ ハルジオン・ヒメジョオン 〈予習〉ネイチャーゲームとは何か調べる 45分 折り紙(花) 〈復習〉学習内容を整理する 45分
	4	みんなで育てよう! やさい①種、苗の観察 サツマイモ植え 〈予習〉ナス、ピーマン、シシトウ、ポップコーンについて調べる 45分 〈復習〉種や苗の植え方を体験を通してポイントを整理する 45分
	5	みんなで育てよう! やさい②成長の観察 〈予習〉時々観察することによって新しい発見をする 45分 〈復習〉見る 触る 聞く 嗅ぐ 心で感じる 比べる スケッチ などの観点を整理する 45分
	6	自然とあそぼう ①ササ舟・草笛・紙笛や葉っぱ 〈予習〉クマザサ、紙、葉っぱなどの自然等の自然物に目を向け、遊びを考える 45分 折り紙(舟) 〈復習〉身近な自然とあそぶ楽しさを整理する 45分
	7	自然とあそぼう ②折り紙ヒコーキ・発泡スチロールヒコーキ 〈予習〉簡単に作ってあそべる物を調べる 45分 〈復習〉実習等で幼児にも簡単に作れることを学び、実践しようとする 45分
	8	伝統的なあそび(カルタ等)を制作する エコカルタ 〈予習〉伝統的なあそびを調べる 45分 折り紙 〈復習〉既成の物や自作した物を体験する 45分
	9	伝統的なあそび(カルタ等)で遊び体験する 〈予習〉遊び方を工夫しポイントを整理する 45分 〈復習〉既成の物や自作した物を体験し、ポイントを整理する 45分
	10	環境関連のDVD視聴、エコグッズの制作 〈予習〉エコグッズやエコクッキングについて調べる 45分 〈復習〉エコについての知識を深め、ポイントを整理する 45分
	11	やさいの収穫祭を楽しもう! 〈予習〉食育の意義を調べる 45分 〈復習〉やさいを育てる過程で、命あるものを食することの意義を深め自然の恵みに感謝する 45分
	12	振り返り アンケート 〈予習〉今までの学習の振り返り 45分 〈復習〉総復習 45分
定期試験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授業科目名	保育内容言葉の指導法			教員名	相沢 和恵		
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔領域及び保育内容の指導法に関する科目 / 保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む）〕				ナンバリング	1D421	
授業内容を示すキーワード	乳幼児期 保育所 幼稚園 認定こども園 言葉の指導法 児童文化財 ことば遊び						
授業の概要	乳幼児の言葉や表現に関する現状や課題を踏まえた上で、領域「言葉」のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させながら理解します。保育内容の各領域を総合的に捉え、構想、計画、指導、実践、省察する力を習得します。保育実践力として必要な指導案の立案、教材の選定・吟味、保育技術の修得などを学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 領域「言葉」のねらい及び内容について理解し、生活や遊びの中で乳幼児が身に付けていく内容や育ちを踏まえて、具体的な保育を展開する方法を身に付ける。 指導力を身に付けるための教材研究や模擬保育等を通して、実践力を身に付ける。 【到達目標】 (1)乳幼児の心情、認識、思考や動きを視野に入れ、保育を展開し適切な援助ができる。 (2)乳幼児の言葉や表現に関する豊かな感性を養うための環境の構成と保育の展開について、具体的に計画を立てることができる。 (3)素材や教材の特性を理解し、それらを活用することができる。						
授業の方法等	90分12回(合計48時間)の授業を行います。 アクティブラーニングの手法を用いて、デスクッションやグループワーク等を授業内で行います。 視聴覚教材は、ペープサート等を学生が自作します。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔レポート〕30% ■授業への取り組み・態度(教材作成等の提出物を含む)70%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:40% DP2:10% DP3:20% DP4:10% DP5:10% DP6:10% [合計100%]						
教科書	○「子どもの遊びと児童文化をつなぐ子どもの文化」著書:宮野周[ISBN:978-4909378637]/教育情報出版 ○「保育所保育指針解説」[ISBN:978-4577814482]/厚生労働省(編集)/フレーベル館 ○「幼稚園教育要領解説」[ISBN:978-4577814475]/文部科学省(編集)/フレーベル館 ○「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」[ISBN:978-4577814499]/内閣府・文部科学省・厚生労働省/フレーベル館						
参考書	「感じあう伝えあう ワークで学ぶ児童文化」村中李衣編著 金子書房 「あそびから学びが生まれる動的環境デザイン」大豆生田啓友 学研教育みらい						
関連科目	保育内容(健康・人間関係・環境・言葉・表現) 保育内容(健康・人間関係・環境・表現)の指導法 保育内容総論						
質問受付の方	適宜、授業内、担当教員の研究室等で受け付けます。						
履修上の注意	授業実施場所の変更や準備物、服装などについては、担当教員の指示をよく聞いてください。						

授業計画 と 時間外学習	言葉の指導法とは(オリエンテーション)
	1 〈予習〉初回のため、なし 〈復習〉次回授業該当ページを読んでおく 90分
	2 保育内容「言葉」とは何か 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 45分
	3 あかちゃんからの「言葉」言葉の発達とコミュニケーション 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 45分
	4 遊びの中の豊かな言葉の経験 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 45分
	5 豊かな経験を支える「ことば遊び」 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 45分
	6 子どもの言葉を育む保育の実践1(絵本の読みあい等) 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 45分
	7 子どもの言葉を育む保育の実践2(紙芝居等) 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 45分
	8 子どもの言葉を育む視聴覚教材の実践1(ペープサート等) 〈予習〉教科書「表現の指導法」のはじめにを読む 45分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 45分
	9 子どもの言葉を育む視聴覚教材の実践2(エプロンシアター等) 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 45分
	10 言葉に対する感覚や心を育てる1(昔話・民話等) 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 45分
	11 言葉に対する感覚や心を育てる2(手遊び、わらべ歌等) 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 45分
12 まとめ:子どもの言葉や表現を育み豊かにする保育実践とは/保育内容言葉の指導法に向けて 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 45分	
定期試験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分

授 業 科 目 名	保育内容表現の指導法			教 員 名	福泉 博子 伊藤 えつ子 / 酒井 誠		
配 当 年 次	2	開 講 時 期	前 期	単 位 数	1	授 業 形 態	演 習
卒 業・免 許・資 格 と の 関 係	○保育士資格選択必修 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔領域及び保育内容の指導法に関する科目 / 保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む）〕				ナンバリング	2D422	
授 業 内 容 を 示 す キーワード	表現 乳幼児 教育 保育 感性 創造性 遊び 音楽表現 造形表現 身体表現						
授 業 の 概 要	「保育内容表現」で学んだことを踏まえて、乳幼児の表現に関する現状や課題を見極め、領域「表現」のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解する。保育内容の各領域を総合的にとらえ、構想、計画、指導、実践、省察する力を習得する。						
授 業 の ね ら い と 到 達 目 標	【ねらい】 領域「表現」のねらい及び内容を理解し、乳幼児が生活や遊びの中で身につけていく内容や育ちを踏まえて具体的な方法を展開する方法を学び、自身の感性を磨くことによって、乳幼児の感性や創造性を引き出す構想力、知識、技能、表現力を身につける。 【到達目標】 (1)乳幼児の心情、認識、思考、動きを視野に入れた保育を展開し援助ができる。 (2)豊かな感性を養うための環境構成と保育の展開について具体的に計画を立てることができる。 (3)自身の感性や表現力を磨く。 (4)他者とのコミュニケーションとして表現を楽しむことができる。 (5)基礎的な表現技術や身近な素材を生かした表現活動を構想することができる。						
授 業 の 方 法 等	90分12回(合計48時間)の授業を、教員3名でグループごとに行います。 体験的な学びを中心に演習を行います。 ワークシートを活用し学びの省察・自己評価を行いながら進めます。 視聴覚教材や事例を活用、グループワーク、討論、発表など、アクティブラーニングの手法及びICTを積極的に用います。						
成 績 評 価 の 基 準 と 方 法	■定期試験〔レポート〕30% ■授業への取り組み・態度60% ■提出物(ポートフォリオなどを含む)10%						
D P に 掲 げ る 学 力 の 割 合	DP1:30% DP2:10% DP3:30% DP4:10% DP5:10% DP6:10% 〔合計100%〕						
教 科 書	○「保育所保育指針解説」(ISBN:978-4577814482)/厚生労働省(編集)/フレーベル館 ○「幼稚園教育要領解説」(ISBN:978-4577814475)/文部科学省(編集)/フレーベル館 ○「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(ISBN:978-4577814499) /内閣府・文部科学省・厚生労働省/フレーベル館						
参 考 書	適宜、資料を配付します。						
関 連 科 目	保育内容(健康・人間関係・環境・言葉・表現)、 保育内容の指導法(健康・人間関係・環境・言葉) 保育内容総論、図画工作、音楽Ⅰ・Ⅱ、ピアノⅠ・Ⅱ、幼児体育、ナチュラルアート、ダンスムーブメント						
質 問 受 付 の 方 法	担当教員の研究室などで随時受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	授業実施場所の変更や準備物、服装等については、各担当教員の指示をよく聞いてください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	オリエンテーション 領域「表現—音楽・身体・造形」のねらい及び内容〔担当:福泉/伊藤/酒井〕 〈予習〉シラバスを読み授業概要のイメージを持つ 30分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理 60分
	2	子どもの造形表現を育む環境構成と援助(1) 造形的授業展開の考察①〔担当:酒井〕 〈予習〉シラバスを読み授業概要のイメージを持つ 30分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理 60分
	3	子どもの造形表現を育む環境構成と援助(2) 造形的授業展開の考察②〔担当:酒井〕 〈予習〉シラバスを読み授業概要のイメージを持つ 30分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理 60分
	4	子どもの音楽表現を育む環境構成と援助(1) リズム遊び〔担当:福泉〕 〈予習〉シラバスを読み授業概要のイメージを持つ 30分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理 60分
	5	子どもの音楽表現を育む環境構成と援助(2) 器楽合奏〔担当:福泉〕 〈予習〉シラバスを読み授業概要のイメージを持つ 30分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理 60分
	6	子どもの身体表現を育む環境構成と援助(1) テーマにふさわしい動きの探索と小作品の創作〔担当:伊藤〕 〈予習〉シラバスを読み授業概要のイメージを持つ 30分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理 60分
	7	子どもの身体表現を育む環境構成と援助(2) 表現力を最大限生かした小作品の発表と鑑賞〔担当:伊藤〕 〈予習〉シラバスを読み授業概要のイメージを持つ 30分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理 60分
	8	8回～10回目 グループ創作活動〔担当:福泉/伊藤/酒井〕 【保育者としての表現を磨く】 今までの表現の授業を踏まえ、ジャンルを超えた総合的表現パフォーマンスをグループで創作、実演する。
	9	〈予習〉グループ発表に向けての準備 60分 〈復習〉授業の振り返り 30分
	10	子どもとの表現活動の実演(発表)①〔担当:福泉/伊藤/酒井〕 〈予習〉グループ発表に向けての準備 60分 〈復習〉授業の振り返り 30分
	11	子どもとの表現活動の実演(発表)② 授業のまとめ 〔担当:福泉/伊藤/酒井〕 〈予習〉グループ発表に向けての準備 60分 〈復習〉授業の振り返り 30分
	12	〈予習〉グループ発表に向けての準備 60分 〈復習〉授業の振り返り 30分
定 期 試 験	◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック 福泉・伊藤・酒井〔成績発表時等に返却します〕	

授業科目名	子ども文化演習A			教員名	大島 靖史		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修				ナンバリング	1D423	
授業内容を示すキーワード	遊び歌(手遊び・ふれあい遊び・リズム表現など) 素材や身近にあるものを使った遊び 学生が主体的に遊びを考える実技発表						
授業の概要	<p>・「遊び歌・遊び」の楽しさ、指導の心構えや指導方法を実技を通して習得する。 また楽しいだけでなく、子どものどのようなところの成長を促していけるか年齢や発達を理解も深めながら学ぶ。</p> <p>・身近なものを使った遊びを通して、子どもたちの健やかな育みに繋がる活動を実践しながら共に理解する。</p>						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】 乳幼児の特徴や発達を認識し、遊び歌や遊びをどのような場面、環境、指導方法で子どもたちと楽しみ合うことができるかを学び、保育での実践力を高めます。遊びの理解を深めながら、個々に協力して楽しみ、学びます。</p> <p>【到達目標】 遊び歌や遊びを知り、指導法を体得した経験を保育実習や保育業務で自信を持って実践することができる。</p>						
授業の方法等	主に演習(実技)を中心に、講義も行います。 また、ペアでのディスカッションやグループワークを行い、その発表を行うことで具体的な体験・経験をし実践力を身に付けます。						
成績評価の基準と方法	<p>■定期試験[レポート] 40%</p> <p>■授業への取り組み・態度 40%</p> <p>■提出物 20%</p>						
DPに掲げる学力の割合	DP1:40% DP2:0% DP3:30% DP4:10% DP5:10% DP6:10% [合計100%]						
教科書	「THE BEST 手あそび歌あそび」[ISBN:978-4896223019] メイト その他、適宜資料配付します。						
参考書	あそび歌CD『スマイル×スマイル』/キッズスマイルカンパニー						
関連科目	実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 教育実習Ⅰ・Ⅱ 保育実習Ⅰ・Ⅱ 乳児保育Ⅰ・Ⅱ 保育内容の指導法(健康・人間関係・環境・言葉・表現)、保育・教職実践演習(幼稚園)						
質問受付の方法	授業開始前、授業終了後 随時受け付けます。						
履修上の注意	教科書と「遊びのプリント」などを配付するので保管できる専用のファイルを用意してください。						

授業計画 と 時間外学習	1	オリエンテーション「自己紹介」「遊びとコミュニケーション」について 遊び歌の実践 〈予習〉シラバスを見て授業内容を把握する。90分 〈復習〉教わった内容について振り返り、理解をする。90分
	2	【オンデマンド遠隔授業】身近にある物を使った遊びを紹介・実践(レジ袋遊び) 〈予習〉子どもの発達や保育指針を理解する。90分 〈復習〉実践した内容を振り返る。90分
	3	身近にある物を使った遊びを紹介・応用(レジ袋遊び) 〈予習〉子どもの発達や保育指針を理解する。90分 〈復習〉実践した内容を振り返る。90分
	4	身近にある物を使った遊びを紹介・実践(タオル・新聞紙遊び) 〈予習〉子どもの発達や保育指針を理解する。90分 〈復習〉実践した内容を振り返る。90分
	5	遊び歌の実践「伝承遊び」など 保育での遊び実践のビデオ鑑賞 〈予習〉過去に教わったり、体験してきた手遊び、伝承遊びを振り返る。90分 〈復習〉授業で行った遊びを振り返り練習する。90分
	6	【オンデマンド遠隔授業】年齢や目的にあった手遊びなどの紹介とそのアレンジ 〈予習〉教科書や動画を見て様々な手遊びがあることを知る。90分 〈復習〉覚えた手遊びを反復練習する。90分
	7	年齢や目的にあった手遊びなどの紹介とそのアレンジ(乳幼児向け①)/リズム表現 〈予習〉教科書を見て様々な手遊びがあることを知る。90分 〈復習〉覚えた手遊びを反復練習する。90分
	8	年齢や目的にあった手遊びなどの紹介とそのアレンジ(乳幼児向け②)/リズム表現 〈予習〉教科書を見て様々な手遊びがあることを知る。90分 〈復習〉覚えた手遊びを反復練習する。90分
	9	手遊びグループ発表 〈予習〉実技試験で行う手遊びを繰り返し練習し、習得する。90分 〈復習〉発表で良かった点、悪かった点を振り返る。90分
	10	【オンデマンド遠隔授業】手遊びからの様々な遊びの発展 〈予習〉遊びの種類を理解しておく。90分 〈復習〉遊びからの発展的活動を振り返る。90分
	11	手遊びからの様々な遊びの発展 実践 〈予習〉動画を見て様々な発展的な活動があることを知る 90分 〈復習〉遊びからの発展的活動を振り返る。90分
	12	手遊びからの発展【オリジナル創作遊び制作①】「グループ毎に分かれ、遊びを考える」練習 〈予習〉教科書を見て様々な手遊びがあることを知る。90分 〈復習〉授業内グループ発表で行う遊びを繰り返し練習し、習得する。90分
	13	手遊びからの発展【オリジナル創作遊び制作②】 「グループ毎に発表する。遊びについて話し合う」(前半) 〈予習〉授業内グループ発表で行う遊びを繰り返し練習し、習得する。90分 〈復習〉発表で良かった点、悪かった点を振り返る。90分
	14	手遊びからの発展【オリジナル創作遊び制作③】 「グループ毎に発表する。遊びについて話し合う」(後半) 〈予習〉授業内グループ発表で行う遊びを繰り返し練習し、習得する。90分 〈復習〉発表で良かった点、悪かった点を振り返る。90分
	15	授業のまとめ 〈予習〉授業で配付された資料をまとめる。90分 〈復習〉実践に向けて自身の課題に取り組む。90分
定期試験	<p>◆定期試験[レポート]</p> <p>◆振り返り・フィードバック[成績発表時にコメントを入れ返却します]</p>	

授業科目名	子ども文化演習B			教員名	福泉 博子 伊藤 えつ子 / 酒井 誠		
配当年次	2	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修 ○幼稚園教諭2種免許状必修				ナンバリング	2D424	
授業内容を示すキーワード	総合的な表現、表現の過程、創造性、協働性、表現力、コミュニケーション、表現技術、保育者としての資質・能力						
授業の概要	2年間の学びを活かしながら、身体表現・音楽表現・造形表現のそれぞれの特徴を生かした作品を制作します。12月上旬に開催予定の行事「Yamamura Juhla Juhla」にて発表しますので、子どもたちが鑑賞する事を意識した作品作りをしてください。 子どもの心性に基づき意図をもって主体的に作品を創作すること、教員や仲間と協働すること、自身が舞台や制作物で表現することを通して、保育者としての資質・能力や社会人基礎力を高めていきます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 子どもたちが鑑賞する事を目的とした作品の創作・実演を通して、表現についての具体的な知識・技能・身体知を身につけること、体験過程を通して自身の思考力、判断力、表現力、主体性、協働性、創造性、コミュニケーション能力等の実態に気づき、それらの能力を活かしたり向上させることをねらいとする。 【到達目標】 ①子どもの感性や総合的な表現の意義を理解する。 ②自身の表現力・表現技術を身につける。 ③演出法・制作技術・各種効果等について具体的な方法を身につける。 ④仲間との協働の重要性を理解し粘り強く取り組むことができる。 ⑤具体的な役割や計画のもとにプロジェクトを遂行できる。						
授業の方法等	講義、制作、実技、演習、発表、グループワークを併用して展開します						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔レポート〕30% ■行事と授業への取り組み・態度 70%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:10% DP2:0% DP3:50% DP4:10% DP5:10% DP6:20% [合計100%]						
教科書	使用しません。必要に応じてプリントを配付します。						
参考書	適宜紹介します。						
関連科目	保育内容表現、保育内容表現の指導法、保育内容言葉 保育内容環境 音楽Ⅰ 音楽Ⅱ 図画工作 幼児体育						
質問受付の方法	適宜、担当教員の研究室等で受け付けます。						
履修上の注意	①責任のある行動を求めます。報連相に努め、チームの一員という自覚をもって取り組んでください。 ②グループ活動への積極的な参加、自主的な練習が求められます。授業外での準備や練習を行う場合があります。日常から表現に興味を持って、積極的に様々な表現に触れる機会を作ってください。 ③Yamamura Juhla Juhlaに合わせて授業時間が変更になる場合がありますので注意してください。 ④グループワーク時は、手指の消毒、マスクの着用等の感染症の予防対策を必ず行いましょう。						

授業計画 と 時間外学習	オリエンテーション(子どもの心性と総合的な表現の理解) 各分野の内容説明と希望調査
	1 〈予習〉シラバスを読み授業概要のイメージを持つ 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	2 グループ分け・各班リーダー決め テーマ・作品決め 計画作成 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	3 3~10回 グループワーク 作品制作 音楽制作 造形制作 身体表現制作 舞台製作等 ※7回は、中間報告会を実施。 ※10回は、舞台発表グループ通しと全体調整を実施。
	4 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	5
	6
	7
	8
	9
	10
	11 全体調整ミーティング 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	12 通し(全体調整・制作過程について) 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	13 リハーサル 当日の動線の確認 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	14 片付け・振り返り 〈予習〉活動プロセスをまとめておく 90分 〈復習〉本番の振り返りと片付け 90分
15 省察・授業のまとめ 〈予習〉活動プロセスをまとめておく 90分 〈復習〉レポートに向けて考察をまとめておく 90分	
定期試験	◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック〔成績発表時等に返却します〕

授 業 科 目 名	ピアノ I			教 員 名	福泉 博子/数野 麻衣子 大導寺 俊平/中川 悠子/福士 紗希 町田 百合絵/宮尾 夕華		
配 当 年 次	2	開 講 時 期	前 期	単 位 数	1	授 業 形 態	演 習
卒 業 ・ 免 許 ・ 資 格 と の 関 係	○保育士資格選択必修				ナンバリング	2D425	
授 業 内 容 を 示 す キ ー ワ ー ド	ピアノ 弾き歌い 習熟度別 伴奏法 基礎・基本確立 専門性向上						
授 業 の 概 要	「音楽」における習得成果を踏まえ、保育現場で必要とされる鍵盤楽器(ピアノ)の奏法や弾き歌い、和音やコードを使った伴奏付けなどに必要な技能を学びます。個々のレベルに合わせた個人レッスンを行います。						
授 業 の ね ら い と 到 達 目 標	【ねらい】 音楽的な資質・能力を高め、実際に保育現場からの要求に応えられる専門性を身につけます。習熟度の低い学生は、読譜力と演奏技術の向上を目指します。 【到達目標】 ○音名、音符、リズム、拍子を理解し、ひとりで読譜し演奏することができる。 ○習熟度の低い学生はバイエル100番程度の難易度の曲が演奏できる。弾き歌いでは和音や分散和音を用いたこどもの歌が弾きこなせるようになる。 ○中上級者はブルグミュラー、ソナチネ、ソナタや、それらと同等のピアノ曲を演奏することができる。また、コードや伴奏法を用い、童謡などに伴奏がつけられるようになる。						
授 業 の 方 法 等	○90分12回(合計48時間)の授業を、演習形式で個人レッスン(実技)を毎週行います。 ○ピアノ、弾き歌いとも個々の進度に応じ、難易度別に設定される曲目をクリアしながら各自がレベルアップを図ります。						
成 績 評 価 の 基 準 と 方 法	■定期試験 実技(ピアノ) 50% ■子どもの歌唱活動指導ロールプレイ(弾き歌い) 30% ■授業への取り組み・態度(予習・復習を含む) 20%						
D P に 掲 げ る 学 力 の 割 合	DP1:30% DP2:10% DP3:30% DP4:10% DP5:10% DP6:10% [合計100%]						
教 科 書	全訳(標準)バイエルピアノ教則本(全音楽譜出版社) ブルグミュラー25の練習曲(全音楽譜出版社) ソナチネアルバム1(全音楽譜出版社) 令和7年度楽譜集 やさしく弾けるピアノ伴奏 保育のうた12か月 幼稚園・保育園 現場の声から選ばれた全141曲(新星出版社) ※その他、個人のレベルに合わせて各担当教員から曲目の指示をします。						
参 考 書	「保育士のための こどものうた名曲集150」(シンコーミュージック出版) 「保育現場で使われるピアノ伴奏によるこどもの歌の楽譜集 こどものうた100」(チャイルド社)						
関 連 科 目	音楽 I 音楽 II ピアノ II 保育内容表現 保育内容表現の指導法						
質 問 受 付 の 方 法	随時受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	他出版社の楽譜を使用する場合は教員に確認してください。 楽譜や教材、ピアノ進度表を毎回必ず持参してください。 楽譜に書き込みをしたりするので筆記用具を持参してください。 レッスンを受けるときは爪が伸びていないか注意しましょう。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	オリエンテーション 授業形式の説明 個々の進度に応じた教則本による学習と弾き歌い学習 ピアノ個人レッスン 〈予習〉教育実習Ⅱピアノ見極めテストの練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	2	2~12回 学生個々の進度に応じたピアノ個人レッスン ※2回目に季節のうた見極めテスト 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	3	拍子とリズム テンポ 実習園からの課題曲のレッスン 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	4	強弱法 音階法 実習園からの課題曲のレッスン 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	5	曲想やフレーズについて 実習園からの課題曲のレッスン 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	6	弾き歌い実践練習 実習での歌唱活動を想定した練習 〈予習〉弾き歌い曲の練習と園での活動のイメージ練習毎日30分程度 〈復習〉振り返り 30分
	7	調性と移調について 子どもの歌弾き歌い(季節の歌) 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	8	伴奏法について I ・和音奏法 ・コードについて 子どもの歌弾き歌い(季節の歌) 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	9	伴奏法について I ・和音奏法 ・コードについて 子どもの歌弾き歌い(童謡唱歌 明治大正) 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	10	伴奏法について II ・分散和音奏法 ・メロディと伴奏 子どもの歌弾き歌い(童謡唱歌 昭和平成令和) 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	11	伴奏法について II ・分散和音奏法 ・メロディと伴奏 子どもの歌弾き歌い(テレビ・アニメ) 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	12	弾き歌い実践練習 まとめ 〈予習〉弾き歌い曲の練習と園での活動のイメージ練習毎日30分程度 〈復習〉振り返り 30分
定 期 試 験	◆定期試験[筆記] 60分 ◆振り返り・フィードバック[定期試験の解説を行う] 30分	

授業科目名	ピアノⅡ			教員名	福泉 博子/数野 麻衣子 大導寺 俊平/中川 悠子/福士 紗希 町田 百合絵/宮尾 夕華		
配当年次	2	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修				ナンバリング	2D426	
授業内容を示すキーワード	ピアノ 弾き歌い 習熟度別 伴奏法 基礎・基本確立 専門性向上						
授業の概要	「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」「ピアノⅠ」における習得成果を踏まえ、保育現場で必要とされる鍵盤楽器(ピアノ)の奏法や弾き歌い、和音やコードを使った伴奏付けなどに必要な技能を学びます。個々のレベルに合わせた個人レッスンを行います。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 音楽的な資質・能力を高め、実際に保育現場から求められる専門性を身につけます。習熟度の低い学生は、読譜力と演奏技術の向上を目指します。 【到達目標】 ○音名、音符、リズム、拍子を理解し、ひとりで読譜し演奏することができる。 ○習熟度の低い学生はバイエル100番程度の難易度の曲が演奏できる。弾き歌いでは和音や分散和音を用いたこどもの歌が弾きこなせるようになる。 ○中上級者はブルグミュラー、ソナチネ、ソナタや、それらと同等のピアノ曲を演奏することができる。また、コードや伴奏法を用い、童謡などに伴奏がつけられるようになる。						
授業の方法等	○90分12回(合計48時間)の授業を演習(実技)形式で個人レッスンを毎週行います。 また、少人数のグループで子どもとの歌唱活動のロールプレイを行います。 ○ピアノ、弾き歌い、歌唱を個々の進度に応じ、難易度別に設定される曲目をクリアしながら各自がレベルアップを図ります。						
成績評価の基準と方法	■定期試験 実技(ピアノ) 50% ■子どもの歌唱活動指導ロールプレイ(弾き歌い) 30% ■授業への取り組み・態度(予習・復習を含む) 20%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:30% DP2:10% DP3:30% DP4:10% DP5:10% DP6:10% [合計100%]						
教科書	全訳(標準)バイエルピアノ教則本(全音楽譜出版社) ブルグミュラー25の練習曲(全音楽譜出版社) ソナチネアルバム1(全音楽譜出版社) 令和7年度楽譜集 やさしく弾けるピアノ伴奏 保育のうた12か月 幼稚園・保育園 現場の声から選ばれた全141曲(新星出版社) ※その他、個人のレベルに合わせて各担当教員から曲目の指示をします。						
参考書	「保育士のための こどものうた名曲集150」(シンコーミュージック 出版) 「保育現場で使われるピアノ伴奏によるこどもの歌の楽譜集 こどものうた100」(チャイルド社)						
関連科目	音楽Ⅰ 音楽Ⅱ ピアノⅠ 保育内容表現 保育内容表現の指導法						
質問受付の方法	随時受け付けます。						
履修上の注意	他出版社の楽譜を使用する場合は教員に確認してください。 楽譜や教材、ピアノ進度表を毎回必ず持参してください。 楽譜に書き込みをしたりするので筆記用具を持参してください。 レッスンを受けるときは爪が伸びていないか注意しましょう。						

授業計画 と 時間外学習	1	オリエンテーション 目標 内容 授業形式の説明 個々の進度に応じた教則本による学習と弾き歌い学習 ピアノ個人レッスン 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	2	2~11回は、学生個々の進度に応じたピアノ個人レッスン ※10~12回目のどこかで弾き歌い実践練習 子どもとの歌唱活動のロールプレイを行います ○就職試験曲の取り組み ○こどもの歌弾き歌い 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日20分程度 弾き歌い曲の練習と園での活動のイメージ練習毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日20分程度
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	まとめ 〈予習〉弾き歌い曲の練習と園での活動のイメージ練習毎日30分程度 〈復習〉振り返り 30分
定期試験	◆定期試験[実技] 70分 ◆振り返り・フィードバック[定期試験の解説を行う] 20分	

授業科目名	SDGsと教育・保育			教員名	高後 仁		
配当年次	1・2	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修				ナンバリング	3D427	
授業内容を示すキーワード	SDGs17の目標、SDGsと保育、地球環境の現在、温暖化防止、緑化、資源再生、里山保全、調査・研究						
授業の概要	SDGsの背景、17の目標、幼稚園や保育所で展開されている実践例について学びます。また鳩山町の文化(南比企窯跡群)について専門家から学び、実際に体験します。さらに地球観測センターの見学を行い、観測データからわかること等を専門家から学びます。それらを踏まえ、自分たちで教育・保育で生かせるSDGsについて課題を設定し、調査・研究を行い、課題解決に向けた教育・保育に生かせる実践方法を明らかにしていきます。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsに関する知識や実践を学び、教育・保育の現場で生かせる実践方法を、自分たちで調査・研究し、構築することができる。 <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの背景、17の目標を理解している。 ・地域の文化発生やその継続の要因を理解している。 ・観測データの大切さと、そこから導かれる地球環境の現在を理解している。 ・幼稚園や保育所をはじめ、様々な場で展開されているSDGsの実践をその意義も含め理解している。 ・研究の進め方を理解し、教育・保育に生かせる実践方法を獲得している。 						
授業の方法等	90分12回(合計48時間)の授業を行います。外部講師を招聘し、専門性の高い講義を行います。研究施設(地球観測センター)の見学、地域文化の体験(古代窯を使った焼き物)を行います。ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業及び自主学習支援を行います。また、アクティブラーニングの手法を取り入れ、【PBL/グループワーク/プレゼンテーション/実習・フィールドワーク】を授業内で行います。						
成績評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ■定期試験〔筆記〕40% ■授業への取り組み・態度 10% ■研究成果、提出物 50% 						
D Pに掲げる学力の割合	DP1:10% DP2:10% DP3:20% DP4:20% DP5:30% DP6:10% [合計100%] ※10%単位						
教科書	適宜、資料を配付します。						
参考書	適宜、資料を配付します。						
関連科目	保育内容環境、保育内容環境の指導法、アウトドア演習A、アウトドア演習B、ダイバーシティと教育・保育						
質問受付の方法	担当教員 随時						
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・施設見学等で学外に出る際には、実施上の留意点を厳守で参加する。 ・調査・研究活動で学外に出る際には、計画を作成し、事前に担当教員に提出する。 ・一部授業期間外に実施する場合があります。 						

授業計画 と 時間外学習	SDGsについて学ぼう-17の目標と169のターゲット-
	1 〈予習〉初回のため、なし 〈復習〉SDGsについて今までの学習内容を振り返る。講義のまとめ、配付プリントの整理。90分
	2 SDGsと保育 各地の実践から 〈予習〉幼稚園、保育園のHP等を参考にSDGsに関する取組を調べる。45分 〈復習〉講義のまとめ、配付プリントの整理。45分
	3 南比企窯跡群の文化を体験しよう1(鳩山町教委 文化財保護担当講義・焼き物作り) ※7月末実施 〈予習〉南比企窯跡群について調べる。45分 〈復習〉講義・活動のまとめ、配付プリントの整理。45分
	4 南比企窯跡群の文化を体験しよう2(農村公園 復元古代窯からの焼き物取り出し) 〈予習〉南比企窯跡群の焼き物の特徴について調べる 45分 〈復習〉講義のまとめ、配付プリントの整理。45分
	5 地球規模の視点で見えること1(JAXA 地球観測センター見学) 〈予習〉地球観測センターの機能等についてHP等を参考に調べる。45分 〈復習〉見学の概要をまとめる。45分
	6 地球規模の視点で見えること2(JAXA 地球観測センター 出前授業) 〈予習〉見学を通して、知りたくなったこと、質問したいことをまとめておく。45分 〈復習〉講義のまとめ、配付プリントの整理。45分
	7 山村学園短大のSDGsの取組を調べ、体験しよう 〈予習〉山村学園短大で見られるSDGsの取組を調べる。45分 〈復習〉講義・体験の内容をまとめる。45分
	8 自分たちの課題を決めて行動しよう1(課題設定、解決方法等) 〈予習〉前回までの学習から自分で取り組みたい課題を検討する。45分 〈復習〉設定課題、解決方法を吟味し、ワークシートにまとめる。45分
	9 自分たちの課題を決めて行動しよう2(調査・研究の計画作成・検討・実施) 〈予習〉調査・研究活動に必要な資料等の準備。45分 〈復習〉本時の調査研究活動のまとめ。45分
	10 自分たちの課題を決めて行動しよう3(調査・研究の実施) 〈予習〉調査・研究活動に必要な資料等の準備。45分 〈復習〉本時の調査研究活動のまとめ。45分
	11 自分たちの課題を決めて行動しよう4(調査・研究の実施) 〈予習〉調査・研究活動に必要な資料等の準備。45分 〈復習〉本時の調査研究活動のまとめ。45分
12 調査・研究発表会 学習のまとめ 〈予習〉自分たちの調査・研究の方法や成果について発表できるようにまとめる。45分 〈復習〉質疑や協議を参考に自分たちの調査・研究を振り返り今後の教育・保育にどう生かすか考える。45分	
定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分

授業科目名	ダイバーシティと教育・保育			教員名	宇田川 和久 / 橋本 淳一 室井 佑美		
配当年次	1・2	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修					ナンバリング	3D428
授業内容を示すキーワード	ダイバーシティ 教育 保育 共生社会 文化 尊重 インクルーシブ						
授業の概要	ダイバーシティ(多様性)とは、人間の中にみられる身体的、文化的など様々な差異のことです。例えば、人種、民族、性別、年齢、障がいの有無、社会経済的ステータス、性的指向、宗教、階級、政治的信条などの面があります。これら差異が社会生活の中でどのような背景を持ち、どのような実態であるのかを学び、違いを受け入れ、互いの個性を認め活かしあおうとする考え方や姿勢を養います。また、ダイバーシティを推し進めるための仕組みの具体例や教育・保育・福祉の現場での実践を通して理解します。その上で、私たちが「互いの個性を尊重する」「他者と共に豊かに生きる」ことを、自分の課題として深く考え、共生社会マインドを養います。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】</p> <p>ダイバーシティに対する理念、意義を理解し、それらが形成されるに至った背景を学びます。現代社会の特徴である、規範の複雑化、価値観の多様化に対して、自らが求められる「他者の価値を認めながらも、自分の価値も同時に持ち、共生していくこと」を、専門的な知識を獲得した上で、共生社会に向けたアクションを思考し、判断し、応用する力を習得します。偏った見方に陥らず、多角的な視点を持って自ら思考し、受容していく力を養うため、自分と他者の意見を理解し、尊重し合いながら仕組みを考えるための態度を身につけます。</p> <p>【到達目標】</p> <p>(1)ダイバーシティの実態や社会的背景を具体的かつ詳細に概説できる。 (2)多角的な視点で、ダイバーシティの目的と必要性を述べられる。 (3)ダイバーシティを推し進めるための仕組みについて具体的かつ詳細に概説できる。 (4)自分の意見に根拠や理由を示しつつ、意見を形成して的確に説明できる。</p>						
授業の方法等	90分12回(合計48時間)の授業を3名の教員がオムニバス形式で授業を行います。 ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業及び自主学習支援を行います。 また、アクティブラーニングの手法を取り入れ、【PBL/ディスカッション・ディベート/グループワーク/プレゼンテーション】を授業内で行うことがあります。 学外授業としてフィールドワークを行う可能性もあります。						
成績評価の基準と方法	■定期試験[レポート] 45% ■授業への取り組み・態度 55%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:10% DP2:10% DP3:20% DP4:20% DP5:30% DP6:10% [合計100%]						
教科書	適宜、資料を配付します。						
参考書	「未来の授業SDGsダイバーシティBOOK」(ISBN:978-4883355334)/佐藤真久(監修)/宣伝会議						
関連科目	SDGsと教育・保育 日本国憲法 生命倫理 インクルーシブ教育・保育 I / II 子ども家庭福祉						
質問受付の方法	適宜、授業内および担当教員の研究室等に対応します。						
履修上の注意	各回配付するプリントの管理と整理は、A4ファイルに学習ノートとして自己責任で行ってください。普段から授業内容に関連するテレビ、新聞、インターネット等の情報になるべく多く接するよう心がけてください。フィールドワーク等を行う場合、平日授業内ではないことがあるため、スケジュールをよく確認してください。その際の諸経費は自己負担となりますが、授業内で詳細を説明します。						

授業計画 と 時間外学習	1	オリエンテーション ダイバーシティの理念、意義、歴史的背景[担当:室井] 海外にルーツを持つ乳幼児・保護者と多文化共生①(現状と日常生活の実際) 〈予習〉初回のため、なし 〈復習〉テキスト第1章を読み、ダイバーシティの概念をまとめる。指定された動画を視聴しておく。90分
	2	海外にルーツを持つ乳幼児・保護者と多文化共生②(子育て事情の実際と保育現場)[担当:室井] 〈予習〉海外にルーツを持つ子育て家庭が日常生活・子育てで戸惑う事、分からない事を考える。45分 〈復習〉海外にルーツを持つ子育て家庭が保育現場で戸惑う事、分からない事を考える。45分
	3	保育現場での多文化共生①(保育内容の活動を考えよう)[担当:室井] 〈予習〉多文化共生に対して興味・関心を持てるような活動内容を考えておく。45分 〈復習〉グループメンバーで多文化共生にまつわる保育活動の準備をする。45分
	4	保育現場での多文化共生②(保育活動を実践して共有しよう)[担当:室井] 〈予習〉授業内メンバーと保育活動を共有できるように実践の展開を考える。60分 〈復習〉多文化共生にまつわる保育活動を全体で共有し、振り返りながら理解したことをまとめる。30分
	5	Z世代研究～チル&ミーの謎～[担当:橋本] 〈予習〉指定された資料を読む。45分 〈復習〉ダイバーシティとの関連を考える。45分
	6	家族、結婚、離婚～所得階層によって異なるライフスタイル～[担当:橋本] 〈予習〉指定された資料を読む。45分 〈復習〉ダイバーシティとの関連を考える。45分
	7	ジェンダー、エスニティーの問題～アイデンティティーとの出会い～[担当:橋本] 〈予習〉指定された資料を読む。45分 〈復習〉ダイバーシティとの関連を考える。45分
	8	逸脱と正常の間～誰が幸福か～[担当:橋本] 〈予習〉指定された資料を読む。45分 〈復習〉ダイバーシティとの関連を考える。45分
	9	ニューロダイバーシティと共生社会の在り方[担当:宇田川] 〈予習〉ニューロダイバーシティ(神経多様性)の考え方について調べる。45分 〈復習〉我が国のニューロダイバーシティの取組について、資料等をもとに振り返るとともに、授業で提示した課題に取り組む。45分
	10	障害のある学生の現状と社会的障壁[担当:宇田川] 〈予習〉授業で取り上げたいいくつかの大学の実践例について調べてくる。45分 〈復習〉障害者権利条約や、学生の学びを支える合理的配慮の内容について整理する。45分
	11	企業や社会におけるD&Iの取組①[担当:宇田川] 〈予習〉企業等における障害者がどのような働き方をしているかについて、情報収集する。45分 〈復習〉障害者の雇用に関する企業等の取り組みについて整理する。障害者雇用に関する法律を整理する。45分
	12	企業や社会におけるD&Iの取組②報告会[担当:宇田川] 〈予習〉企業におけるD&Iの取組が、社会に与える影響等について調べる。45分 〈復習〉共生社会を目指した我々の果たすべき役割について整理する。30分
定期試験	◆定期試験[レポート] ◆振り返り・フィードバック[添削した後日返却する]	

教職に関する科目

授業科目名	教育方法・技術論			教員名	高後 仁 / 橋本 淳一		
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○幼稚園教諭2種免許状必修〔道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目/教育の方法及び「技術(情報機器及び教材の活用を含む)」〕						
授業内容を示すキーワード	遊びによる学び、環境による保育、子どもの主体性						
授業の概要	教育の方法及び技術に関する基本的な理論を学ぶ。また、幼児教育の方法を多面的に論ずることができるための基礎知識を養う。子どもが主体的かつ協動的に参加する学びとしての学校教育のあり方、特に幼児期の教育のあり方について学ぶ。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 幼児期の学びは子どもを主体として、環境や遊びなどの経験を通して育まれるものであるということを理解するための基礎知識を養う。子どもが主体的かつ協動的に参加する学びとしての学校教育のあり方、特に幼児期の教育のあり方について学ぶ。 【到達目標】 様々な教育方法とその特徴を説明することができる。幼児期の特徴に応じた教育方法について説明できる。						
授業の方法等	オムニバス方式で各教員が授業回を担当します。 テキストに沿って、視聴覚教材により実践例などから理解を深めます。 自身で考えた計画のプレゼンテーションを求めるなどアクティブ・ラーニングを取り入れて行います。 ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業を行う。一部、オンデマンド型(遠隔)授業を行います。						
成績評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ■定期試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 20% ■その他〔小テスト〕10% 						
DPに掲げる学力の割合	DP1:30% DP2:10% DP3:30% DP4:10% DP5:10% DP6:10% 〔合計100%〕						
教科書	「保育方法の探究」〔ISBN:978-4909655271〕 浅見均・田中正浩 大学図書出版						
参考書	「幼児教育の方法」小田豊・青井倫子 北大路書房 「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館						
関連科目	保育・教職論、保育・教職実践演習(幼稚園)						
質問受付の方法	適宜、担当教員の研究室またはEduNaviで受け付けます。						
履修上の注意	EduNaviの操作に習熟するよう努めてください。						

授業計画 と 時間外学習	1	教育の方法、技術を学ぶ意義〔担当:橋本〕 〈予習〉自らの体験を振りかえり、教育の方法、技術を考える 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	2	児童中心主義保育の流れ〔担当:高後〕 〈予習〉指定のプリントを読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	3	保育方法の基本を考える〔担当:高後〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	4	乳幼児理解と保育方法〔担当:高後〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	5	【オンデマンド型(遠隔)】様々な主義や保育形態をみる①(様々な主義に基づく保育)〔担当:高後〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	6	【オンデマンド型(遠隔)】様々な主義や保育形態をみる②(保育形態をどう考えるか)〔担当:高後〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	7	【オンデマンド型(遠隔)】指導計画・評価の理解、幼稚園教育要領について〔担当:橋本〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	8	【オンデマンド型(遠隔)】指導・援助の実際を捉える〔担当:高後〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	9	カリキュラムや指導計画から保育方法を考える①(カリキュラムとは何か、カリキュラムと保育方法)〔担当:高後〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	10	カリキュラムや指導計画から保育方法を考える②(指導計画と保育方法)〔担当:高後〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	11	カリキュラムや指導計画から保育方法を考える③(実習指導計画と保育方法)〔担当:高後〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	12	カリキュラムや指導計画から保育方法を考える④(実習日誌から考える保育方法)〔担当:高後〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	13	【オンデマンド型(遠隔)】行事の展開を考える〔担当:高後〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	14	幼児教育におけるICTの活用①〔担当:橋本〕 〈予習〉指定のプリントを読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	15	幼児教育におけるICTの活用②〔担当:橋本〕 〈予習〉指定のプリントを読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
定期試験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授 業 科 目 名	保育・教職実践演習(幼稚園) *			教 員 名	橋本 淳一 高後 仁 / 酒井 誠		
配 当 年 次	2	開 講 時 期	後 期	単 位 数	2	授 業 形 態	演 習
卒 業 ・ 免 許 ・ 資 格 と の 関 係	◎卒業必修 ○保育士資格必修〔 保育実践演習 〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔 教職実践演習 〕			ナンバリング	2D502		
授 業 内 容 を 示 す キ ー ワ ー ド	保育者としての資質・能力 幼児理解 学級経営 グループワーク ロールプレイ ICT 協働性 主体性						
授 業 の 概 要	幼稚園教諭・保育士として求められる使命感や責任感、社会性や対人関係能力、幼児理解や学級経営、保育内容等の指導力などに関する事項について、特に現場経験のある教員からその職務経験を生かしたフィードバック(保育実践)の指導や、グループワーク(壁面製作)、ロールプレイなどの実践的な学びを取り入れながら授業を行います。						
授 業 の ね ら い と 到 達 目 標	【ねらい】 幼稚園教諭・保育士として最低限必要な資質能力(使命感や責任感、社会性や対人関係能力、幼児理解や学級経営、保育内容等の指導力など)の全体について、確実に身につけるとともに、自らのその資質能力の全体を確認する。 【到達目標】 学生が、教員・保育者となる上で、その保育者としての能力・資質に関し自己にとって何が課題であるのかを自覚し、不足している知識や技能等を補い、その定着を各自で図る。						
授 業 の 方 法 等	講義、演習、ディスカッション、壁面製作やロールプレイなどをグループワークを通して多様な形式で進めます。 また、ICTを活用した授業として幼稚園・保育所等での保育実践を想定したロールプレイでは、その実践の様子をスマートフォン等で動画撮影し、その様子をEduNavi(オンデマンド型授業)で確認して改善点や工夫点等を議論するとともに、レポート提出はEduNaviを利用するなどICTを活用した双方向型授業を意図したものとします。						
成 績 評 価 の 基 準 と 方 法	■定期試験〔 レポート 〕 30% ■授業への取り組み・態度 20% ■その他〔 課題・発表 〕 50%						
D P に 掲 げ る 学 力 の 割 合	DP1:30% DP2:10% DP3:30% DP4:10% DP5:10% DP6:10% [合計100%]						
教 科 書	特に使用しません。必要な場合は、適宜資料を配付します。						
参 考 書	『フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画』[ISBN:978-4893472397] 神永直美著 明文書林 2016						
関 連 科 目	実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 保育内容の指導法(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各科目						
質 問 受 付 の 方 法	担当教員に直接、またはEduNaviを利用して質問してください。						
履 修 上 の 注 意	履修カルテの作成と保育実践での動画撮影とデータの提出は必須です。また、動画撮影は各自のスマートフォン等の利用を原則とします。 なお、自主学習支援として、保育実践に関するグループでの事前自主学習で撮影映像や質問を担当教員にEduNaviを通じて随時送信可とし、適宜アドバイスを受けることができます。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	これまでの教育実習・保育実習における学修の振り返りについて(履修カルテⅠ・Ⅱの作成)と自らの幼稚園教諭・保育士としての資質の確認と自己課題の設定 〈予習〉実習での学修を振り返る 90分 〈復習〉自己課題を認識し今後の学修を計画する 90分
	2	教職や保育職の意義や役割、職務内容、子どもに対する責任、あるいは、社会性や対人関係能力、保育内容等の指導法・指導力について等についてのグループ分けと壁面製作やロールプレイへ向けたグループ討議 〈予習〉教職や保育職の意義・役割・職務等を考える 90分 〈復習〉討議・壁面製作へ向けた準備 90分
	3	保育内容等の指導法・指導力についてのグループワーク(壁面製作)での探求① 製作内容を計画する・制作をする 〈予習〉保育内容等の指導法・指導力を考える 90分 〈復習〉討議・模擬授業を振り返る 90分
	4	保育内容等の指導法・指導力についてのグループワーク(壁面製作)での探求② 製作をする 〈予習〉壁面製作を指導・準備を考える 90分 〈復習〉グループワークでの自らのエフォートを評価する 90分
	5	保育内容等の指導法・指導力についてのグループワーク(壁面製作)での探求③ 製作物を完成させる 〈予習〉壁面製作を指導・準備を考える 90分 〈復習〉グループワークでの自らのエフォートを評価する 90分
	6	保育内容等の指導法・指導力についてのグループワーク(壁面製作)での探求④ 成果発表と相互評価 〈予習〉壁面製作を指導・準備を考える 90分 〈復習〉グループワークでの自らのエフォートを評価する 90分
	7	幼児理解や学級経営についてのロールプレイ(保育実践)①(グループ討議と指導案の作成) 〈予習〉幼児理解や学級経営を考える 90分 〈復習〉討議・模擬授業を振り返る 90分
	8	ロールプレイ指導案のグループ内相互評価とグループロールプレイの決定、実践準備 〈予習〉幼児理解や学級経営をふまえたロールプレイ指導案を作成する 90分 〈復習〉討議を振り返り、ロールプレイの準備を進める 90分
	9	幼児理解や学級経営についてのロールプレイ(保育実践)②(指導案作成・実践準備) 〈予習〉指導案・教材の研究を行い、ロールプレイを準備する 90分 〈復習〉討議を振り返り、ロールプレイの準備を進める 90分
	10	幼児理解や学級経営についてのロールプレイ(保育実践)③(指導案完成・実践準備) 〈予習〉指導案・教材の研究を行い、ロールプレイを準備する 90分 〈復習〉討議を振り返り、ロールプレイの準備を進める 90分
	11	幼児理解や学級経営についてのロールプレイ(保育実践)④(動画撮影・編集) 〈予習〉ロールプレイの場の準備、撮影の準備をする 90分 〈復習〉ロールプレイ動画の確認・編集をする 90分
	12	【オンデマンド型(遠隔)授業】ロールプレイ(保育実践)動画の視聴による探究① 4グループ 〈予習〉ロールプレイ指導案を研究し、動画視聴の留意点を確認する 90分 〈復習〉ロールプレイでの自他のエフォートを評価する 90分
	13	【オンデマンド型(遠隔)授業】ロールプレイ(保育実践)動画の視聴による探究② 4グループ 〈予習〉ロールプレイ指導案を研究し、動画視聴の留意点を確認する90分 〈復習〉ロールプレイでの自他のエフォートを評価する 90分
	14	【オンデマンド型(遠隔)授業】ロールプレイ(保育実践)動画の視聴による探究③ 4グループ 〈予習〉ロールプレイ指導案を研究し、動画視聴の留意点を確認する 90分 〈復習〉ロールプレイでの自他のエフォートを評価する 90分
	15	ロールプレイを通じた実践的指導力修得の相互評価と幼稚園教諭・保育士としての資質の確認とまとめ 〈予習〉自らの幼稚園教諭・保育士としての資質の確認 90分 〈復習〉自らの課題を再設定する 90分
定 期 試 験	◆定期試験〔 レポート 〕 ◆振り返り・フィードバック〔 成績等返却時にコメントを入れて返却 〕	

授業科目名	ICT教育の理論と方法			教員名	巢立 佳宏 / 新井 誠		
配当年次	1・2	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係				ナンバリング	3D503		
授業内容を示すキーワード	ICT教育 保育 ベビーテック AI プログラミング 情報セキュリティ 情報活用能力						
授業の概要	ICTを活用した保育での実践について学びます。近年、保育・幼児教育などの分野において様々な場面でICTの活用が求められています。見守り用のカメラでの子どもの安全の確保や防犯カメラの顔認証を用いた危機管理対策などが一般的になりつつあり、また、幼児期からのプログラミングやAIを活用した教育やベビーテックを用いた子どもとAIの接点も時代の潮流と共に普及しています。こうした近代化による、保育におけるICT教育を学びます。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】 保育士資格取得に関する選択科目です。保育士の専門性を学ぶ中でICTに関する分野について学びます。ICT教育を探究することで、保育者としての資質向上を目指し、昨今のデジタル化における知識を養います。</p> <p>【到達目標】 (1)ICT教育について説明できるようになる。 (2)ICT教育が保育の現場にてどのように活用できるか学ぶ。 (3)保育現場においての意義を自分なりにとらえながら、現代社会における保育の諸課題について問題意識をもって、これから求められる保育の姿を考えていくことができる。</p>						
授業の方法等	90分12回(合計48時間)の授業を2名の担当教員がオムニバス形式で授業を行います。ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業及び自主学習支援を行います。また、アクティブラーニングの手法を取り入れ、【ディスカッション・ディベート/グループワーク/プレゼンテーション】を授業内で行います。						
成績評価の基準と方法	<p>■定期試験[筆記]40%</p> <p>■提出物など30%</p> <p>■授業への取り組み・態度30%</p>						
DPに掲げる学力の割合	DP1:20% DP2:10% DP3:30% DP4:10% DP5:20% DP6:10% [合計100%] ※10%単位						
教科書	「ICTを使って保育を豊かに ワクワクがつながる広がる28の実践」(ISBN:978-4805887196) 秋田喜代美 宮田まり子 野澤祥子 中央法規 ※教科書の購入方法は、授業時に案内します。						
参考書	適宜、資料を配付します。						
関連科目	教育方法・技術論 コンピュータ演習						
質問受付の方法	適宜、担当教員の研究室、授業内のリアクションペーパー、EduNaviにて受け付けます。						
履修上の注意	配付資料について、2穴ファイルなどに整理し、学んだことをまとめておきましょう。授業内で学んだ専門用語はインデックスや付箋を付け、学んだ跡を残しましょう。その他、資料をまとめるなど主体的に知識を得る学習習慣を身に付けてください。やむを得ず授業を欠席する場合は、EduNaviにて資料、課題の把握、授業内容の確認などとして、能動的に行動してください。						

授業計画 と 時間外学習	1	はじめに～ICTに関するイントロダクション～〔担当:巢立/新井〕 〈予習〉初回のため、なし 〈復習〉ICT教育と保育に関する意義についてまとめる。90分
	2	情報活用能力を身につけよう～ICTの基本について～〔担当:新井〕 〈予習〉電子絵本について各自で調べ、まとめる。45分 〈復習〉ICTとは何か振り返り、まとめる。45分
	3	ICTにおける保育教材の作成および活用～電子絵本について知ろう～〔担当:新井〕 〈予習〉電子絵本を用いた保育実践事例について、調べ、まとめる。45分 〈復習〉電子絵本とは何か各自で振り返り、まとめる。45分
	4	ICTにおける保育教材の作成および活用～電子絵本をつくってみよう～〔担当:新井〕 〈予習〉電子絵本またはそれに類するものなどは何があるか調べ、まとめる。45分 〈復習〉電子絵本の作成機序について理解する。45分
	5	ICTにおける保育教材の作成および活用～電子絵本の発表会～〔担当:新井〕 〈予習〉ICTを活用した保育教材について調べ、まとめる。45分 〈復習〉電子絵本の作成から活用に関して理解する。45分
	6	プログラミンの基礎、情報の活用～プログラミングについて知ろう～〔担当:新井〕 〈予習〉プログラミングとは何か調べ、まとめる。45分 〈復習〉電子絵本の他者の作品を見て、評価する。45分
	7	ICTを使った遠隔地とのコミュニケーションについて学ぼう～ZOOMを活用して～〔担当:新井〕 〈予習〉ZOOMの使い方について理解する。45分 〈復習〉情報の活用方法について理解する。45分
	8	ICT教育における情報セキュリティに関して〔担当:新井〕 〈予習〉情報セキュリティについて調べ、まとめておく。45分 〈復習〉情報セキュリティについて理解する。45分
	9	ICTを用いた保育教材の活用について学ぶ～ベビーテックを通して～〔担当:巢立〕 〈予習〉保育教材について調べ、まとめておく。45分 〈復習〉ZOOMの活用例などについて理解する。45分
	10	保育園・幼稚園での記録媒体の作成～ドキュメンテーション、タイムラプスの撮影・編集～〔担当:巢立〕 〈予習〉ドキュメンテーションについて調べておく。45分 〈復習〉ZOOMなどを用いた保育の実践例についてまとめる。45分
	11	保育園・幼稚園での記録媒体の作成～ドキュメンテーションの発表準備～〔担当:巢立〕 〈予習〉ドキュメンテーションを制作し、発表の準備を整える。45分 〈復習〉ドキュメンテーションの編集について理解する。45分
	12	保育園・幼稚園での記録媒体の作成～ドキュメンテーションの発表～〔担当:巢立〕 〈予習〉ドキュメンテーションをどのように魅せるかグループワークを行う。45分 〈復習〉グループ内でドキュメンテーションについて振り返る。45分
定期試験	<p>◆定期試験[筆記]60分</p> <p>◆振り返り・フィードバック[定期試験の解説を行う]30分</p>	

保育者の資質を高める科目

授業科目名	子ども学演習Ⅰ*			教員名	酒井 誠 / 福泉 博子		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修				ナンバリング	1D601	
授業内容を示すキーワード	体験学習、行事、保育体験、ナチュラル保育検定、保育に関する専門性、個人面談						
授業の概要	体験学習、行事に向けた事前の準備・事後の振り返りを中心に、学生としての基本的な生活態度、学びの方法や挨拶、マナーなど、基本的なコミュニケーション能力を育み、社会人・職業人としての使命感や望ましい職業観等について、実践的な活動を通して学ぶ。 保育所や学校・福祉の現場等における実務や教員経験がある者が、その経験を活かして具体的・実践的な授業を行う。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 体験学習、保育体験、行事等に関する事前学習・準備、クラスやグループ別での学習等を通して保育者としての学びの意欲を高め、社会人・職業人としての使命感や自立心を涵養する。 【到達目標】 (1) 幼稚園、保育所、社会福祉施設の実地を体験し理解している。 (2) 保育の方法・技術の実際を観察や記録を通して理解している。 (3) 園行事の企画・運営の基礎を理解し、それに参加したり補助的な役割を担うことができる。 (4) 基本的な生活態度・学習態度、望ましい職業観・使命感等を身につけている。						
授業の方法等	クラス毎の活動を中心に授業内が展開されます。 グループ別での活動は、少人数の学生が集まり、自ら研究し、発表、討論を行う形式を取り、教員は主体的な学生の学習に対して、指導及び支援を行います。 アクティブラーニングの手法を取り入れ、【PBL/ディスカッション・ディベート/グループワーク/プレゼンテーション/フィールドワーク】を行います。						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度 50% ■提出物 50%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:30% DP2:10% DP3:30% DP4:10% DP5:10% DP6:10% [合計100%]						
教科書	Natural保育検定テキストWeb版。(※やまたんテキストWeb版) その他、必要な資料は適宜配布します。						
参考書	適宜、資料を配付します。						
関連科目	子ども学演習Ⅱ 子ども学ゼミナールⅠ・Ⅱ キャリアアップセミナーⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ						
質問受付の方法	適宜、クラス担任/ゼミナール担当教員のオフィスアワーまたは授業内で直接対応します。						
履修上の注意	1年次での週1回の授業に加え、1年次当初における研修、その他体験学習への参加は必須です。 クラス活動等のスケジュールは自ら細目に確認するようにしてください。また、指導者等の都合により活動内容や期日等を変更する場合がありますので、確認しながら学習に取り組むようにしてください。						

授業計画 と 時間外学習	ガイダンス 月曜日の使い方等説明 UPI調査 入学前学習の回収 委員決め 等
	1 <予習>シラバス・学生便覧(学年暦・学生生活の案内等)を熟読 45分 <復習>学習計画をまとめる 45分
	2 サークル&学生会行事紹介 月曜日の使い方についてのガイダンス <予習>月曜日の使い方についてのイメージづくり 45分 <復習>月曜日の使い方について整理し計画する 45分
	3 クラスの時間① <予習>クラスについてイメージづくり 45分 <復習>振り返り 45分
	4 クラスの時間② <予習>クラスの活動について考える 45分 <復習>振り返り 45分
	5 保育体験学習事前学習 <予習>保育体験について考える 45分 <復習>事前学習を踏まえ、保育体験準備の自己点検・評価 45分
	6 保育体験Ⅰ(ふれあい体験) <予習>園見学のイメージづくり 45分 <復習>振り返りシートをまとめる 45分
	7 保育体験Ⅱ(園見学)① <予習>ふれあい体験のイメージづくり 45分 <復習>振り返りシートをまとめる 45分
	8 保育体験Ⅱ(園見学)② <予習>園記録のイメージづくり 45分 <復習>見学記録をまとめる 45分
	9 クラスの時間③ <予習>保育体験Ⅰ・Ⅱを振り返るとともにクラスの活動について考える45分 <復習>保育体験Ⅲに向けた課題を整理するとともにクラスの活動を振り返る45分
	10 クラスの時間④ <予習>保育体験全体を振り返るとともにクラスの活動について考える 45分 <復習>クラスの活動を振り返るとともに後期のグループ別学習の内容について知る 45分
	11 ナチュラル保育検定 <予習>テキスト等を活用した事前学習 45分 <復習>検定の振り返り 45分
	12 後期グループ別学習に向けて <予習>これまでの学びを振り返り、自身の課題を整理する 45分 <復習>後期グループ別学習に向けて活動内容を整理する 45分
	13 TDL事前学習/視覚障害者スマートフォンサポーター講習会 <予習>ホスピタリティについて考える/視覚障害者の特性について調べる 45分 <復習>ホスピタリティについて整理する/視覚障害者の特性と支援の在り方について整理する 45分
	14 視覚障害者スマートフォンサポーター講習会/TDL事前学習 <予習>視覚障害者の特性について調べる/ホスピタリティについて考える 45分 <復習>視覚障害者の特性と支援の在り方について整理する/ホスピタリティについて整理する 45分
15 建学の精神アンケート、学習ポートフォリオ、子ども学演習Ⅰの振り返り <予習>体験学習などの目的・内容を整理する 45分 <復習>体験学習の進め方を確認するとともに、後期に向けた取組を整理する 45分	
定期試験	◆定期試験は行いません。

授 業 科 目 名	子ども学演習Ⅱ*			教 員 名	酒井 誠 / 福泉 博子		
配 当 年 次	1	開 講 時 期	後 期	単 位 数	1	授 業 形 態	演 習
卒 業 ・ 免 許 ・ 資 格 と の 関 係	◎卒業必修				ナンバリング	1D602	
授 業 内 容 を 示 す キ ー ワ ー ド	データサイエンス、体験学習、行事、保育体験、ナチュラル保育検定、保育に関する専門性、個人面談						
授 業 の 概 要	<p>・保育者としての資質を身に付ける体験的な学びを基本としながら、より専門的なデータの活用に繋がる「傾向把握」や「予測」、「比較分析」などのデータサイエンス教育の手法の基礎・基本について理解できるよう進めます。</p> <p>・こうした学びを通し、よりよい保育者を目指す学生としての基本的な生活態度、基本的なコミュニケーション能力を育み、社会人・職業人としての使命感や、保育者として望ましい資質や指導力などの職業観等について身に付けていくこととする。特に、グループ別学習においては、幼児教育に携わっている企業と連携し、保育現場での実践活動の状況等をデータ化しながら、将来、幼児教育に携わる者としての実践力につながる学びを進めます。</p> <p>・併せて、里山保全体験活動においては、NPO法人里山環境プロジェクト・はとやまの方の指導のもと、鳩山町(石坂の森)の里山保全について学びます。</p>						
授 業 の ね ら い と 到 達 目 標	<p>【ねらい】 体験学習、保育体験、行事等に関する事前学習・準備、グループ別学習等を通して保育者としての学びの意欲を高め、社会人・職業人としての使命感や自立心を涵養する。特にグループ別学習においては、各自の保育者としての資質向上を目指した体験的な活動(データ分析などの手法も含む)に取り組む。</p> <p>【到達目標】 (1) 幼稚園、保育所、社会福祉施設の実地を体験し理解している。 (2) 保育の方法・技術の実際を観察や記録を通して理解している。 (3) 園行事の企画・運営の基礎を理解し、それに参加したり補助的な役割を担うことができる。 (4) 基本的な生活態度・学習態度、望ましい職業観・使命感等を身につけている。</p>						
授 業 の 方 法 等	90分13回(合計52時間)の授業を行います。 ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業及び自主学習支援を行います。 また、アクティブラーニングの手法を取り入れ、[PBL/反転授業/ディスカッション/ディベート/グループワーク/プレゼンテーション/実習/フィールドワーク]を授業内で行います。						
成 績 評 価 の 基 準 と 方 法	■授業への取り組み・態度 50% ■提出物 50%						
D P に 掲 げ る 学 力 の 割 合	DP1:30% DP2:10% DP3:30% DP4:10% DP5:10% DP6:10% [合計100%]						
教 科 書	Natural保育検定テキストWeb版。(※やまたんテキストWeb版) その他、必要な資料は適宜配布します。						
参 考 書	適宜、資料を配付します。						
関 連 科 目	子ども学演習Ⅰ 子ども学ゼミナールⅠ・Ⅱ キャリアアップセミナーⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ						
質 問 受 付 の 方 法	適宜、クラス担任/プレゼミナール担当教員の研究室または授業内で直接対応します。						
履 修 上 の 注 意	山緑祭の参加、その他体験学習への参加は必須です。 活動等のスケジュールは自ら細目に確認するようにしてください。また、指導者等の都合により活動内容や期日等を変更する場合がありますので、確認しながら学習に取り組むようにしてください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	後期オリエンテーション、建学の精神表彰、TDL振り返り、防災避難訓練、データサイエンス教育について 〈予習〉後期の学習計画を立てる、防災避難訓練について考える 45分 〈復習〉後期の学習計画を確認する、防災避難訓練を振り返る 45分
	2	グループ別学習① 保育におけるデータの種類 〈予習〉グループ別学習について確認する 45分 〈復習〉今後の活動について整理する 45分
	3	里山保全体験学習・保育におけるデータの種類の実際 〈予習〉里山保全体験学習(実地体験)の目的・内容を理解する 45分 保育におけるデータの種類の確認 20分 〈復習〉里山体験学習の振り返り 10分。保育におけるデータの活用状況 15分
	4	グループ別学習② 子どもの発達データについて 〈予習〉今後の活動の準備を行う 45分 〈復習〉今後の活動について整理する 45分
	5	実習報告会及び懇談会 保育所等における日常の記録の内容 〈予習〉教育実習Ⅰに向け自分の課題について整理する 45分 〈復習〉2年生からの指導助言を受け教育実習Ⅰに向けた取組を整理する 45分
	6	グループ別学習③ 発達を支える言葉のかけ方、かかわり方(活動データ) 〈予習〉これまでの活動を振り返り、発達を支えるよりよい言葉のかけ方やかかわり方について考える 45分 〈復習〉今後の活動に向けて準備する 45分
	7	保育体験Ⅲ(施設見学) 現地において発達を支えるよりよい言葉のかけ方やかかわり方を学ぶ 〈予習〉施設見学の準備、よりよい言葉のかけ方や働きかけ方について整理する 45分 〈復習〉記録等をまとめる 45分
	8	山緑祭、Yamamura Juhla Juhla 準備 活動データ取得に向けた準備① 〈予習〉クラスとグループでの企画を考える。当日参加する園児とのかかわりを整理する 45分 〈復習〉クラスとグループでの討議を振り返る 45分
	9	山緑祭、Yamamura Juhla Juhla 準備 活動データ取得に向けた準備② 〈予習〉クラスとグループでの準備を計画する。当日参加する園児とのかかわりを整理する 45分 〈復習〉クラスとグループでの活動を振り返る 45分
	10	山緑祭、Yamamura Juhla Juhla 準備 活動データ取得に向けた準備③ 〈予習〉クラスとグループでの準備を確認する。当日参加する園児とのかかわりを整理する 45分 〈復習〉クラスとグループでの活動を振り返る 45分
	11	グループ別学習④ 保護者とのやりとりのデータ化 〈予習〉これまでの活動を振り返る。連絡帳や面談記録から保護者とのやりとりのデータ化の可能性を探る 45分 〈復習〉保護者とのやりとりのデータ化の可能性を整理する。発表会に向けて準備する 45分
	12	グループ別学習発表会 データサイエンス教育の整理 〈予習〉グループの活動について振り返る 45分 〈復習〉2年次のゼミナール活動(子どもとのかかわり合いの定量分析を含む)について学び意識を高める 45分
	13	建学の精神アンケート、学習ポートフォリオ、後期子ども学演習の振り返り 〈予習〉1年次の学習を振り返り、2年次に向けての抱負を考える 45分 〈復習〉振り返りを確認する 45分
定 期 試 験	◆定期試験は行いません。	

授業科目名	子ども学ゼミナールⅠ*			教員名	相沢 和恵 / 宇田川 和久 高後 仁 / 橋本 淳一		
配当年次	2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修			ナンバリング	2D603		
授業内容を示すキーワード	ゼミナール 専門的知識・スキル ナチュラル保育検定						
授業の概要	<p>建学の精神(「質実」「英知」「愛敬」)を旨とし、子ども学科における「高い保育の専門性と豊かな人間性を兼ね備え、地域社会に貢献できる骨太な人材の育成」という理念の下、①保育者及び社会人として必要な教養、専門的知識・技能の習得、②現代社会における諸問題を総合的な知識で捉え、考え、表す能力の醸成、③望ましい職業観を持ち、人や自然への深い理解と愛情を示す態度を培うことを目指します。</p> <p>保育所や学校・福祉の現場等における実務や教員経験がある者が、その経験を活かして具体的・実践的な授業を行います。</p>						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】</p> <p>クラスやゼミナールでの活動を通して、保育の専門的知識や技能、多様な教養を学習し、現代社会を取り巻く現状を捉える力を養います。さらに、自らが職業人として必要な課題を見出し、分析や考察したことを他者へ表現する方法を学びます。その上で、主体性を持って多様な人々との関わる態度を養い、また他者を受容する姿勢を身につけます。</p> <p>【到達目標】</p> <p>(1)クラスやゼミナールでの活動へ主体的に取り組み、得たい知識や技能を自発的に獲得できる。 (2)職業に対する求められる態度、マナー、コミュニケーションを理解し、自分事として行動に示せる。 (3)多様な体験や様々な他者との関わりを主体的に受け止め、肯定的、建設的に物事を捉え、体験や関わりを価値あるものにしうとできる。</p>						
授業の方法等	90分12回(合計48時間)授業を行います。 ゼミナールでは、少人数の学生が集まり、自ら研究し、発表、討論を行う形式を取り、教員は主体的な学生の学習に対して、指導及び支援を行います。 アクティブラーニングの手法を取り入れ、【PBL/ディスカッション・ディベート/グループワーク/プレゼンテーション/フィールドワーク】を行います。						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度 50% ■提出物 50%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:30% DP2:10% DP3:30% DP4:10% DP5:10% DP6:10% [合計100%]						
教科書	教科書に代わる資料を、適宜配付します。						
参考書	適宜、資料を配付します。						
関連科目	子ども学演習Ⅰ・Ⅱ 子ども学ゼミナールⅡ キャリアアップセミナーⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ						
質問受付の方法	適宜、クラス担任/ゼミナール担当教員の研究室または授業内で直接対応します。						
履修上の注意	この科目の授業スケジュールは、ゼミナールごとにより異なりますので、活動内容や活動場所等についても常に自分で確認するようにしてください。 なお、ゼミナール決定までのスケジュールは、3月の履修登録にて、開講ゼミナール一覧を提示し、授業1回目に説明会を行い、希望ゼミナールを期日までに応募します。選考期間を経て、授業2回目に結果を発表し、必要な場合は当日調整します。その際、第一希望のゼミナールに入れない場合もあります。						

授業計画 と 時間外学習	ガイダンス ゼミナールⅠ説明会 クラスの時間(委員等の決定等)
	1 <予習>シラバス・学生便覧(学年歴・学生生活の案内等)を熟読 45分 <復習>学習計画をまとめる 45分
	2 ゼミ発表・調整(体験) <予習>ゼミの活動に対して準備する 45分 <復習>今後のゼミ活動の内容を整理する 45分
	3 ゼミ① <予習>ゼミの活動に対し準備する 45分 <復習>振り返り 45分
	4 ゼミ② <予習>ゼミの活動に対し準備する 45分 <復習>振り返り 45分
	5 ゼミ③ <予習>ゼミの活動に対し準備する 45分 <復習>振り返り 45分
	6 ゼミ④ <予習>ゼミの活動に対し準備する 45分 <復習>振り返り 45分
	7 ゼミ⑤ <予習>ゼミの活動に対し準備する 45分 <復習>振り返り 45分
	8 ゼミ⑥ <予習>ゼミの活動に対し準備する 45分 <復習>振り返り 45分
	9 ゼミ⑦ <予習>ゼミの活動に対し準備する 45分 <復習>振り返り 45分
	10 ゼミ⑧(前期ゼミ発表会) <予習>ゼミの活動に対し準備する 45分 <復習>振り返り 45分
	11 クラスの時間 <予習>自身の課題を整理する 45分 <復習>振り返り 45分
12 建学の精神アンケート、学習ポートフォリオ、前期活動の振り返り <予習>将来に向けた学習などの目的・内容を整理する 45分 <復習>今後の学習について理解を深めるとともに、後期に向けた取組を整理する 45分	
定期試験	◆定期試験は行いません。

授業科目名	子ども学ゼミナールⅡ*			教員名	山村 穂高 / 伊藤 えつ子 酒井 誠 / 福泉 博子		
配当年次	2	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修				ナンバリング	2D604	
授業内容を示すキーワード	ゼミナール 専門的知識・技術 行事 ナチュラル保育検定						
授業の概要	建学の精神(「質実」「英知」「愛敬」)を旨とし、子ども学科における「高い保育の専門性と豊かな人間性を兼ね備え、地域社会に貢献できる骨太な人材の育成」という理念の下、①保育者及び社会人として必要な教養、専門的知識・技能の習得、②現代社会における諸問題を総合的な知識で捉え、考え、表す能力の醸成、③望ましい職業観を持ち、人や自然への深い理解と愛情を示す態度を培うことを目指します。 保育所や学校・福祉の現場等における実務や教員経験がある者が、その経験を活かして具体的・実践的な授業を行う。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 クラスやゼミナールでの活動を通して、保育の専門的知識や技能、多様な教養を学習し、現代社会を取り巻く現状を捉える力を養います。さらに、自らが職業人として必要な課題を見出し、分析や考察したことを他者へ表現する方法を学びます。その上で、主体性を持って多様な人々との関わる態度を養い、また他者を受容する姿勢を身につけます。 【到達目標】 (1)クラスやゼミナールでの活動へ主体的に取り組み、得たい知識や技能を自発的に獲得できる。 (2)職業に対する求められる態度、マナー、コミュニケーションを理解し、自分事として行動に示せる。 (3)行事他、多様な体験や様々な他者との関わりを主体的に受け止め、肯定的、建設的に物事を捉え、体験や関わりを価値あるものにしうとできる。						
授業の方法等	ゼミナールでは、少人数の学生が集まり、自ら研究し、発表、討論を行う形式を取り、教員は主体的な学生の学習に対して、指導及び支援を行います。 アクティブラーニングの手法を取り入れ、【PBL/ディスカッション・ディベート/グループワーク/プレゼンテーション/フィールドワーク】を行います。						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度 50% ■提出物 50%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:30% DP2:10% DP3:30% DP4:10% DP5:10% DP6:10% [合計100%]						
教科書	教科書に代わる資料を、適宜配付します。						
参考書	適宜、資料を配付します。						
関連科目	子ども学演習Ⅰ・Ⅱ 子ども学ゼミナールⅠ キャリアアップセミナーⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ						
質問受付の方	適宜、クラス担任/ゼミナール担当教員の研究室または授業内で直接対応します。						
履修上の注意	この科目の授業スケジュールは、ゼミナールごとに異なりますので、活動内容や活動場所等についても常に自分で確認するようにしてください。 なお、ゼミナール決定までのスケジュールは、後期オリエンテーション時に開講ゼミナール一覧を提示し、授業2回目に説明会を行った後、希望ゼミナールを期日までに応募します。選考期間を経て、授業3回目に結果を発表し、必要な場合は当日調整します。その際、第一希望のゼミナールに入れない場合もあります。						

授業計画 と 時間外学習	後期オリエンテーション、建学の精神表彰、ゼミ説明、防災避難訓練
	1 〈予習〉後期の学習計画を立てる、防災避難訓練について考える 45分 〈復習〉後期の学習計画を確認する、防災避難訓練を振り返る 45分
	2 ゼミ発表・調整 〈予習〉ゼミの活動に対して準備する 45分 〈復習〉今後のゼミ活動の内容を整理する 45分
	3 ゼミ① 〈予習〉ゼミの活動に対し準備する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	4 実習報告会及び懇談会 〈予習〉教育実習を振り返るとともに、今後の保育の実践について考える 45分 〈復習〉当日の知見をまとめる 45分
	5 ゼミ② 〈予習〉ゼミの活動に対し準備する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	6 ゼミ③ 〈予習〉ゼミの活動に対し準備する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	7 ゼミ④ 〈予習〉ゼミの活動に対し準備する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	8 Yamamura Juhla Juhla / 山緑祭準備 ① 〈予習〉グループでの企画を考える 45分 〈復習〉グループでの討議を振り返り、準備する 45分
	9 Yamamura Juhla Juhla / 山緑祭準備 ③ 〈予習〉グループでの活動を準備する 45分 〈復習〉グループでの討議を振り返る 45分
	10 ゼミ⑤ 〈予習〉ゼミの活動に対し準備する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	11 ゼミ⑥ 〈予習〉ゼミの活動に対し準備する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	12 ゼミ⑦ 〈予習〉ゼミの活動に対し準備する 45分 〈復習〉振り返り 45分
13 ゼミ⑧(後期ゼミ発表会) 〈予習〉ゼミの活動に対し準備する 45分 〈復習〉振り返り 45分	
定期試験	◆定期試験は行いません。

授 業 科 目 名	乳児小児救命法			教 員 名	酒 井 誠 / マスターワークス		
配 当 年 次	2	開 講 時 期	集 中	単 位 数	2	授 業 形 態	演 習
卒 業 ・ 免 許 ・ 資 格 と の 関 係					ナンバリング	2D605	
授 業 内 容 を 示 す キ ー ワ ー ド	乳児、小児、救命法、心肺蘇生法、けが・事故・病気、手当						
授 業 の 概 要	保育環境においては、睡眠時の呼吸停止や窒息、溺水など、生命にかかわる緊急時への対応が最も重要であり、さらに日常的なけがや急病への適切な対応と手当への仕方を習得しておくことが必要となります。本授業は生命の優先順位に基づき、現場の手順に沿って救命・応急処置の講義、実習を行います。						
授 業 の ね ら い と 到 達 目 標	【ねらい】 この授業の目的は、保育現場における事故や急病の予防と、万一の緊急時に医師や救急隊に引き継ぐまでの手当を習得します。保育者・教育者として、こどもの生命と安全を守るための必須項目です。 【到達目標】 全ての授業に出席することにより、L.S.F.A.-Children's(小児専門認定プログラム)の「FIRST AIDER with CPR Training Certificate」認定カードを申請し、取得することができる。認定カード記載の有効期限は2年間になるが、その後もL.S.F.A.本部により訓練記録が保管されるため訓練内容の証明が可能である。						
授 業 の 方 法 等	こどもの事故や急病の現場における行動手順と緊急度の優先順位に沿って実習を進めます。短時間の講義を行った後、すぐに該当する実技演習をグループワークにて行います。なお心肺蘇生などの救命処置においては、最新ガイドラインに準拠し、乳児・小児に特化した実習を行います。						
成 績 評 価 の 基 準 と 方 法	■試験〔実技〕20% ■授業への取り組み・態度 20% ■その他〔事前・事後レポート・中間試験 各20点×3〕60%						
D P に 掲 げ る 学 力 の 割 合	DP1:30% DP2:20% DP3:30% DP4:10% DP5:0% DP6:10% 〔合計100%〕※10%単位						
教 科 書	「こどもの事故と応急手当」吉田一心・伊東和雄著 マスターワークス ※購入方法については後日指示する。						
参 考 書	適宜、資料を配付します。						
関 連 科 目	子どもの保健 子どもの健康と安全						
質 問 受 付 の 方 法	講師控室・講習中随時						
履 修 上 の 注 意	実技訓練に適した清潔な服装および髪型で参加。 遅刻・欠席・私語・居眠り等は、内容理解不足として単位修得が不可(不合格)となる場合があります。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	事前指導・受講上の留意点、こどもの安全と事故事例、及び法的責任に関する法令について 〈予習〉シラバスと事前に配付するプリントを基に内容を確認する。90分 〈復習〉当日配付のプリントをまとめる。90分
	2	保育環境における突然死と予防対策、こどもの事故の現状と応急手当の必要性 〈予習〉教科書P3-9 事故防止と応急手当の役割を確認。90分 〈復習〉保育睡眠中の安全管理方法をリストアップする。教科書P8 連携の必要性を確認する。90分
	3	事故や急病の現場における観察と接触(安全確保、感染予防) 〈予習〉教科書P12-13現場における安全確保の手順を確認。感染防止の方法を確認する。90分 〈復習〉事故現場に遭遇した際の4つの基本的な手順をまとめる。90分
	4	生の徴候(反応、呼吸、出血)の調査、反応がないこどもの呼吸管理(気道確保と回復体位) 〈予習〉教科書P15-16 脳への酸素供給の重要性とP20-22意識不明者への気道確保の方法を確認。90分 〈復習〉緊急性の評価(赤、黄、緑)をまとめる。呼吸管理の重要性を再確認。90分
	5	心肺停止への一次救命処置(乳児、小児の心肺蘇生/CPR) 〈予習〉教科書P25-29 乳児、小児への心肺蘇生の手順および胸骨圧迫、人工呼吸の方法を確認。90分 〈復習〉心肺蘇生の手順とスキルをまとめる。心原性心停止と呼吸原性心停止の違いをまとめる。90分
	6	心肺蘇生とAEDの使用 〈予習〉教科書P36-39 AEDのメカニズムと使用方法を確認。90分 〈復習〉乳児、小児への心肺蘇生とAED使用の手順をまとめる。90分
	7	気道内異物の除去(乳児、小児) 〈予習〉教科書P42-44 乳児と小児の窒息時の手順と手当の方法を確認する。90分 〈復習〉気道内異物除去方法と、窒息事故防止についてまとめる。90分
	8	止血とショック管理(止血法、保温法) 〈予習〉教科書P47-50 止血の方法とショックの徴候・症状を確認する。90分 〈復習〉直接圧迫による止血方法を再確認する。体位管理と保温の必要性についてまとめる。90分
	9	全身のけがの調べ方、各部のけがと応急手当(頭、首、胸、腹のけが、傷と包帯、骨折、熱傷など) 〈予習〉教科書P52-55 けがの調査17項目とP58-69 けがの応急手当を確認。90分 〈復習〉17項目のけがの確認方法をまとめる。生命に関わるけがの注意点をまとめる。90分
	10	中間指導 9回目までの内容を確認するため筆記試験とフィードバック 〈予習〉9回目までの内容をテキストを参照し確認する。90分 〈復習〉手順ワークシートをまとめる。90分
	11	こどもの急病の調査(脈拍、呼吸、体温、顔色など) 〈予習〉教科書P70 4つの調査項目を確認する。90分 〈復習〉脈拍、呼吸、体温、顔色の観察方法をまとめる。90分
	12	こどもの病気の手当(熱中症、発熱、けいれん、腹痛、脱水、アナフィラキシーなど) 〈予習〉教科書P72-83 こどもに起こる急病と手当を確認する。90分 〈復習〉保育園でよく起こりうる熱中症、けいれん、アナフィラキシーへの対応方法をまとめる。90分
	13	生物によるけが、中毒、こどもの虐待、災害時の注意 〈予習〉教科書P84-94 生物によるけが、中毒、災害時の対応について確認する。90分 〈復習〉野外活動の際に注意すべき生物のけがについてまとめる。90分
	14	心肺蘇生実技評価セッション(乳児、小児) 〈予習〉実技評価表を使用し、乳児・小児への心肺蘇生手順とスキルを確認する。90分 〈復習〉実技評価の結果から、改善の必要な手順とスキルを再確認する。90分
	15	事後指導 3日間のまとめ、振り返りシートへの記入 〈予習〉10-15回目までの内容をテキストを参照し確認する。90分 〈復習〉ワークシートをまとめる。90分
定 期 試 験	◆集中講義のため定期試験は実施しないが、授業中に行われる「FIRSTAIDER with CPR Training Certificate」認定取得のための実技試験や中間試験等を実施します。	

授 業 科 目 名	アウトドア演習A			教 員 名	去田 ゆかり		
配 当 年 次	1・2	開 講 時 期	前 期	単 位 数	1	授 業 形 態	演 習
卒 業 ・ 免 許 ・ 資 格 と の 関 係						ナンバリング	3D606
授 業 内 容 を 示 す キ ー ワ ー ド	自然あそび・ネイチャー・五感・ネイチャーゲームリーダー・いつでもだれでも・子ども・親子						
授 業 の 概 要	保育現場でも役立つネイチャーゲームリーダーの資格取得を目指します。五感を使って自然物を探すビンゴゲームや、落ち葉や木の実を活用した活動等を体験しながら、仲間づくりや人間関係づくりの方法を学びます。自然の美しさや面白さ、不思議さ等を発見する体験を通して、自然や他者への共感を育み、命を大切にすることを養います。実際にネイチャーゲームを体験する中で、保育現場で活用できるアクティビティや、指導者としての心構えを習得します。						
授 業 の ね ら い と 到 達 目 標	【ねらい】 保育所・幼稚園等ですぐに活用できる遊びや子どもの自然体験活動について、ネイチャーゲームを実際に体験しながら学び、人や自然を深く愛し慈しむことのできる保育士・幼稚園教諭としての基礎を培う。 なお、希望者はネイチャーゲームリーダー資格の取得を目指す。 【到達目標】 ネイチャーゲームを体験する中で、自然への理解を深め、豊かな感性を育み、子どもたちに実践できるアクティビティを身につけることができる。 園における円滑な仲間づくりや人間関係づくりの方法を理解し、チームワークづくりについて主体的に考えることができる。						
授 業 の 方 法 等	講義と演習を合わせ、90分授業を12回(48時間)行います。 アクティブラーニングの手法を取り入れ、グループワークを中心に、個人・少人数・多数とバリエーションを変えながら、ネイチャーゲーム体験とフィールドワークを行います。 仲間同士のディスカッションや実習を授業内で行います。						
成 績 評 価 の 基 準 と 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ■定期試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 40% ■提出物 10% 						
D P に 掲 げ る 学 力 の 割 合	DP1:10% DP2:10% DP3:20% DP4:20% DP5:30% DP6:10% 〔合計100%〕						
教 科 書	書名「シェアリングネイチャー 自然のよろこびをわかちあおう」(ISBN:978-4906937004) 著者 ジョセフ・コーネル / 出版社 (公社)日本シェアリングネイチャー協会 ※購入方法については、授業時に指示する						
参 考 書	適宜紹介、資料を配付						
関 連 科 目	アウトドア演習B						
質 問 受 付 の 方 法	授業中および授業内のふりかえりシート、授業の前後の休憩など随時受付ます。						
履 修 上 の 注 意	学内で演習と講義を行い、フィールドワークでは教室外(構内)の活動になります。 雨天時は室内で活動しますが、雨の程度により野外に出ることがあります。 動きやすい服装・靴など、虫刺され予防など活動にふさわしい身だしなみで参加してください。 テキスト代及び資格取得に別途資格費用がかかる為、授業中に案内します。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	授業内容について・ネイチャーゲームの概要・仲間作りゲーム	
	1	〈予習〉シラバスを読む 30分 〈復習〉ネイチャーゲームについて調べる 60分
	2	生き物の特徴に気づくネイチャーゲーム 〈予習〉動物の特徴について調べる 45分 〈復習〉個々の動物の生態についてまとめる 45分
	3	生き物の知恵に気づくネイチャーゲーム 〈予習〉短大内で発見した生き物(植物も含む)について調べる 45分 〈復習〉動物の生きる知恵についてまとめる 45分
	4	観察力を高めるネイチャーゲーム、ネイチャーゲームの理念 〈予習〉日本シェアリングネイチャー協会のホームページを見て、ネイチャーゲームの概要を知る 45分 〈復習〉指導員の心構えをまとめる 45分
	5	身近な自然の美しさや不思議さに気づくネイチャーゲーム、ネイチャーゲーム実践法 〈予習〉ネイチャーゲームの理論を読む 45分 〈復習〉下見の重要性についてまとめる 45分
	6	他の人の感性に気づくネイチャーゲーム、安全対策 〈予習〉指導者として子どもの前に立った時の留意点を考える 45分 〈復習〉実践時の安全対策についてまとめる 90分
	7	保育現場で使えるネイチャーゲーム1 〈予習〉指導者の立場に立ち、実践時のシミュレーションをしてみる 45分 〈復習〉ネイチャーゲームリーダーの役割をまとめる 45分
	8	保育現場で使えるネイチャーゲーム2 (実践事例を知る) 〈予習〉保育現場で指導する際の留意点について考える 45分 〈復習〉実践での活用場面を具体的に考える 45分
	9	対象者に合わせたネイチャーゲーム1 〈予習〉幼児の発達特性について考え、保育現場でのネイチャーゲーム活用を考える 45分 〈復習〉年齢や発達による配慮や工夫についてまとめる 45分
	10	シェアリングネイチャーウェルネス体験口 〈予習〉子どもの感性を育む重要性について考える 45分 〈復習〉自然が与える心と体の健康についてまとめる 45分
	11	ネイチャーゲーム指導実践実習(ネイチャーゲームリーダー登録者は検定試験を兼ねる) 〈予習〉実践する活動の指導計画を作成する(教材準備) 45分 〈復習〉実践実習を通して、気がついたことをふりかえる 45分
12	全体のふりかえり 〈予習〉体験を通してネイチャーゲームが育む子どもの力を考える 45分 〈復習〉ネイチャーゲームについてまとめる 45分	
定 期 試 験	<ul style="list-style-type: none"> ◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分 	

授 業 科 目 名	アウトドア演習B			教 員 名	堀口 芳嗣 / 山村 穂高		
配 当 年 次	2	開 講 時 期	後期/後期集中	単 位 数	2	授 業 形 態	演習
卒 業・免 許・資 格 と の 関 係	キャンプ インストラクター				ナンバリング	2D607	
授 業 内 容 を 示 す キーワード	キャンプインストラクター キャンプ キャンプのアクティビティ 教育心理 野外教育						
授 業 の 概 要	<p>キャンプインストラクターの資格取得を目指します。</p> <p>キャンプインストラクターとは、組織キャンプでの活動を指導できる能力を持った指導者で、キャンプの基礎的な知識、技術、考え方を習得していると認定される者に与えられます。組織化された複数の指導者により運営・指導がなされる「幼児向けの組織キャンプ」を中心に、キャンプの目的やねらい、キャンプの特性、生活技術、さまざまなアクティビティ、キャンプの安全、キャンプの指導など、理論と実技を学びます。授業には実習を含み、グループワークにより、主体的な学びを行います。</p>						
授 業 の ね ら い と 到 達 目 標	<p>【ねらい】</p> <p>組織キャンプでの活動(アクティビティ)を指導できる能力を養うため、基礎的な知識、技術、考え方を習得し、希望者はキャンプインストラクターを申請し、取得する。</p> <p>【到達目標】</p> <p>組織キャンプにおいて、小集団の生活を指導する基礎的な理論(キャンプの特性、対象、指導、安全)を理解している。さらに基礎的な技術(キャンプにおける生活技術、アクティビティ)を身につけ、実践につなげることができる。</p>						
授 業 の 方 法 等	<p>屋内での講義、演習、実技など、多様な授業形態に加え、宿泊によるキャンプも実施します。資格認定に関しては、後学期内に実施します。2026年10月10日(土)～11日(日)に、集中講義及び実習を行います。また、ICT(EduNavi)を活用した、双方向型の授業及び自主学習支援を行います。</p>						
成 績 評 価 の 基 準 と 方 法	<p>■定期試験[筆記] 50%</p> <p>■授業への取り組み・態度 50%</p>						
D P に 掲 げ る 学 力 の 割 合	DP1:10% DP2:10% DP3:20% DP4:20% DP5:30% DP6:10% [合計100%]						
教 科 書	「キャンプ指導者入門」日本キャンプ協会指導者要請委員会 公益社団法人日本キャンプ協会 [ISBN:978-4904008157] ※購入方法については後日指示する。						
参 考 書	必要に応じて紹介します。						
関 連 科 目	アウトドア演習A						
質 問 受 付 の 方 法	授業の開始前、終了後をはじめ、専任の科目担当教員の研究室等にて受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	学内での演習と講義、実習の集中授業を行います。集中授業では運動できる身だしなみで参加して下さい。テキスト代、宿泊費及び資格取得に申請登録費用等がかかるためよく確認して下さい。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	キャンプの指導 めざせ！キャンプインストラクター(アイスブレイキング、キャンプインストラクターの資質と役割) 〈予習〉教科書を読んでおく。90分 〈復習〉用意したプリント課題を行う。90分
	2	キャンプの特性 キャンプの意義と目的、キャンプの組織と種類 〈予習〉キャンプの意義と目的、組織と種類について用意したプリント課題を行う。90分 〈復習〉用意したプリント課題を行う。90分
	3	様々なアクティビティ キャンプファイア指導法 〈予習〉様々なアクティビティ、キャンプファイアについて用意したプリント課題を行う。90分 〈復習〉用意したプリント課題を行う。90分
	4	キャンプの生活技術 キャンプの基本装備 〈予習〉キャンプの生活技術、基本装備について用意したプリント課題を行う。90分 〈復習〉用意したプリント課題を行う。90分
	5	
	6	10月10日、11日 宿泊等による集中講義、実習、グループワーク 〈内容〉 ・キャンプの生活技術(テント設営・撤収法、アウトドアクッキング・工具及び道具使用法)
	7	・様々なアクティビティ(キャンプファイア指導法、人とかかわるアクティビティ、キャンプクラフト、自然観察)
	8	・キャンプの安全(ファーストエイドの実際) ・キャンプの安全(安全管理)
	9	・キャンプの対象(人間の理解、人間と自然の関係) ・キャンプの指導(指導者のためのコミュニケーションスキル、キャンパーの観察と記録)
	10	
	11	キャンプの指導(キャンプと環境教育) 〈予習〉様々なアクティビティ、野外ゲームについて用意したプリント課題を行う。90分 〈復習〉用意したプリント課題を行う。90分
	12	キャンプの生活技術 ロープワーク 〈予習〉キャンプの生活技術、ロープワークについて用意したプリント課題を行う。90分 〈復習〉用意したプリント課題を行う。90分
	13	様々なアクティビティ(創作・芸術活動) 〈予習〉キャンプの安全、事故事例について用意したプリント課題を行う。90分 〈復習〉用意したプリント課題を行う。90分
	14	キャンプの安全(キャンプと倫理) 〈予習〉キャンプの対象、自然の理解について用意したプリント課題を行う。90分 〈復習〉用意したプリント課題を行う。90分
	15	授業の振り返り(EduNaviの効果的な活用) 〈予習〉それまで配布したプリントの内容を覚える。90分 〈復習〉使用したプリントでわからなかった部分を覚えてくる。90分
定 期 試 験	◆定期試験[筆記] 60分 ◆振り返り・フィードバック[定期試験の解説を行う] 30分	

授業科目名	ソーイング演習			教員名	成田 吾津子		
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係				ナンバリング	1D608		
授業内容を示すキーワード	建学の精神、学園の歴史、浴衣作り、着付け、着物のたたみ方、マナー						
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学園の建学の精神や歴史を理解し、学園のルーツである和裁を体験し自分の浴衣を製作します。 ・着付け、帯結び、着物着用時のマナー等を学習します。 						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学園のルーツに触れ、建学の精神を理解する。 ・実際に和裁に触れ、和の知識を体験する。 ・自分の浴衣を完成させ、着用することにより達成感と自信を得る。 <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学園の建学の精神、創立のルーツについて説明できる。 ・和裁の知恵が詰まった浴衣と製作方法を理解し、自分で浴衣を作ることができる。 						
授業の方法等	講義と演習方式で行います。						
成績評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物(浴衣完成) 50% ■その他[単元ごとのできばえ] 30% 						
DPに掲げる学力の割合	DP1:40% DP2:20% DP3:10% DP4:10% DP5:10% DP6:10% [合計100%]						
教科書	「和裁教本 ゆかた」(山村学園創設者 山村 婦みよ先生) ※購入の方法については授業時に指示します。						
参考書	適宜、プリントを配付します。						
関連科目	子ども文化演習B						
質問受付の方法	授業中は勿論、授業前・後に理解ができるまで質問を受け付けます。						
履修上の注意	浴衣の生地等を後期授業開始前に各自で購入する必要があります。事前にガイダンス(授業計画・教材の説明・用具の使い方)を実施するので必ず参加してください。また、次年度に着付け・帯結び・ヘアスタイル・マナー指導等の補習を行います。						

授業計画 と 時間外学習	柄合わせ・裁断
	1 <予習>各部の名称を覚えること。20分 <復習>袖標付け、袖下袋縫いができるように柄合わせ・裁断を終わらせる。160分
	2 袖標付け・ミシンの使い方・アイロンの使い方・袖下袋縫い <予習>ミシンの使い方を理解し、練習する。20分 <復習>袖丸みの始末・袖口三つ折りぐけに進めるようにする。160分
	3 袖丸みの始末・袖口三つ折りぐけ <予習>三つ折りぐけの方法を調べる。20分 <復習>見頃標付け(後ろ見頃・前見頃)・背縫い・背縫いきせのかけ方に進めるようにする。160分
	4 見頃標付け(後ろ見頃・前見頃)・背縫い・背縫いきせのかけ方 <予習>きせのかけ方について調べる。20分 <復習>肩当て・居敷当てに進めるようにする。160分
	5 肩当ての縫い方(新モス使用) <予習>寸法通りにミシンがかけられるよう練習する。90分 <復習>肩当て付け・居敷当てに進めるようにする。90分
	6 肩当て付け <予習>耳ぐけ・折りぐけについて調べる。20分 <復習>衤標付け・衤襟下三つ折りぐけに進めるようにする。160分
	7 衤標付け・衤襟下三つ折りぐけ <予習>衤標付け・衤襟下三つ折りぐけを進める。90分 <復習>三つ折りぐけを完成させる。90分
	8 衤付け・衤付け始末 <予習>きせのかけ方について調べる。20分 <復習>衤付け・衤付け始末を終わらせる。160分
	9 襟標付け・共衤標付け・共衤付け <予習>本ぐけの方法を理解する。20分 <復習>襟標付け・共衤標付け・共衤付けを進める。160分
	10 衤付け(三つ衤芯の入れ方・待ち針の打ち方) <予習>棒衤・ばち衤・広衤の形を理解する。20分 <復習>衤付けを進める。160分
	11 衤(きせのかけ方)・衤先の始末・衤ぐけ <予習>ほんぐけの針の入れ方・出し方を調べる。20分 <復習>脇縫いに進めるようにする。160分
	12 脇縫い・脇縫い代の始末 <予習>きせをかけた後の、かくしじつけの方法を理解する。20分 <復習>脇縫い代の始末を進める。160分
	13 脇縫い始末 <予習>脇縫い代の始末を進める。90分 <復習>正しい耳ぐけの方法を、再度見直す。90分
	14 裾ぐけ(額縁の作り方) <予習>額縁の作り方について調べる。20分 <復習>裾の長さを確認する。160分
15 袖付け・袖付け始末・完成確認・仕上げ(アイロンのかけ方)・浴衣のたたみ方 <予習>かんぬき止め(6ヶ所)の方法を覚える。90分 <復習>仕上げ(アイロンのかけ方)・浴衣のたたみ方を練習する。90分	
定期試験	◆定期試験は行わない。

授業科目名	ナチュラルアート			教員名	酒井 誠		
配当年次	1・2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係				ナンバリング	3D609		
授業内容を示すキーワード	「自然を知る」「色彩の活用」「形状のデザイン」「素材の特性を知る」「技法を理解する」						
授業の概要	自然界には様々な色や形、質感があります。この演習授業では自然環境を利用した作品制作を通して、様々な素材・技法の理解と応用力を身につけます。□						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】</p> <p>身近にあるものを使用し、様々な技法を用いて作品を制作することで個々の創作に対する方法の引き出しを広げ、指導を行う際にも適切かつ、イメージを沸かせる事のできる指導者を育成する。図画工作/保育内容表現(造形)よりも深く、専門的な知識を使用し、その技術を保育の現場に転用できないか考察する。</p> <p>【到達目標】</p> <p>素材や道具それぞれに対する固定観念に囚われず、その場その場で目的にあった適切な表現ができるようになる。</p> <p>素材や道具の臨機応変な扱い方を知り、確実に安全な造形ができる、また指導ができるようになる。</p>						
授業の方法等	90分12回(合計48時間)の授業を講義と演習(実技)形式で行います。考え方や手順の説明の後、実際に制作していきます。						
成績評価の基準と方法	<p>■定期試験[筆記] 50%</p> <p>■授業への取り組み・態度 50%</p>						
DPに掲げる学力の割合	DP1:10% DP2:10% DP3:20% DP4:10% DP5:40% DP6:10% [合計100%]						
教科書	適宜、資料を配付						
参考書	適宜紹介、資料を配付						
関連科目	図画工作、保育内容表現、保育内容表現の指導法						
質問受付の方法	オフィスパワーを含めて、随時受け付けます。						
履修上の注意	<p>1.動きやすく、汚れの気にならない服装で臨むこと。汚れを伴う作業を多々行います。</p> <p>2.積極的な姿勢で授業に関わること。集中して制作ができない、またはすぐ飽きてしまう方は履修を控えてください。</p> <p>3.受講に必要な道具、素材は予め指示します、必ず忘れないように持って来て下さい。</p> <p>4.授業課題はその時の天候や環境により、多少前後することがあります。</p>						

授業計画 と 時間外学習	ガイダンス/課題説明/フィールドワーク-作品制作素材の採取-
	1 〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
	2 フィールドワーク-採取したものを利用して作品制作 〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
	3 石膏と風船、押し花を使用した球体型オブジェ制作①/石膏流し込み作業 〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
	4 石膏と風船、押し花を使用した球体型オブジェ制作②/たまご型石膏割り〜やし繊維張り 〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
	5 石膏と風船、押し花を使用した球体型オブジェ制作③/やし繊維貼り〜押し花装飾 〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
	6 石膏と風船、押し花を使用した球体型オブジェ制作④/作品制作 〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
	7 石膏と風船、押し花を使用した球体型オブジェ制作⑤/押し花装飾〜完成 〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
	8 空想生物標本制作①/デザイン及び設定決め〜必要素材の検討〜フィールドワーク 〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
	9 空想生物標本制作②/作品組み立て〜完成 〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
	10 太陽と植物を利用したサイアノタイププリント実習①/説明〜実演〜イメージ固め 〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
	11 太陽と植物を利用したサイアノタイププリント実習②/フィールドワーク(素材調達)〜作品制作 〈予習〉次回の講義内容の確認 20分 〈復習〉各自必要素材の調達 70分
12 太陽と植物を利用したサイアノタイププリント実習③/フィールドワーク(素材調達)〜作品制作 〈予習〉次回の講義内容の確認 20分 〈復習〉筆記試験課題の解答方法について検討する 70分	
定期試験	<p>◆定期試験[筆記] 60分</p> <p>◆振り返り・フィードバック[定期試験の解説を行う] 30分</p>

授業科目名	ダンスムーブメント			教員名	伊藤 えつ子		
配当年次	1・2	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係				ナンバリング	3D610		
授業内容を示すキーワード	身体性・表現・ダンス・振付・発表・子ども向けダンス						
授業の概要	身体表現について発展的・体験的に学ぶ。モダンダンスや現代的なリズムのダンスを基本とした簡単なトレーニングに取り組み、身体性と表現力を身につける。またICTを活用し子ども向けのダンスを覚えたり、グループで様々なジャンルのダンスの振付やミュージカルに挑戦したりする。さらに、動画で振り返ったり、教え合ったりしながら、表現力やコミュニケーション力を磨く。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】 ダンスに関する知識・専門的な技術・表現方法を学び、身体性と表現力を向上させ保育者としての資質を高めることをねらいとする。</p> <p>【到達目標】 ①身体表現や音楽等についての文化的教養を身につける。 ②自身の表現経験を積み重ね、子どもたちとの表現活動に対する身体知・応用力を身につける。 ③身体性と表現力、コミュニケーション力を向上させる。</p>						
授業の方法等	90分12回(合計48時間)の授業を行う。 実技、講義、ビデオ視聴、グループワークを併用して展開する。						
成績評価の基準と方法	<p>■定期試験[レポート] 20%</p> <p>■授業への取り組み・態度 60%</p> <p>■その他[授業内発表] 20%</p>						
DPに掲げる学力の割合	DP1:20% DP2:10% DP3:40% DP4:10% DP5:10% DP6:10% [合計100%]						
教科書	適宜、資料を配付する。						
参考書	適宜、資料を配付する。						
関連科目	幼児体育・保育内容表現・保育内容表現の指導法・子ども文化演習B						
質問受付の方法	適宜、研究室等に受け付ける。						
履修上の注意	<p>1.運動着に着替えて受講する。</p> <p>2.内履き、外履きをロッカーに準備する。</p> <p>3.授業実施場所の変更や準備物等については教員の指示や掲示板等に注意する。</p>						

授業計画 と 時間外学習	オリエンテーション 子ども向けダンスを覚えてレパトリーを広げよう①
	1 <予習>どんなダンス経験をしてきたかをまとめる 45分 <復習>ワークシートの記入と今回の動きの練習 45分
	子ども向けダンスを覚えてレパトリーを広げよう②
	2 <予習>YouTubeで様々な既成のダンスを探す 45分 <復習>ワークシートの記入と今回の動きの復習 45分
	モダンダンスを踊ってみよう①(動き練習)
	3 <予習>モダンダンスのテクニックについて調べる 45分 <復習>ワークシートの記入と今回の動きの復習 45分
	モダンダンスを踊ってみよう②(動き練習)
	4 <予習>モダンダンスの表現について調べる 45分 <復習>ワークシートの記入と今回の動きの復習 45分
	現代的なリズムのダンスを踊ってみよう①(動き練習)
	5 <予習>現代的なリズムのダンスの種類を調べる 45分 <復習>ワークシートの記入と今回の動きの復習 45分
	現代的なリズムのダンスを踊ってみよう②(動き練習)
	6 <予習>現代的なリズムのダンスのテクニックについて調べる。45分 <復習>ワークシートの記入と今回の動きの復習 45分
歌って、踊ってミュージカルに挑戦しよう①(ライオンキング等)	
7 <予習>ミュージカルについて調べる。45分 <復習>ワークシートの記入と今回の動きの復習 45分	
歌って、踊ってミュージカルに挑戦しよう②(ライオンキング等)	
8 <予習>ミュージカルの歌や踊りについて調べる。45分 <復習>ワークシートの記入と今回の動きの復習 45分	
グループ活動ーダンス作品をつくって踊ろう①(テーマや曲を決めて振り付ける)	
9 <予習>課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 <復習>ワークシートの記入と今回の動きの復習 45分	
グループ活動ーダンス作品をつくって踊ろう②(ユニゾン、シンメトリー、カノンのテクニックを生かす)	
10 <予習>様々なテクニックを用いて、イメージトレーニングや動き練習をする。45分 <復習>ワークシートの記入と今回の動きの復習 45分	
ダンスを発表して互いに評価しよう	
11 <予習>作った動きを感じを込めて動けるよう、イメージトレーニングや動き練習をする。45分 <復習>ワークシートの記入と今回の動きの復習 45分	
ビデオを視聴し、グループで作ったダンス作品や自分の動きを振り返ろう	
12 <予習>意見を発表できるようまとめておく。45分 <復習>ワークシートの記入 45分	
定期試験	<p>◆定期試験[レポート]</p> <p>◆振り返り・フィードバック[成績通知日等に返却]</p>

実習科目

授 業 科 目 名	実習指導Ⅰ*			教 員 名	相沢 和恵 / 宇田川 和久 橋本 淳一 / 室井 佑美		
配 当 年 次	1	開 講 時 期	前 期	単 位 数	1	授 業 形 態	演 習
卒 業・免 許・資 格 と の 関 係	○保育士資格選択必修〔保育実習指導Ⅱ〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔教育実践に関する科目/教育実習〕				ナ ン バ リ ン グ	1D701	
授 業 内 容 を 示 す キ ー ワ ー ド	教育実習Ⅰ 幼稚園 幼児 子どもの理解 保育者の業務理解 幼稚園の機能と役割の理解						
授 業 の 概 要	主として「教育実習Ⅰ・Ⅱ」の事前・事後指導を行います。 実習準備から実習終了に至る細部日程や事務手続きはもちろん、実習に必要な態度、基礎的な知識や技術（観察のポイント、子どもとのかかわり方、幼稚園における実践的な指導法、指導計画の立て方、指導案の書き方まで）を学びます。 特に、教育・保育現場で勤務経験を有する実務家教員であり、現場における保育の視点、子どもや保育者の視点から、専門的知識を活かして教授します。						
授 業 の ね ら い と 到 達 目 標	【ねらい】 教育実習Ⅰ・Ⅱを円滑に行うため、「観察」したことを「記録」することを中心にして、必要十分な実習に関する知識・態度、技術・能力を習得する。 特に事前指導では、実習生として幼稚園等の教育活動に参画する意識を高め、習得すべき知識や技能等について知り、実習の目的を理解する。 【到達目標】 (1) 保育者を目指す者として自律することを自覚し、基本的な実習態度を習得している。 (2) 保育場面の適切な観察を行うことができる。 (3) 観察をもとに振り返り・評価までの必要十分な実習日誌を作成できる。 (4) 幼児の発達等をふまえて保育実践にも参与できる。						
授 業 の 方 法 等	講義と演習を併用して行い、一部視聴覚教材も活用します。 ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業及び自主学习支援を行います。 また、アクティブラーニングの手法を取り入れ、【ディスカッション/グループワーク/ロールプレイ】を授業内で行います。						
成 績 評 価 の 基 準 と 方 法	■授業への取り組み・態度 50% ■提出物(保育体験Ⅰ・Ⅱ記録/布名札/自己紹介グッズ/実習生調書/その他書類) 50%						
D P に 掲 げ る 学 力 の 割 合	DP1:20% DP2:10% DP3:20% DP4:10% DP5:10% DP6:30% 〔合計100%〕						
教 科 書	「実習ガイドブック」山村学園短期大学						
参 考 書	適宜、資料を配付します。						
関 連 科 目	教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 実習指導Ⅱ 実習指導Ⅲ 子ども学演習Ⅰ キャリアアップセミナーⅠ						
質 問 受 付 の 方 法	授業内および当該実習の担当教員に直接または研究室を訪問して質問してください。						
履 修 上 の 注 意	この授業を受講することが実習参加要件になります。欠席超過となった場合、実習参加中止となります。十分注意してください。 実習を理由としたオリエンテーションへの参加であっても、授業は欠席扱いとなります。実習先へのオリエンテーションは、本授業を避け、他の曜日と時間を設定するようにしてください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	オリエンテーション 実習科目の概略と実習スケジュールの説明〔担当:全員〕
	1 <予習>教育実習Ⅰ登録カードを作成する。45分 <復習>ガイドブック第1章(123)を読み返す。布名札のデザインを考える。45分
	2 実習の意義と実習生の心構え(態度・マナー) 布名札の制作①〔担当:室井〕 <予習>ガイドブック第1章(6)を下読みする。布名札制作に必要な持ち物を揃える。45分 <復習>自分にとっての実習の意義と実習生の心構えを確認する。45分
	3 保育体験Ⅰの準備[ふれあい方・観点]〔担当:宇田川〕 布名札の制作②〔担当:室井〕 <予習>ガイドブック第2章(1)第5章(1)を下読みする。45分 <復習>布名札を完成させる。45分
	4 子どもの姿と関わり方〔担当:室井〕 保育体験Ⅰの自己課題を設定する〔担当:宇田川〕 <予習>保育体験Ⅰに必要な持ち物を揃える。45分 <復習>保育体験Ⅰの自己課題を完成させる。45分
	5 保育体験Ⅰの振り返り①(園生活、子どもの活動を中心に)〔担当:宇田川〕 <予習>健康チェック表、行動観察記録を記録し、身だしなみを整える。45分 <復習>保育体験Ⅰの参加・振り返りを通して、次回に向けて課題をまとめる。45分
	6 保育体験Ⅱの準備(見学の方法・記録の書き方)、子どもの観察と見方・捉え方 保育体験Ⅱの自己課題を設定する〔担当:橋本〕 <予習>事前に配付された資料を下読みし、記録のイメージをつかむ。45分 <復習>ガイドブック第2章該当箇所を読み返し、理解を定着させる。45分
	7 保育体験Ⅱの振り返り①(学生の記録を元に子どもの姿を捉え、エピソードを考察する)〔担当:橋本/相沢/室井〕 <予習>保育体験Ⅱの見学記録を完成させる。45分 <復習>授業内容を元に、作成した記録を自ら修正する。45分
	8 保育体験Ⅱの振り返り②(学生の記録を元に保育者の姿を捉え、エピソードを考察する)〔担当:橋本/相沢/室井〕 <予習>保育体験Ⅱの見学記録を完成させる。45分 <復習>授業内容を元に、作成した記録を自ら修正する。45分
	9 保育実践ボランティアのねらいと進め方 オリエンテーションの受け方〔担当:室井〕 <予習>ガイドブック第2章(2-3)第1章(5)を下読みする。45分 <復習>保育実践ボランティア先を確認し、ボランティア先と電話連絡をして調整する。45分
	10 ボランティア・実習での保育教材の披露に向けた準備(自己紹介グッズの作成)〔担当:室井〕 <予習>自分の苗字と名前を紹介するグッズについて具体的に作成するものを構想する。45分 <復習>実習目標と課題を設定する。45分
	11 教育実習Ⅰ事前指導①(教育実習の意義/必要な書類の手続きと書き方)〔担当:相沢〕 <予習>ガイドブック第1章、第3章の該当箇所を下読する。45分 <復習>実習生調書、実習巡回個人票を作成し、完成させる。45分
	12 教育実習Ⅰ事前指導②(観察・参加実習の具体/実習目標と課題の設定)〔担当:相沢〕 <予習>ガイドブック第1章、第3章の該当箇所を下読する。45分 <復習>実習目標と課題を設定する。45分
	13 実習記録(日誌)の書き方①(全体を通して各項目の説明/日課型記録の書き方)〔担当:相沢/室井〕 <予習>ガイドブック第5章を読み返し、理解を定着させる。45分 <復習>実際の実習先を調べ、概要を記録する。45分
	14 実習記録(日誌)の書き方②(実習のねらいと振り返りの書き方/エピソード記録の書き方)〔担当:相沢/室井〕 <予習>ガイドブック第5章を読み返し、理解を定着させる。45分 <復習>事前に配付された資料をもとに課題へ取り組み、理解を定着させる。45分
15 実習指導Ⅰのまとめ(実習指導Ⅱに向けて/保育実践ボランティア直前指導)〔担当:全員〕 <予習>保育実践ボランティアに向けた準備を整える。45分 <復習>配布資料、ガイドブックを読み返し、理解を定着させる。45分	
定 期 試 験	◆定期試験は実施せず。

授業科目名	実習指導Ⅱ*			教員名	相沢 和恵 / 宇田川 和久 橋本 淳一 / 室井 佑美		
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育実習指導Ⅰ〕			ナンバリング	1D702		
授業内容を示すキーワード	保育所 乳幼児 保育実習Ⅰ 児童福祉施設等 施設実習Ⅰ 子ども/利用者の理解 保育者の業務理解 保育所/施設の機能と役割の理解						
授業の概要	主として「保育実習Ⅰ」及び「施設実習Ⅰ」の事前・事後指導を行います。 実習準備から実習終了に至る細目日程や事務手続きはもちろん、保育所や児童福祉施設等の機能、そこの保育や養護、援助の実際、保育者の職務や必要とされる子ども/利用者との関わり方、実習における観察、記録、評価の方法、子ども/利用者の人権及び最善の利益への考慮、プライバシーの保護と守秘義務等を学びます。 特に、教育・保育現場で勤務経験を有する実務家教員であり、現場における保育や支援の視点、子ども/利用者の視点、地域との連携に関する視点等、多様な専門的知識を活かして教授します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 保育実習Ⅰ・施設実習Ⅰを円滑に行うため、実習の意義及び目的を理解した上で、「計画」を立てて「実践」することを中心に、必要十分な実習に関する知識・態度、技術・能力を習得する。 特に事前指導では、実習生として保育所での保育活動、施設での生活支援に参画する意識を高め、習得すべき知識や技能等について知り、実習の目的を理解する。 【到達目標】 (1) 保育者としての役割を理解し、それらを言動(言葉遣いや立居振舞い)で示すことができる。 (2) 自ら保育の構想を練り、計画を立てた上で指導案を作成できる。 (3) 立案した指導案をもとに、部分実習等で適切な保育実践ができる。 (4) 保育実習Ⅰ及び施設実習Ⅰを総括し、自己評価をした上で自己課題を明確化できる。						
授業の方法等	講義と演習を併用して行い、一部視聴覚教材も活用します。 ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業及び自主学習支援を行います。 また、アクティブラーニングの手法を取り入れ、【ディスカッション/グループワーク/ロールプレイ】を授業内で行います。 授業日程が一部変更になります。詳細は授業内で説明し、掲示します。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕20% ■授業への取り組み・態度 40% ■提出物 40%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:20% DP2:10% DP3:20% DP4:10% DP5:10% DP6:30% 〔合計100%〕						
教科書	「実習ガイドブック」山村学園短期大学						
参考書	適宜、資料を配付します。						
関連科目	教育実習Ⅰ 保育実習Ⅰ 施設実習Ⅰ 実習指導Ⅰ 実習指導Ⅲ 子ども学演習Ⅱ キャリアアップセミナーⅡ						
質問受付の方法	授業内および当該実習の担当教員に直接または研究室を訪問して質問してください。						
履修上の注意	この授業を受講することが実習参加要件になります。欠席超過となった場合、実習参加中止となります。十分注意してください。実習を理由としたオリエンテーションへの参加であっても、授業は欠席扱いとなります。実習先へのオリエンテーションは、本授業を避け、他の曜日と時間を設定するようにしてください。 必要な書類提出、身だしなみのチェックを定期的に行います。書類未提出、身だしなみ不可の場合、実習参加要件を満たせず、実習は中止となります。期限厳守をお願いします。						

授業計画 と 時間外学習	1	保育実践ボランティアの振り返り〔担当:室井〕 教育実習Ⅰの事前準備から実習終了までの手続きの確認〔担当:相沢〕 〈予習〉保育実践ボランティア記録をまとめておく。教育実習Ⅰ実施要項を熟読する。90分 〈復習〉教育実習Ⅰ関連の配付物を確認する。配布資料を読み返し、理解を定着させる。90分
	2	教育実習Ⅰ事前指導③(オリエンテーションの受け方、実習マナーと態度)〔担当:相沢/室井〕 実習日誌(日誌)の書き方③(復習)〔担当:相沢・室井〕 〈予習〉実習先の概要をホームページ等で確認し、記録する。90分 〈復習〉オリエンテーションの日時と詳細を実習先と調整する。実習の目標・課題を立て記入する。90分
	3	教育実習Ⅰ事前指導④(実習での観察の観点、保育実践方法)〔担当:相沢/室井〕 実習日誌の書き方④(保育実践ボランティア記録・園見学記録の活用)〔担当:相沢/室井〕 〈予習〉園見学記録(2枚)、保育実践ボランティア記録を準備し、自らの記録を振り返る。90分 〈復習〉園見学記録(2枚)、保育実践ボランティア記録を確認し、修正する。90分
	4	教育実習Ⅰ直前指導/実習参加判定〔担当:全員〕 〈予習〉健康チェック・行動観察記録を記入し、実習に向けて身だしなみを整える。90分 〈復習〉配付資料を読み返し、教育実習Ⅰまでに準備すべきことを完了させる。90分
	5	教育実習Ⅰの振り返り〔担当:相沢〕 保育体験Ⅲ(施設見学)の準備〔担当:宇田川〕 〈予習〉教育実習Ⅰ終了後の提出書類の準備、実習先へのお礼状の送付を完了させる。90分 〈復習〉教育実習Ⅰに臨み、振り返りを通して、次回の実習に向けての自己課題をまとめる。90分
	6	保育実習Ⅰ事前学習①(保育所での実習の意味/実習の特色と進め方/オリエンテーションの進め方/実習の目標/課題の立て方、実習計画の立て方)〔担当:室井〕 〈予習〉ガイドブック第4章を下読みする。90分 〈復習〉保育実践ボランティア記録や実習先ホームページ等を確認し、オリエンテーションに向けた確認事項を把握する。実習の目標/課題を立て、記入する。90分
	7	保育実習Ⅰ事前学習②(部分実習の考え方/指導案の立案)〔担当:室井〕 内容別選択学習(1)〔日誌/援助の具体/活動への導入等〕〔担当:全員〕 〈予習〉教育実習Ⅰを振り返り、自身が苦手としており克服、改善すべき点を考える。90分 〈復習〉部分実習の指導案を作成し、ロールプレイの準備をする。90分
	8	内容別選択学習(2)〔日誌/大人とのコミュニケーション/活動への導入)〔担当:全員〕 〈予習〉教育実習Ⅰを振り返り、自身が苦手としており克服、改善すべき点を考える。90分 〈復習〉自身が苦手としており克服、改善すべき点について具体的な改善方法を考える。90分
	9	保育実習Ⅰ事前学習③(部分実習ロールプレイ)〔担当:室井/橋本〕 個人面談①〔担当:相沢・宇田川〕 〈予習〉部分実習のロールプレイの準備をする。90分 〈復習〉部分実習のロールプレイ後の反省、評価をする。保育実習Ⅰ事前準備を完了させる。不明点等、大学で把握すべきことを確認する。90分
	10	保育実習Ⅰ事前学習④(部分実習ロールプレイ)〔担当:室井/橋本〕 個別面談②〔担当:相沢・宇田川〕 保育実習Ⅰ直前指導/実習参加判定〔担当:全員〕 〈予習〉部分実習のロールプレイの準備をする。90分 〈復習〉部分実習のロールプレイ後の反省、評価をする。保育実習Ⅰ事前準備を完了させる。不明点等、大学で把握すべきことを確認する。90分
	11	施設実習Ⅰ事前指導①(施設での実習の特色/実習の進め方)※視聴覚教材〔担当:宇田川〕 〈予習〉ガイドブック第6章を下読みする。90分 〈復習〉ガイドブック第6章該当箇所を読み返し、理解を定着させる。90分
	12	施設実習Ⅰ事前指導②(実習先の種別と施設の概要理解)※視聴覚教材〔担当:宇田川〕 〈予習〉ガイドブック第6章を下読みする。90分 〈復習〉ガイドブック第6章該当箇所を読み返し、理解を定着させる。90分
	13	施設実習Ⅰ事前指導③(実習日誌の考え方/書き方)〔担当:宇田川〕 〈予習〉ガイドブック第6章を下読みする。実習先概要をホームページ等で確認し、記録する。90分 〈復習〉施設実習Ⅰの実習日誌の記録見本を模写してイメージをつかむ。90分
	14	施設実習Ⅰ事前指導④(実習の目標/課題の立て方、実習計画の立て方)〔担当:全員〕 〈予習〉ガイドブック第6章該当箇所を下読みする。90分 〈復習〉90分実習の目標/課題を立て、記入する。90分
	15	施設実習Ⅰ事前指導⑤(実習の実際〔施設種別ごとのケーススタディ〕/オリエンテーションの進め方) 施設実習Ⅰ直前指導/実習参加判定〔担当:全員〕 〈予習〉ガイドブック第6章を読み返し、施設実習Ⅰで求められる態度と心構え、知識及び技能を確認する。90分 〈復習〉配布資料を読み返し、オリエンテーションに向けた確認事項を把握する。90分
定期試験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説等を行う。〕30分	

授業科目名	実習指導Ⅲ *			教員名	相沢 和恵 / 宇田川 和久 橋本 淳一 / 室井 佑美		
配当年次	2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育実習指導Ⅲ〕			ナンバリング	2D703		
授業内容を示すキーワード	教育実習Ⅱ 保育実習Ⅱ 部分実習 責任実習 主活動 指導案						
授業の概要	主として「保育実習Ⅱ」または「施設実習Ⅱ」（いずれから一方を選択）、加えて教育実習Ⅱの事前・事後指導として、実習手続きの細部日程はもちろん、保育活動や生活支援に必要な専門的知識や実践的技術、子ども/利用者への指導法や援助方法、指導案の立案と作成、クラスでの主活動や利用者への日中活動の展開方法などを学びます。 特に、保育・福祉現場等での勤務経験を有する実務家教員であり、現場における保育や支援の視点、子ども/利用者の視点、地域との連携に関する視点など、専門的知識を生かして教授します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 保育実習Ⅱ及び施設実習Ⅱ、教育実習Ⅱを円滑に行うため、実習の意義・目的を理解した上で、「計画」を立てて、それに基づいて「実践」することを中心に、必要十分な実習に関する知識・態度・技術・能力を習得する。特に事前指導では、実習生としてこれまでの学内での学習、実習での経験を踏まえて、主体的に参画する意識を高め、習得すべき知識や技能等について意図して行動し、実習の目的を理解する。 【到達目標】 (1)実習を通して、保育者としての使命感や責任感が醸成されている。 (2)問題解決思考に基づいて保育場面や支援場面を計画し、設定できる。 (3)対象に応じた保育や支援を実践し、評価を行って自己課題を明確化できる。 (4)すべての実習を総括し、職業倫理を持った言動を示すことができる。						
授業の方法等	前期は教育実習Ⅱ(2週間)分を除いた12回の授業を行い、後期に実習事後指導として3回分の授業を実施します。後期の授業日程は掲示にて提示します。 ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業及び自主学習支援を行います。 また、アクティブラーニングの手法を取り入れ、【ディスカッション/グループワーク/プレゼンテーション/ロールプレイ】を授業内で行います。						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度 50% ■授業内成果及び提出物(指導案/実習生調書/実習発表会等) 50%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:20% DP2:10% DP3:20% DP4:10% DP5:10% DP6:30% [合計100%]						
教科書	「実習ガイドブック」山村学園短期大学						
参考書	適宜、資料を配付します。						
関連科目	保育実習Ⅱ 施設実習Ⅱ 教育実習Ⅱ 実習指導Ⅰ 実習指導Ⅱ 保育・教職実践演習(幼稚園)						
質問受付の方法	授業内および当該実習の担当教員に直接または研究室にて質問してください。						
履修上の注意	この授業を受講することが実習参加要件になります。欠席超過となった場合、実習参加中止となります。十分注意してください。 実習を理由としたオリエンテーションへの参加であっても、授業は欠席扱いとなります。実習園へのオリエンテーションは、本授業を避け、他の曜日と時間を設定するようにしてください。 必要な書類提出、身だしなみのチェックを定期的に行います。書類未提出、身だしなみ不可の場合、実習参加要件を満たせず、実習は中止となります。期限厳守をお願いします。						

授業計画 と 時間外学習	1	保育実習Ⅰ/施設実習Ⅰ 振り返り〔担当:室井/宇田川〕 教育実習Ⅱ(オリエンテーション/事前準備及び実習終了までの手続きの確認/指導案作成のポイント)〔担当:相沢/橋本〕 〈予習〉ガイドブックの教育実習Ⅱに関する部分を読んでおく。45分 〈復習〉教育実習Ⅱの目標・課題を立て、記入する。設定保育に向けた保育内容を構想する。45分	
	2	部分実習の指導案作成 年齢別指導案の作成ポイント〔担当:相沢/橋本〕 〈予習〉設定保育の構想シートを元に指導案を2枚作成する。45分 〈復習〉作成ポイント及び添削に基づき指導案を修正する。45分	
	3	責任実習指導案の作成(1日の流れと指導方法の構想)について〔担当:相沢/橋本〕 〈予習〉教育実習Ⅰの日記を振り返り、1日の流れを確認する。45分 〈復習〉責任実習指導案(日案)を作成する。45分	
	4	部分実習指導案のロールプレイ(グループ別)・日案の確認〔担当:相沢/橋本〕 〈予習〉発表用「模擬指導案」の準備をする。45分 〈復習〉グループシートを振り返り、改善点と課題をまとめる。45分	
	5	教育実習Ⅱ直前指導(準備資料及び保育技術の確認など) 実習参加判定〔担当:全員〕 〈予習〉教育実習Ⅱの事前準備を完了させる。不明点など、大学で把握することを確認する。45分 〈復習〉ガイドブック、配付資料を読み返し、教育実習Ⅱで求められる態度と心構え、知識及び技能を確認する。45分	
	6	教育実習Ⅱ振り返り〔担当:相沢〕 〈予習〉教育実習Ⅱ終了後の提出書類の準備、実習先へのお礼状送付完了させる。45分 〈復習〉教育実習Ⅱへの参加・振り返りを通して自身の課題を見つけ記録する。45分	
	7	保育実習Ⅱに向けて 事前指導①(実習の特色とねらい/進め方/実習目標・課題の立て方)〔担当:橋本〕 〈予習〉ガイドブック第4・5章を下読みし、実習の特色とねらいを理解する。45分 〈復習〉実習目標と課題を立て、記入する。45分	施設実習Ⅱに向けて 事前指導①(実習のねらい/進め方/実習先の実態把握等)〔担当:宇田川〕 〈予習〉ガイドブック第6章を下読みし、実習のねらいを理解する。実習先の概要をホームページ等で確認する。45分 〈復習〉実習先の概要を整理する。45分
	8	事前指導②(実習Ⅰ振り返りから、実習先の実態を把握する)〔担当:橋本〕 〈予習〉実習先の概要をホームページ等で確認し、特色をまとめる。45分 〈復習〉責任実習等で行いたい活動を構想する。(完成品見本等の作成も行う)45分	事前指導②(実習の目標・課題の立て方)〔担当:宇田川〕 〈予習〉取り組みたい活動を構想し、目標と課題について整理する。45分 〈復習〉設定した目標・課題をもとに、実習先での活動を具体的に構想する。45分
	9	事前指導③(3歳未満児クラスの特徴と指導)〔担当:橋本〕 〈予習〉3歳未満児クラスの指導案を作成、準備する。45分 〈復習〉3歳未満児クラスの指導案を作成、完成させる。45分	事前指導③(利用者の特性と支援)〔担当:宇田川〕 〈予習〉日中活動等における指導案の作成準備を行う。45分 〈復習〉日中活動等における指導案を作成する。45分
	10	事前指導④(3歳以上児クラスの特徴と指導)〔担当:橋本〕 〈予習〉3歳以上児クラスの指導案を作成、準備する。45分 〈復習〉3歳以上児クラスの指導案を作成、完成させる。45分	事前指導④(活動内容の特質と支援)〔担当:宇田川〕 〈予習〉日中活動等における指導案をもとに実際の活動に必要な教材等を整理する。45分 〈復習〉日中活動等のロールプレイに向けた教材等を整理する。45分
	11	事前指導⑤(ロールプレイと評価)〔担当:橋本/相沢〕 〈予習〉ロールプレイができるように事前準備を行う。45分 〈復習〉自身が行ったロールプレイと指導案の評価を行い、自己課題を把握する。45分	事前指導⑤(ロールプレイ準備)〔担当:宇田川/室井〕 〈予習〉日中活動等のロールプレイに向けた教材等を準備する。45分 〈復習〉試行したロールプレイの課題等を整理し、本番に向けて準備する。45分
	12	直前指導〔担当:橋本〕 〈予習〉保育実習Ⅱの事前準備を完了させる。45分 〈復習〉ガイドブック、配付資料を読み返し、保育実習Ⅱで求められる態度と心構え、知識及び技能を確認する。45分	事前指導⑥(ロールプレイと評価)及び直前指導〔担当:宇田川/室井〕 〈予習〉ロールプレイができるように事前準備を行う。施設実習Ⅱの事前準備を完了させる。45分 〈復習〉ロールプレイと指導案の評価を行い、自己課題を把握する。配付資料を読み返し、施設実習Ⅱで求められる態度と心構え、知識及び技能を確認する。45分
	13	【後期①】保育実習Ⅱ・施設実習Ⅱ 振り返り〔担当:橋本/宇田川〕 事後指導(自己評価と自己課題)〔担当:室井〕 〈予習〉保育実習Ⅱ/施設実習Ⅱ終了後の提出書類準備、実習園へのお礼状の送付を完了する。45分 〈復習〉これまでの実習経験に対して振り返り、2年間での実習に関する自己課題をまとめる。45分	
	14	【後期②】実習に関する総まとめ①(グループ討議と発表準備)〔担当:全員〕 〈予習〉2年間での実習の学び、事前に養うべき実習の知識/技能/姿勢をまとめる。45分 〈復習〉グループでの発表に向けて協議し、グループ内で発表準備をする。45分	
	15	【後期③】実習に関する総まとめ②(発表) 実習報告会/実習懇談会の準備〔担当:全員〕 〈予習〉グループ全員が協働して発表できるよう、準備を整える。45分 〈復習〉実習報告会/実習懇談会に向けた準備を進める。45分	
定期試験	◆定期試験は実施せず。		

授 業 科 目 名	保育実習Ⅰ*			教 員 名	室井 佑美		
配 当 年 次	1	開 講 時 期	集 中	単 位 数	2	授 業 形 態	実 習
卒 業 ・ 免 許 ・ 資 格 と の 関 係	○保育士資格必修〔保育実習Ⅰ〕				ナンバリング	1D704	
授 業 内 容 を 示 す キ ー ワ ー ド	保育所 見学・観察実習 参加実習 部分実習 保育実践ボランティア						
授 業 の 概 要	保育所において、実習指導者の指導のもと、見学・観察実習、参加実習、部分実習を中心に学びます。保育所の生活に参加し、乳幼児への理解を深めるとともに、保育所の機能や役割、保育士の職務について学びます。						
授 業 の ね ら い と 到 達 目 標	<p>【ねらい】 保育所の機能と役割を具体的に理解するとともに、乳幼児の観察やかかわりを通して、子どもへの理解及び保育士の職務に対する理解を深める。</p> <p>【到達目標】 (1)保育所の機能や役割について観察を通して把握し、説明ができる。 (2)乳幼児への観察やかかわりを通して、各年齢の発達段階を理解し、個性を実感して洞察を深め、直接的に援助へと行動ができる。 (3)保育士の指導・援助を得て、自ら保育を部分的に実践し、振り返りから課題を見出せる。</p>						
授 業 の 方 法 等	<ul style="list-style-type: none"> ・卒園先を除き原則、公立保育所（一部、私立保育所）において実習を行います。 ・見学・観察実習、参加実習、短時間の部分実習を中心に行います。 ・実習日数は10日間以上、実習総時間数は80時間以上90時間未満、実習を行います。 						
成 績 評 価 の 基 準 と 方 法	■その他〔総合評価：実習園評価 65%、日誌評価 20%、勤情状況 15%〕100%						
D P に 掲 げ る 学 力 の 割 合	DP1:20% DP2:10% DP3:20% DP4:10% DP5:10% DP6:30% 〔合計100%〕						
教 科 書	<ul style="list-style-type: none"> ・「実習ガイドブック」山村学園短期大学 ・「保育所保育指針解説」〔ISBN:978-4577814482〕/厚生労働省（編集）/フレーベル館 						
参 考 書	「フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画」/神永直美著/萌文書林						
関 連 科 目	実習指導Ⅰ 実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ						
質 問 受 付 の 方 法	科目担当教員に直接1、質問してください。						
履 修 上 の 注 意	<ul style="list-style-type: none"> ・「細菌検査陰性証明書」、「実習指導Ⅱの出席状況」、「麻疹の予防接種証等」、その他実習関連書類の提出当、実習参加条件を満たさないと、実習へは参加できません。 ・1年次の夏季休業期間中に保育所等における「保育実践ボランティア」への参加が必須です。 						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	<p>【実習の内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育所の役割と機能 <ul style="list-style-type: none"> (1) 保育所における子どもの生活と保育士の援助や関わり (2) 保育所保育指針に基づく保育の展開 2. 子どもの理解 <ul style="list-style-type: none"> (1) 子どもの観察とその記録による理解 (2) 子どもの発達過程の理解 (3) 子どもへの援助や関わり 3. 保育内容・保育環境 <ul style="list-style-type: none"> (1) 保育の計画に基づく保育内容 (2) 子どもの発達過程に応じた保育内容 (3) 子どもの生活や遊びと保育環境 (4) 子どもの健康と安全 4. 保育の計画・観察・記録 <ul style="list-style-type: none"> (1) 全体的な計画と指導計画及び評価の理解 (2) 記録に基づく省察・自己評価 5. 専門職としての保育士の役割と職業倫理 <ul style="list-style-type: none"> (1) 保育士の業務内容 (2) 職員間の役割分担や連携・協働 (3) 保育士の役割と職業倫理 <p>【予習・復習の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習オリエンテーションは、実習先の保育所において授業時間外に行います。 ・実習日誌の記入や部分実習指導案の立案及び保育実践の準備は、原則自宅で行います。
定 期 試 験	◆定期試験は実施せず。

授業科目名	施設実習Ⅰ*			教員名	宇田川 和久		
配当年次	1	開講時期	集中	単位数	2	授業形態	実習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育実習Ⅰ〕				ナンバリング	1D705	
授業内容を示すキーワード	児童福祉施設 障害児・者 児童養護 日常生活支援 施設保育士 デイリープログラム						
授業の概要	乳児院や児童養護施設などの居住型児童福祉施設や障害者支援施設、指定障害福祉サービス事業所等の生活に参加し、実習指導者の指導の下、利用者の理解を図るとともに、施設の役割や機能及び保育士としての職務、養護や支援の実際を学びます。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】 児童福祉施設等で子どもや利用者とともに生活することにより、施設における保育士としての役割や養護、支援の実際、施設の役割と機能について理解する。</p> <p>【到達目標】 児童福祉施設等の役割と機能、施設等の生活と一日の流れ、養護の意義と内容、技術などについて理解し、説明できる。子どもや利用者の心情を受容し、共感することができる。職員の指導・援助を得て子どもや利用者に対する援助・支援の一部を担当できる。</p>						
授業の方法等	居住型児童福祉施設や障害者支援施設、指定障害福祉サービス事業所等において、10日間以上、80時間以上90時間未満の実習を行います。 原則、通勤での実習になりますが、宿泊を伴うこともあります。						
成績評価の基準と方法	■その他〔総合評価:実習園評価 65%、日誌評価 20%、勤情状況 15%〕100%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:30% DP2:10% DP3:20% DP4:20% DP5:10% DP6:10% 〔合計100%〕						
教科書	『実習ガイドブック』山村学園短期大学						
参考書	必要な資料は適宜配布します。						
関連科目	実習指導Ⅰ・Ⅱ インクルーシブ教育・保育Ⅰ・Ⅱ 社会的養護Ⅰ・Ⅱ						
質問受付の方法	科目担当教員に直接、質問してください。						
履修上の注意	細菌検査陰性、実習指導Ⅰ・Ⅱの出席状況、麻疹の予防接種証等、実習参加条件を満たさないと実習参加できません。 実習施設の決定は大学が行います。						

授業計画 と 時間外学習	<p>【実習の内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 施設の役割と機能 <ul style="list-style-type: none"> (1)施設における子どもや利用者の生活と保育士の援助や関わり (2)施設の役割と機能 子どもや利用者の理解 <ul style="list-style-type: none"> (1)子どもや利用者の観察とその記録 (2)個々の状態に応じた援助や関わり 施設における子どもや利用者の生活と環境 <ul style="list-style-type: none"> (1)計画に基づく活動や援助 (2)子どもや利用者の心身の状態に応じた生活と対応 (3)子どもや利用者の活動と環境 計画と記録 <ul style="list-style-type: none"> (1)支援計画の理解と活用 (2)記録に基づく省察・自己評価 専門職としての保育士の役割と倫理 <ul style="list-style-type: none"> (1)保育士の業務内容 (2)職員間の役割分担や連携 (3)保育士の役割と職業倫理
	<p>【予習・復習の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習オリエンテーションは、原則として実習先の施設において授業時間外に行います。 ・実習日誌の記入や部分実習指導案の立案及び支援実践の準備は、原則自宅で行います。
定期試験	◆定期試験は実施せず。

授業科目名	教育実習Ⅰ*			教員名	相沢 和恵 / 室井 佑美		
配当年次	1	開講時期	集中	単位数	2	授業形態	実習
卒業・免許・資格との関係	○幼稚園教諭2種免許状必修〔教育実践に関する科目/教育実習〕				ナンバリング	1D706	
授業内容を示すキーワード	幼稚園 幼稚園教諭 観察実習 部分実習 子どもの発達理解						
授業の概要	幼稚園および認定こども園において実習指導者の指導の下、幼児と生活をともにしながら幼児の発達理解に努め、幼児教育と幼稚園教諭の教育活動の基本的事項を学びます。特に、実際の現場において見学・観察を行うことで、幼児の実態や幼稚園教諭が行うさまざまな保育活動について学びます。さらに、現場の教諭の指導に加えて、子ども学科の教員が実習中に園を訪問し、指導および助言を行います。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 幼稚園での生活を通して、幼児や教育活動の保育環境等に対し適切な観察を行うとともに、幼稚園教諭の補助的な役割を担うことを通して、幼児及び幼稚園の実態を理解し、学級経営や教育活動の特色を理解する。 【到達目標】 ・教育実習の意義と目的、実習生としての基本的な心構えを身に付けることができる。 ・幼児との関わりを通して、その実態を把握し自己課題を明確にすることができる。 ・実習園の保育方針や組織体制を理解し、クラスの担任の補助的な役割を担うことができる。						
授業の方法等	公立または私立の幼稚園および認定こども園などにおいて、見学・観察実習を中心に2週間の実習を行います。						
成績評価の基準と方法	■その他〔総合評価:実習園評価 65%、日誌評価 20%、勤惰状況 15%〕100%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:20% DP2:20% DP3:30% DP4:10% DP5:10% DP6:10% 〔合計100%〕						
教科書	『実習ガイドブック』山村学園短期大学 「幼稚園教育要領解説」(ISBN:978-4577814475) 文部科学省 フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(ISBN:978-4577814499) 内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館						
参考書	「フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画」神永直美著 萌文書林 「幼児の思いをつなぐ指導計画の作成と保育の展開」文部科学省/チャイルド本社 「幼児理解に基づいた評価」文部科学省/チャイルド本社 「指導と評価に生かす記録」文部科学省/チャイルド本社						
関連科目	実習指導Ⅰ・Ⅱ 教育実習Ⅱ						
質問受付の方法	科目担当教員に直接、質問してください。						
履修上の注意	・「実習指導Ⅰの出席状況」「健康診断証明書」、その他実習関係書類の提出等、実習参加条件を満たさない と、実習へは参加できません。 ・実習園の決定は、希望調査を実施して大学で行います。						

授業計画 と 時間外学習	【実習の内容】
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 幼稚園の一日の流れを把握する。 2. 幼児の発達や興味・関心、個性などの幼児に関する理解に努める。 3. 物的環境や人的環境、社会的環境などの保育・教育環境について学ぶ。 4. 保育内容や幼児の活動について学ぶ。 5. 幼稚園教諭の行うさまざまな保育・教育活動について知り、理解する。
	【予習・復習の内容】
	・実習オリエンテーションは、実習園において授業時間外に行います。
	・実習日誌の記入や保育実践の準備等は、原則自宅で行います。
定期試験	◆定期試験は実施せず。

授業科目名	保育実習Ⅱ*			教員名	橋本 淳一		
配当年次	2	開講時期	集中	単位数	2	授業形態	実習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修〔保育実習Ⅱ〕				ナンバリング	2D707	
授業内容を示すキーワード	保育所 ロープレイ 指導案作成と保育実践 子ども理解と評価 部分・責任実習						
授業の概要	保育実習Ⅰをふまえて、保育所等において実習指導者の指導の下、保育所の保育を実践に実践し、保育士として必要な資質・能力・技術の定着を目指します。また、家庭と地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉ニーズに対する理解力、判断力を養うとともに、子育てを支援するために必要とされる技術・能力を養います。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】 保育全般に参加し、保育所の保育士に求められる資質・能力・技術について、その確実な習得を図る。</p> <p>【到達目標】 子どもの個性やニーズ、保育内容を踏まえて子どもと関わることができる。保育の計画・観察・記録及び自己評価等を適切に行うことができる。保育計画に基づいて指導計画を立案し、保育者にかかわって保育を実践できる。保育士の役割・倫理を理解して適用することができる。</p>						
授業の方法等	原則、私立保育所等において、見学・観察・参加実習に加えて、指導案作成を伴う部分・責任(全日)実習を行います。10日間以上、80時間以上90時間未満で実習を行います。						
成績評価の基準と方法	■その他〔総合評価:実習園評価 65%、日誌評価 20%、勤惰状況 15%〕100%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:20% DP2:10% DP3:20% DP4:20% DP5:10% DP6:20% 〔合計100%〕						
教科書	『実習ガイドブック』山村学園短期大学 「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 2018 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館 2018						
参考書	「フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画」神永直美著 萌文書林 2016 「幼稚園教育指導資料(第1集、第3集、第5集)」文部科学省						
関連科目	保育実習Ⅰ 実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ						
質問受付の方法	科目担当教員に直接、質問してください。						
履修上の注意	「保育実習Ⅰ」の単位取得、「細菌検査陰性証明書」、「麻疹予防接種関係書類」、実習指導Ⅲの出席状況等、実習参加条件を満たさないと実習参加できません。また「施設実習Ⅱ」との重複履修はできません。なお、実習園は原則自己決定方式で自分で実習先の保育所等を選び、園には大学から依頼します。						

授業計画と時間外学習	<p>【実習の内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 保育所の役割や機能の具体的展開 <ul style="list-style-type: none"> (1) 養護と教育が一体となって行われる保育 (2) 保育所の社会的役割と責任 観察に基づく保育の理解 <ul style="list-style-type: none"> (1) 子どもの心身の状態や活動の観察 (2) 保育士等の援助や関わり (3) 保育所の生活の流れや展開の把握 子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会等との連携 <ul style="list-style-type: none"> (1) 環境を通して行う保育、生活や遊びを通して総合的に行う保育 (2) 入所している子どもの保護者に対する子育て支援及び地域の保護者等に対する子育て支援 (3) 関係機関や地域社会との連携・協働 指導計画の作成・実践・観察・記録・評価 <ul style="list-style-type: none"> (1) 全体的な計画に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程の理解 (2) 作成した指導計画に基づく保育の実践と評価 保育士の業務と職業倫理 <ul style="list-style-type: none"> (1) 多様な保育の展開と保育士の業務 (2) 多様な保育の展開と保育士の職業倫理 自己の課題の明確化 <p>【予習・復習の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習オリエンテーションは、実習先の保育所等において授業時間外に行います。 ・実習中の実習日誌記入や部分・責任実習指導案立案及び保育実践の準備は、原則自宅で行います。
	定期試験

授業科目名	施設実習Ⅱ*			教員名	宇田川 和久		
配当年次	2	開講時期	集中	単位数	2	授業形態	実習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育実習Ⅲ〕				ナンバリング	2D708	
授業内容を示すキーワード	個別支援計画 児童家庭福祉 社会的養護 家族支援 障害特性 生活リズム 生活指導						
授業の概要	保育所以外の児童福祉施設(児童館を含む)等で実習指導者の指導の下その生活に参加し、役割や機能を実践を通して理解するとともに、子ども・利用者の養護や支援の実際について理解を深めます。また、子どもや利用者の置かれている環境や障がいの状況等にも目を向け、地域や社会との関連性についても理解を深めます。さらに、保育士として業務内容や職業倫理についても実践に結びつけて学びます。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】 児童福祉施設等で利用者とともに生活することにより、施設における保育士としての役割や養護、支援の実際、施設の役割と機能について理解する。さらに、家庭と地域の生活実態にふれて、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力の習得を図る。</p> <p>【到達目標】 子どもや利用者の心情等を受容、共感して、援助や支援をすることができる。保育士としての養護内容の実際を理解し個別支援計画を作成できる。子どもや利用者の家族への対応や支援を理解する。施設における保育士の役割・倫理を理解して適用することができる。</p>						
授業の方法等	保育所以外の児童福祉施設(児童館等を含む)、障害児通所施設、障害者支援施設、指定福祉サービス事業所等において、10日間以上、80時間以上90時間未満の実習を行います。 原則、通勤での実習になりますが、宿泊を伴うこともあります。						
成績評価の基準と方法	■その他〔総合評価:実習園評価 65%、日誌評価 20%、勤情状況 15%〕100%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:30% DP2:10% DP3:20% DP4:20% DP5:10% DP6:10% 〔合計100%〕						
教科書	『実習ガイドブック』山村学園短期大学						
参考書	必要な資料は適宜配布します。						
関連科目	社会的養護Ⅰ・Ⅱ インクルーシブ教育・保育Ⅰ・Ⅱ 実習指導Ⅱ・Ⅲ 施設実習Ⅰ						
質問受付の方法	科目担当教員に直接、質問してください。						
履修上の注意	<p>・「施設実習Ⅰ」の単位取得、「細菌検査陰性証明書」、「麻疹の予防接種関係書類」実習指導Ⅲの出席状況等、実習参加条件を満たさないと実習参加できません。また、「保育実習Ⅱ」との重複履修はできません。</p> <p>・保育所以外の児童福祉施設(児童館を含む)等の実習施設は自己決定方式で行い、施設には大学から依頼します。</p>						

授業計画と時間外学習	<p>【実習内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 児童福祉施設等(保育所以外)の役割と機能 2. 施設における支援の実際 <ol style="list-style-type: none"> (1) 受容し、共感する態度 (2) 個人差や生活環境に伴う子どもや利用者のニーズの把握と子ども・利用者の理解 (3) 個別支援計画の作成と実践 (4) 子どもや利用者の家族への支援と対応 (5) 各施設における多様な専門職との連携・協働 (6) 地域社会との連携・協働 3. 保育士の多様な業務と職業倫理 4. 保育士としての自己課題の明確化 <p>【予習・復習の内容】</p> <p>・実習オリエンテーションは、原則として実習先の施設において授業時間外に行います。</p> <p>・実習日誌の記入や部分・責任実習指導案の立案及び実践の準備は、原則自宅で行います。</p>
	定期試験

授業科目名	教育実習Ⅱ*			教員名	相沢 和恵 / 橋本 淳一		
配当年次	1	開講時期	集中	単位数	2	授業形態	実習
卒業・免許・資格との関係	○幼稚園教諭2種免許状必修〔教育実践に関する科目/教育実習〕				ナンバリング	2D709	
授業内容を示すキーワード	幼稚園 幼稚園教諭 部分・責任実習 指導案作成と保育展開 幼児理解と評価 学級運営						
授業の概要	幼稚園および認定こども園において実習指導者の指導の下、幼児とかかわりながら幼稚園教諭として必要な資質・能力・技術を培います。特に、実際の現場において幼児の活動へ参加することに加え、幼稚園教諭が行うさまざまな活動(保育指導、学級運営、その他の職務など)を助手的立場あるいは担任に代わって行い、幼児教育と幼稚園教諭の教育活動を実践的に学ぶとともに、その本質や役割への理解を深めます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 幼稚園での幼児の実態を踏まえて、保育内容・5領域や教職に関する専門的知識・理論・技術等(話法・保育形態・保育展開・環境構成他)、保育を実践するために必要な基礎を確実に身につける。 【到達目標】 ・幼稚園教育要領及び幼児の実態等を踏まえた適切な指導案を作成し保育を実践することができる。 ・クラス担任の役割と職務内容を实地に即して理解している。 ・さまざまな場面で適切に幼児と関わることができる。						
授業の方法等	公立または私立の幼稚園および認定こども園等において、部分・責任実習を中心に2週間の実習を行います。						
成績評価の基準と方法	■その他〔総合評価:実習園評価 65%、日誌評価 20%、勤情状況 15%〕100%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:20% DP2:20% DP3:30% DP4:10% DP5:10% DP6:10% 〔合計100%〕						
教科書	『実習ガイドブック』山村学園短期大学 「幼稚園教育要領解説」文部科学省、フレーベル館 2018 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館 2018						
参考書	「フオランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画」神永直美著 萌文書林 2016 「幼稚園教育指導資料(第1集、第3集、第5集)」文部科学省						
関連科目	教育実習Ⅰ 実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ						
質問受付の方法	科目担当教員に直接、質問してください。						
履修上の注意	・「実習指導Ⅰ」及び「教育実習Ⅰ」の履修が済み、「実習指導Ⅲ」の出席状況等、実習参加条件を満たさないと実習参加できません。 ・実習園の決定は、希望調査を実施して大学で行います。						

授業計画と時間外学習	<p>【実習の内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育全般に参加し、幼稚園教諭の保育技術・指導方法を習得する 2. 指導案を立案し、保育の一部または全部を担当し、実際に実践する。 3. 幼児の個性、発達、興味・関心など個々の幼児の理解を深め、対応方法を習得する。 4. 幼稚園教諭、幼稚園に求められる地域社会のニーズを体験・理解する。 5. 幼稚園教諭としての職業倫理を実践的に理解する。 6. 幼稚園教諭に求められる資質・能力・技術に照らし合わせ、自己の課題を明確化する。 <p>【予習・復習の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習オリエンテーションは、実習園において授業時間外に行います。 ・実習日誌の記入や部分・責任実習指導案の立案及び保育実践の準備等は、原則自宅で行います。
定期試験	◆定期試験は実施せず。

そ の 他

山村学園短期大学子ども学科カリキュラムツリー

ディプロマポリシー(学位授与の方針)
 子ども学科では、建学の精神(質実・英知・愛敬)、学期にある短期大学及び子ども学科の目的に則り、学期第43条(卒業)に示す所定の教育課程を修め、66単位以上を累積GPA一定以上の成績で修得し、以下のような知識・技能・思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を備えた者に対し、その卒業を認定し短期大学士の学位を授与します。
 (知識・技能)
 1 保育者としての専門的知識・技能
 2 社会人として必要な教養・知識(思考力・判断力・表現力)
 3 獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、職業や社会における諸問題を自ら発見、分析、解決方法について考察する力、さらに自分の考えを他者に口頭、文章、あるいは身体をもって的確に表現する力
 (主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)
 4 保育への情熱と使命感を持って社会に貢献しようとする主体的・積極的な態度
 5 人や自然を深く愛し、楽しむ態度
 6 社会人として必要なマナー・常識・態度

卒業必修	保育士資格に必修	保育士資格に選択必修	幼稚園教諭2種免許状に必修	選択科目
------	----------	------------	---------------	------

入学前	1年		2年	
	前期	後期	前期	後期
入学前教育	1D601 子ども学演習Ⅰ	1D602 子ども学演習Ⅱ	2D603 子ども学ゼミナールⅠ	2D604 子ども学ゼミナールⅡ
4D111 保育入門	保育体験Ⅰ/保育体験Ⅱ/保育体験Ⅲ/保育体験Ⅳ		保育体験Ⅳ	
	1D107 キャリアアップセミナーⅠ	1D108 キャリアアップセミナーⅡ	2D109 キャリアアップセミナーⅢ	2D110 キャリアアップセミナーⅣ
	1D42A 子ども文化演習A	1D608 ソーイング演習		2D424 子ども文化演習B
	1D408 音楽Ⅰ	1D409 音楽Ⅱ	2D425 ピアノⅠ	2D426 ピアノⅡ
	1D410 園園工作			
	3D609 ナチュラルアート		3D609 ナチュラルアート	
	1D411 幼児体育	3D610 ダンスムーブメント		3D610 ダンスムーブメント
	3D606 アウトドア演習A		3D606 アウトドア演習A	2D607 アウトドア演習B
				2D103 体育実技 2D102 体育講義
	1D304 子どもの保健	1D414 子どもの健康と安全	2D305 子どもの食と栄養	2D605 乳児小児救命法
	1D403 保育内容健康	1D418 保育内容健康の指導法		2D402 保育内容総論
	1D404 保育内容人間関係	1D419 保育内容人間関係の指導法		
	1D405 保育内容環境		2D420 保育内容環境の指導法	
	1D406 保育内容言葉	1D421 保育内容言葉の指導法		
		1D407 保育内容表現	2D422 保育内容表現の指導法	
		1D501 教育方法・技術論	2D401 保育・教育課程論	
		3D503 ICT教育の理論と方法		
	1D201 保育原理		3D503 ICT教育の理論と方法	
			2D207 保育・教職論	
			2D202 教育原理	
		1D203 子ども家庭福祉	2D204 社会福祉	
		1D206 社会的養護Ⅰ	2D416 社会的養護Ⅱ	
		1D208 インクルーシブ教育・保育Ⅰ	2D415 インクルーシブ教育・保育Ⅱ	
1D205 子ども家庭支援論			2D417 保育・教育相談の理論と方法	2D302 子ども家庭支援の心理学
1D301 保育の心理学			2D303 子どもの理解と援助	
		1D412 乳児保育Ⅰ	2D413 乳児保育Ⅱ	
		3D427 SDGsと教育・保育		3D427 SDGsと教育・保育
		3D428 ダイバーシティと教育・保育		3D428 ダイバーシティと教育・保育
				2D104 保育英会話
1D106 コンピュータ演習				
			2D101 日本国憲法	
		3D105 生命倫理		3D105 生命倫理
1D701 実習指導Ⅰ	1D702 実習指導Ⅱ	2D703 実習指導Ⅲ	2D502 保育・教職実践演習(幼稚園)	
	1D706 教育実習Ⅰ	2D709 教育実習Ⅱ		
	1D704 保育実習Ⅰ	2D707 保育実習Ⅱ		
	1D705 施設実習Ⅰ	2D708 施設実習Ⅱ		

○アルファベットは学科の記号、アルファベットの前の数字は配当年次(3:1・2年生どちらの学年も可、4:入学前「保育入門」、下3桁は系統(系列)番号、下1・2桁は科目番号を示す。
 ○保育体験Ⅰは幼稚園・保育所の協力を得て行うふれあい体験活動、Ⅱは幼稚園・保育所見学、Ⅲは施設見学を示す。保育体験Ⅳは1・2年生全員が参加するボランティア活動を示す。

令和8年度 実務教員科目一覧

R8.4.1

系統(系列)	授業科目名	単位数
教養科目	キャリアアップセミナーⅠ	1
	キャリアアップセミナーⅡ	1
	キャリアアップセミナーⅢ	1
	キャリアアップセミナーⅣ	1
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	2
	教育原理	2
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	2
保育の内容・方法に関する科目	保育内容総論	2
教職に関する科目	保育・教職実践演習(幼稚園)	2
保育者の資質を高める科目	子ども学演習Ⅰ	1
	子ども学演習Ⅱ	1
	子ども学ゼミナールⅠ	1
	子ども学ゼミナールⅡ	1
実習科目	実習指導Ⅰ	1
	実習指導Ⅱ	2
	実習指導Ⅲ	1
	保育実習Ⅰ	2
	施設実習Ⅰ	2
	教育実習Ⅰ	2
	保育実習Ⅱ	2
	施設実習Ⅱ	2
	教育実習Ⅱ	2
単位数 合計		34

令和8年度 実務教員の略歴

R8.4.1

教員名	略歴	担当科目
山村 穂高	平成元年より全国療養相談センターにて自閉症児のセラピスト、平成2年より不登校児等のスタッフとして勤務。平成3～9年度まで法務省法務技官調査専門官としての勤務を経て、平成10年度より山村学園短期大学(旧 山村女子短期大学)の講師、平成13年より副学長・准教授。令和8年度より学長に就任。現在に至る。	保育の心理学
		子ども学ゼミナールⅡ
相沢 和恵	昭和52年より東京都区立の幼稚園で幼稚園教諭として勤務。平成19年から都内保育所にて常勤保育士として勤務、その後派遣保育士、非常勤保育士として勤務。平成26年短期大学・専門学校の非常勤・専任を経て現在に至る。	保育内容総論
		子ども学ゼミナールⅠ
		実習指導Ⅰ 実習指導Ⅱ 実習指導Ⅲ
伊藤 えつ子	昭和56年より埼玉県立高等学校の教諭として勤務。平成2年より養護学校教諭、平成15年より特別支援学校の教諭。平成16年より埼玉県教育局指導部体育課、平成18年より埼玉県教育局県立学校部保健体育課の指導主事の後、特別支援学校の教頭や校長、県立高校の校長を経て現在に至る。	キャリアアップセミナーⅢ
		キャリアアップセミナーⅣ
		子ども学ゼミナールⅡ
宇田川 和久	昭和58年より埼玉県立養護学校の教員として勤務。平成18年から養護学校の開設準備委員、開設準備副委員長、埼玉県立総合教育センター、埼玉県教育局で勤務の後、平成29年埼玉県立特別支援学校校長を経て現在に至る。	教育原理
		子ども学ゼミナールⅠ
		実習指導Ⅰ
		実習指導Ⅱ 実習指導Ⅲ
高後 仁	昭和60年よりさいたま市立(大宮市立)小学校の教員として勤務。平成17年～19年、平成22年にさいたま市教教育委員会で勤務の後、さいたま市立館岩少年自然の家所長、さいたま市立小学校の校長を経て現在に至る。	教育原理
		保育・教職実践演習(幼稚園)
酒井 誠	平成24年より千葉県の私立高等学校の非常勤講師として勤務。平成25年より東京都の国立大学にて教育研究助手として勤務の後、平成28年より埼玉県の私立小学校非常勤講師、平成30年より東京都の私立大学非常勤講師を経て現在に至る。	子ども学ゼミナールⅠ
		キャリアアップセミナーⅠ
		キャリアアップセミナーⅡ
		保育・教職実践演習(幼稚園)
		子ども学演習Ⅰ
		子ども学演習Ⅱ
橋本 淳一	平成3年より東京都社会福祉協議会東京ボランティアセンター専門員として勤務。昭和63年より看護専門学校の非常勤講師、保育専門学校の講師、短期大学・大学での非常勤講師を経て現在に至る。	子ども学ゼミナールⅡ
		キャリアアップセミナーⅢ
		キャリアアップセミナーⅣ
		保育・教職実践演習(幼稚園)
		子ども学ゼミナールⅠ
室井 佑美	平成17年より東京都区立の障害保健福祉センター子ども療育事業で保育士として勤務の後、平成18年より病院内の医事課連携相談室で社会福祉士として勤務。平成19年からは大学にて助教(実習担当)、専門学校での専任講師および非常勤講師、病院内で非常勤保育士として勤務を経て現在に至る。	実習指導Ⅰ
		実習指導Ⅱ
		実習指導Ⅲ

山村学園短期大学

〒350-0396 埼玉県比企郡鳩山町石坂604

【TEL】 049-296-2000

【FAX】 049-096-4880